

中山間地域出身者へのアンケート調査 報告書

令和5年3月

島根県

《 目 次 》

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査対象者及び調査方法	1
3. 調査期間	1
4. 回答状況	1
5. グラフについて	1
6. 回答者属性	2

II 集計結果の概要

1. 実家への行き来の状況等について	5
2. 実家周辺の地域活動への参加について	28
3. 実家からの初めての転居について	41
4. ふるさとへの愛着について	48
5. Uターン等の意向について	58

III 資料

1. アンケート調査票	79
-------------	----

I 調査の概要

1. 調査の目的

島根県の中山間地域において、今後も県民の皆様が安心して暮らすことができるように、対策の検討を進めるため、島根県内の中山間地域の実家を離れて暮らしている方に、実家との交流状況、ふるさとへの愛着、Uターンの意向等を調査し、今後の中山間地域対策を検討するための基礎資料を作成する。

2. 調査対象者及び調査方法

(1) 調査対象者

○島根県内の中山間地域（令和4年4月1日時点）の実家を離れて暮らしている方（以下、「中山間地域出身者」という。）

(2) 調査方法

○県内の地域運営組織、市町村等の協力のもと、中山間地域出身者に郵送またはWebによりアンケート調査への回答を依頼した。

3. 調査期間

○令和4年9月～10月

4. 回答状況

○回答者数は898人であった。

○そのうち郵送調査は260人（配布数530、回答率49.1%）、Web調査は638人から回答があった。

5. グラフについて

○構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

○グラフ中「全体」の数値は年齢未回答者を含めているため、年齢別の合計と一致しない。

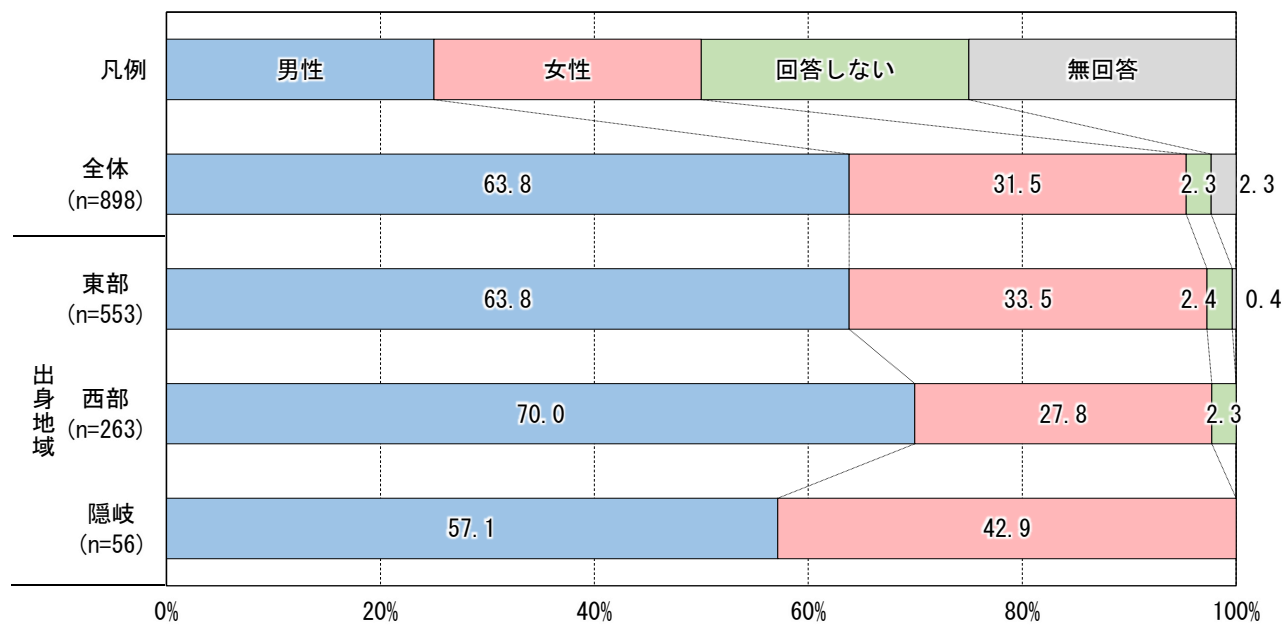
○サンプル数が50未満の項目については、参考値として掲載している。

6. 回答者属性

(1) 性別

○男性が 63.8%、女性が 31.5%となっている。

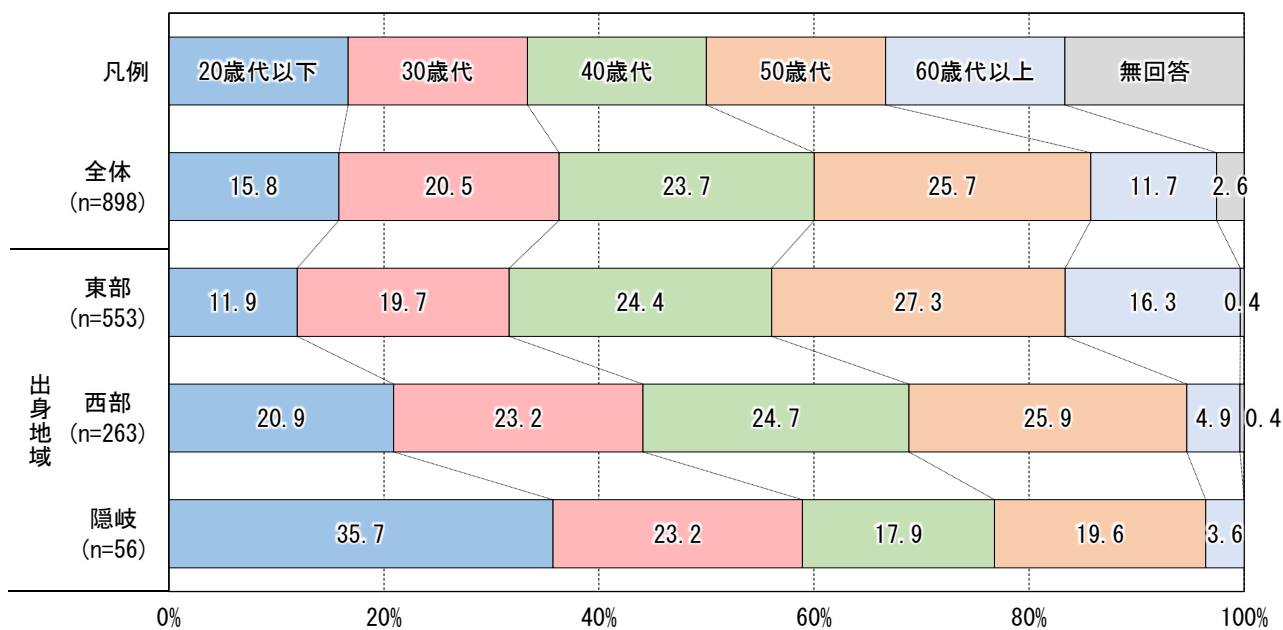
図 回答者の性別（全体・出身地域別）



(2) 年齢

○50歳代が最も高く25.7%、次いで40歳代が23.7%となっている。

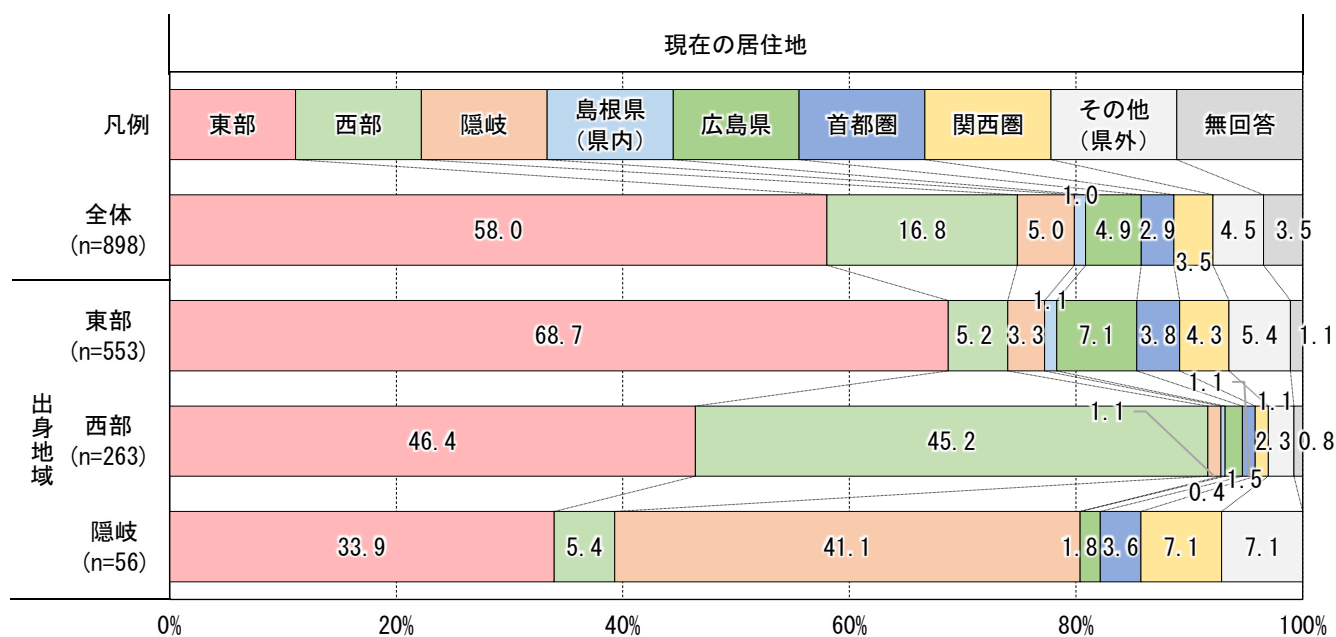
図 回答者の年齢（全体・出身地域別）



(3) 現在の居住地と出身地域

○現在の居住地をみると、東部地域が58%、次いで西部地域が16.8%となっている。

図 現在の居住地と出身地域（全体・出身地域別）



- ※ 1. 「島根県（県内）」：現在の居住地を「島根県」と回答したもの
 2. 首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 3. 関西圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 4. 「その他（県外）」（n=40）のうち多かった県
 愛知県7、山口県7、鳥取県6、岡山県5

Ⅱ 集計結果の概要

※ 現在の居住地のうち「島根県（県内）」は除いて図示した。

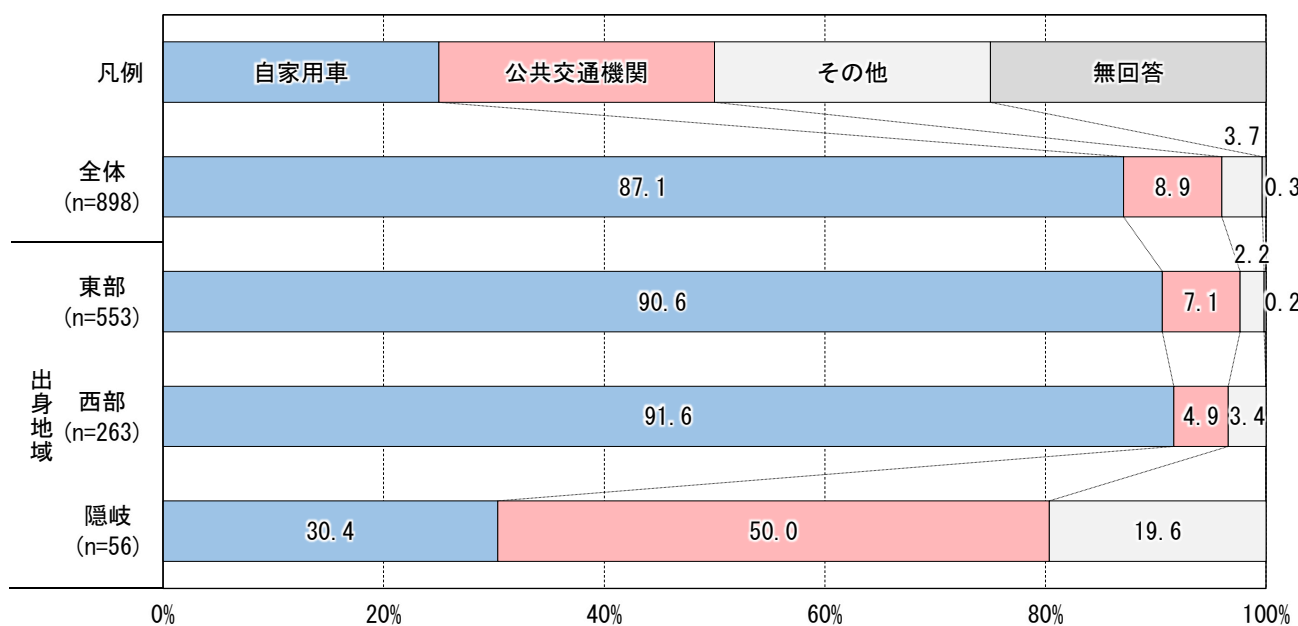
1. 実家への行き来の状況等について

問1 あなたが実家へ行く時に、最も多く利用する移動手段は何ですか。

○実家への交通手段は、「自家用車」が最も高く 87.1%、次いで「公共交通機関」が 8.9%となっている。

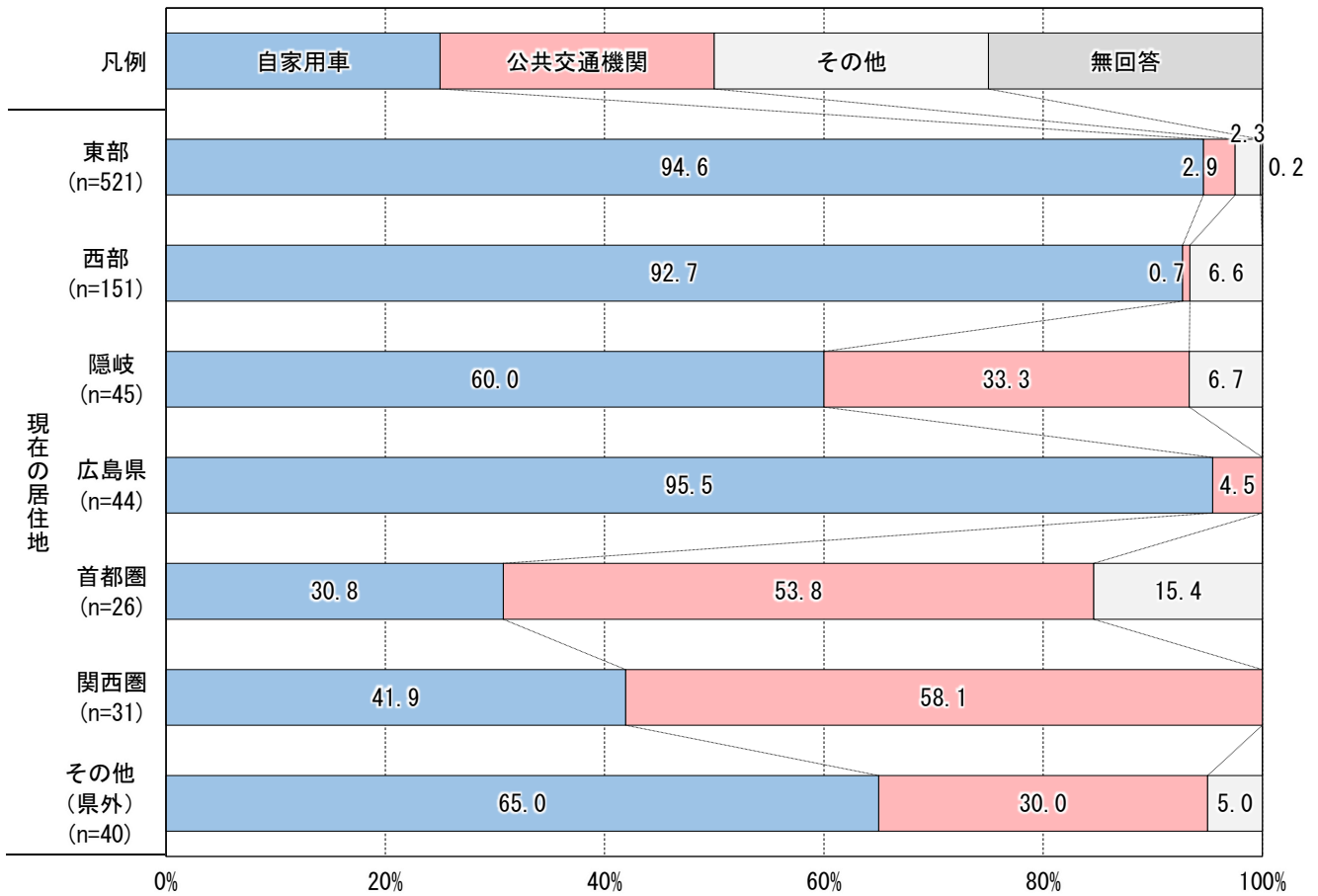
○出身地域別にみると、隠岐地域は島外からのアクセスが船または飛行機となるため、「公共交通機関」の割合が 50%と高くなっており、東部及び西部地域では「自家用車」の割合が9割前後となっている。

図 交通手段（全体・出身地域別）



○現在の居住地別にみると、遠方となる首都圏、関西圏では半数以上が「公共交通機関」を利用している。

図 交通手段（現在の居住地別）



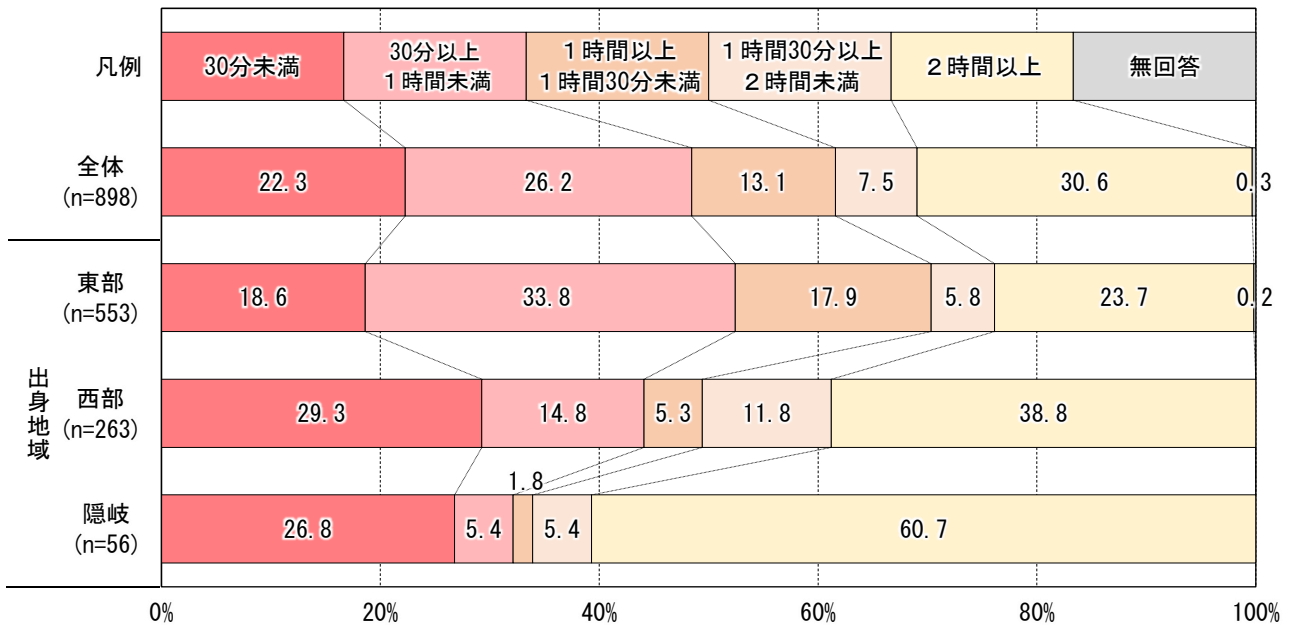
問2 現在お住まいの地域から実家まではどのくらいの時間がかかりますか。

○実家までの移動時間をみると、「2時間以上」が最も高く 30.6%、次いで「30分以上1時間未満」が 26.2%となっている。

○出身地域別にみると、東部地域は「30分以上1時間未満」が最も高く 33.8%となっている。

○一方、西部地域、隠岐地域は「2時間以上」が最も高くなっている。

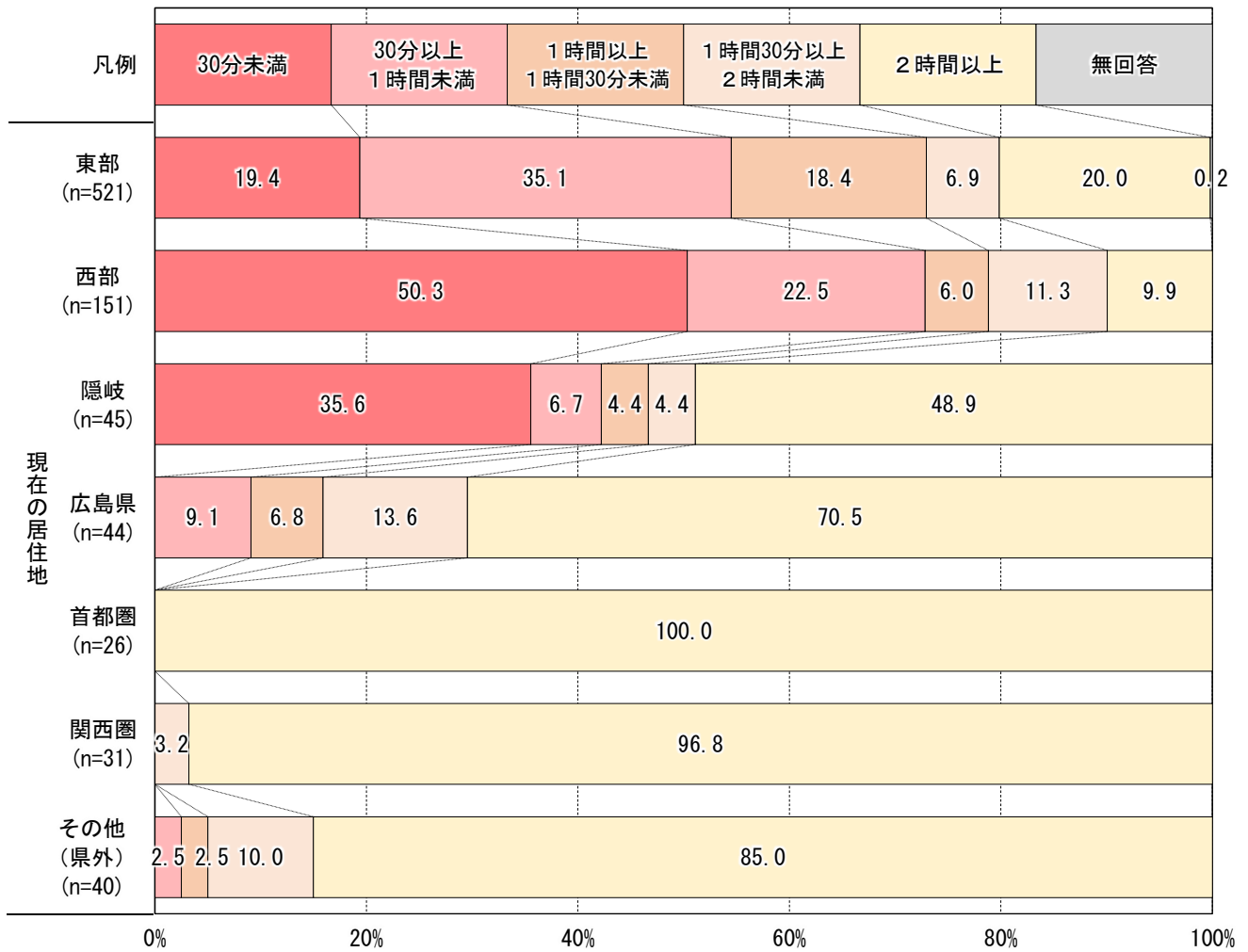
図 実家までの移動時間（全体・出身地域別）



○現在の居住地別にみると、西部地域は「30分未満」が最も高く 50.3%となっており、隠岐地域では「2時間以上」が最も高く 48.9%となっている。

○県外の地域では、いずれも「2時間以上」が最も高くなっている。

図 実家までの移動時間（現在の居住地別）



問3 あなたは、実家とどの程度行き来をしていますか。

○実家への行き来の頻度については、コロナ前（令和2年4月以前）において『月1回程度以上』（「週に2回以上」「週1回程度」「月2～3回程度」「月1回程度」の計。以下この間において同じ）は51.2%であったが、現在は47.2%と低下している。

図 実家との交流頻度（全体・出身地域別）

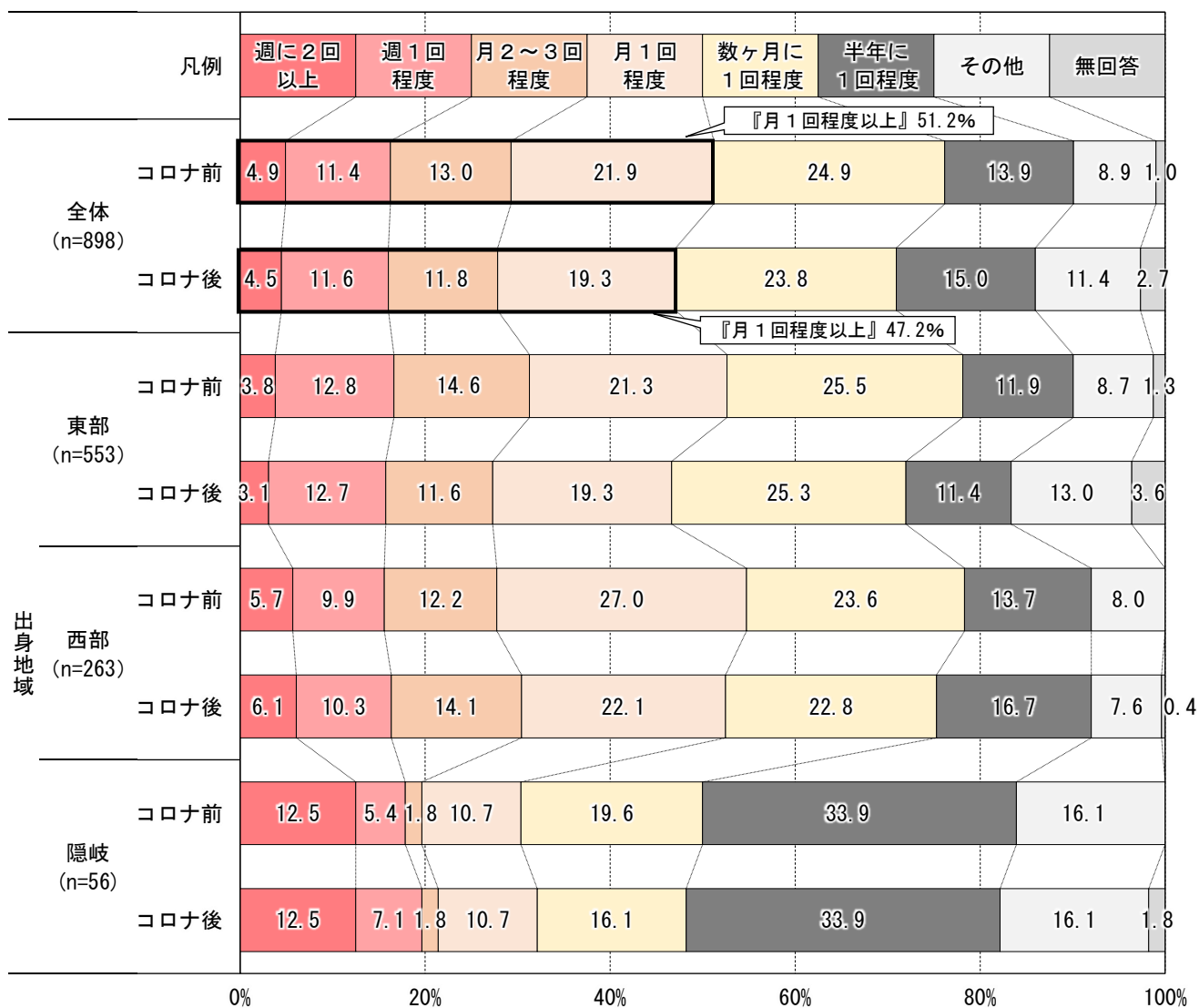
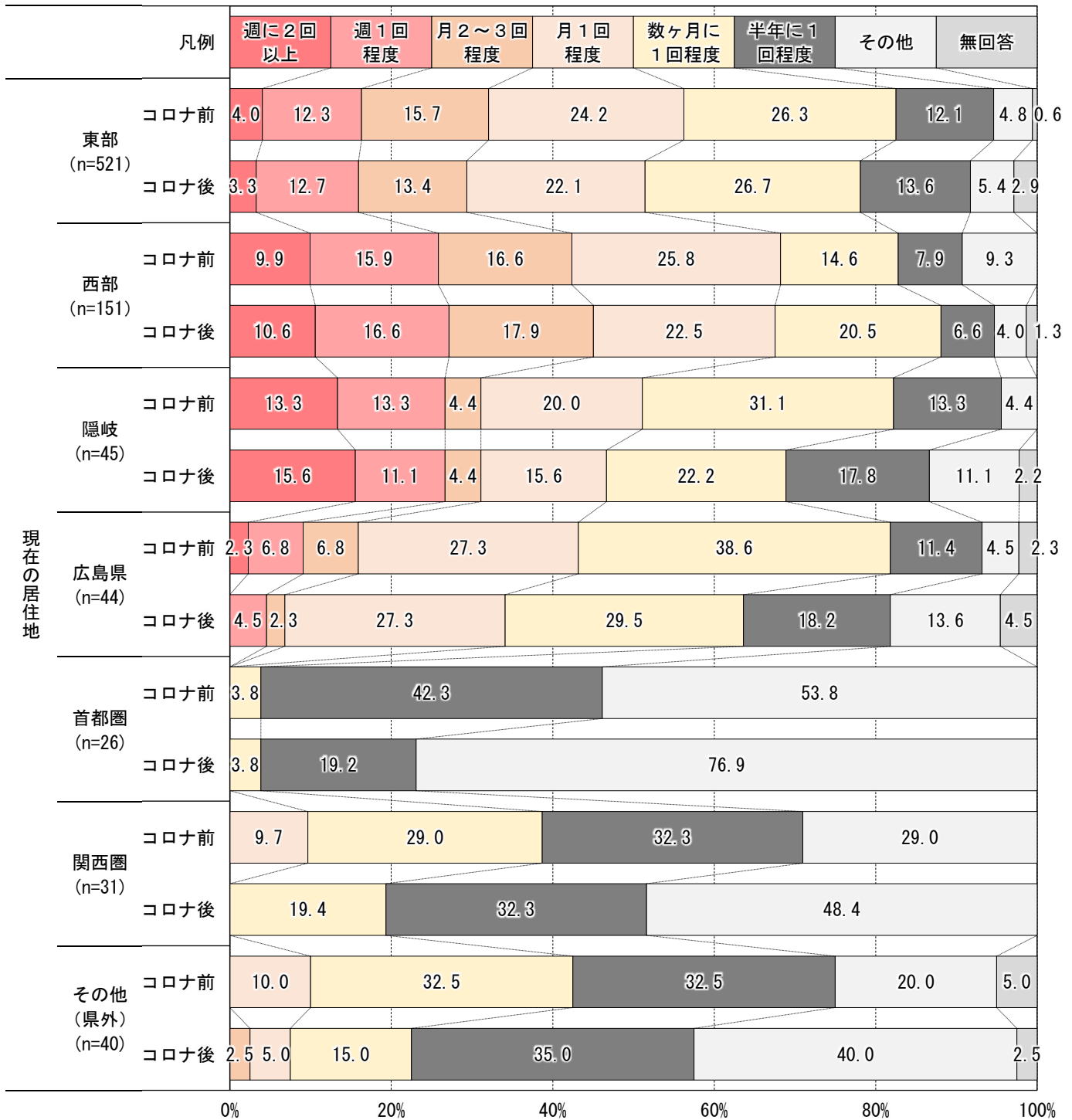


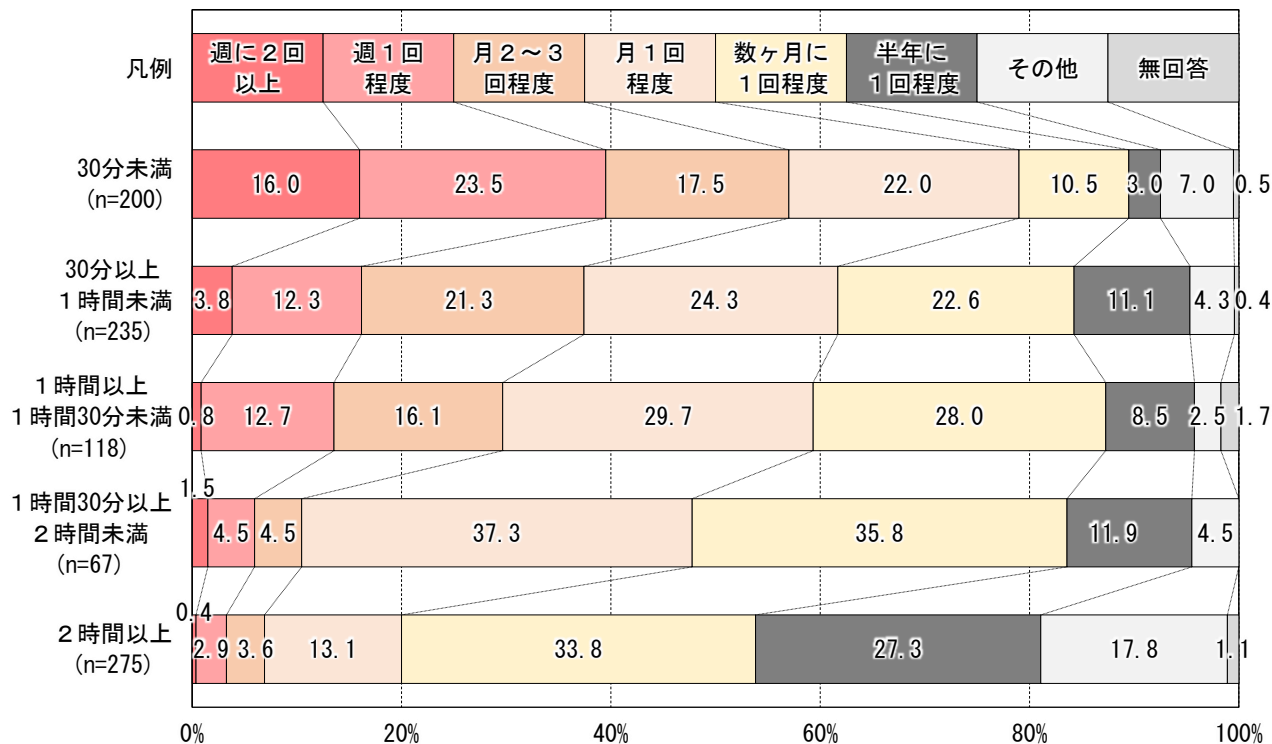
図 実家との交流頻度（現在の居住地別）



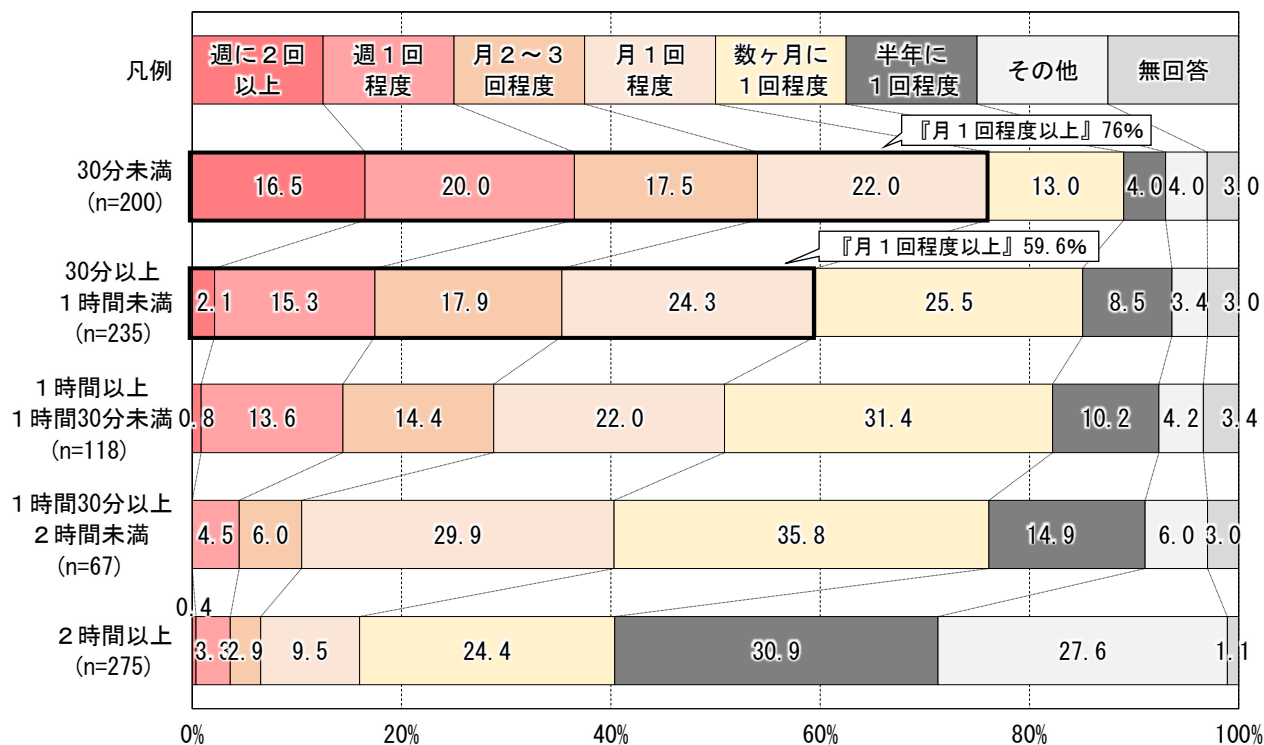
○現在の交流頻度については、実家までの移動時間が「30分未満」では『月1回程度以上』交流している人は76%、「30分以上1時間未満」では59.6%となっている。

図 実家までの移動時間と交流頻度

(コロナ前)



(現在)



問4① あなたが実家へ一緒に行く方について教えてください。(複数回答)

○実家へ一緒に行く人を見ると、「自分一人」が最も高く64.7%、次いで「配偶者・パートナー」が61.7%となっている。

図 実家へ一緒に行く人(全体・出身地域別)

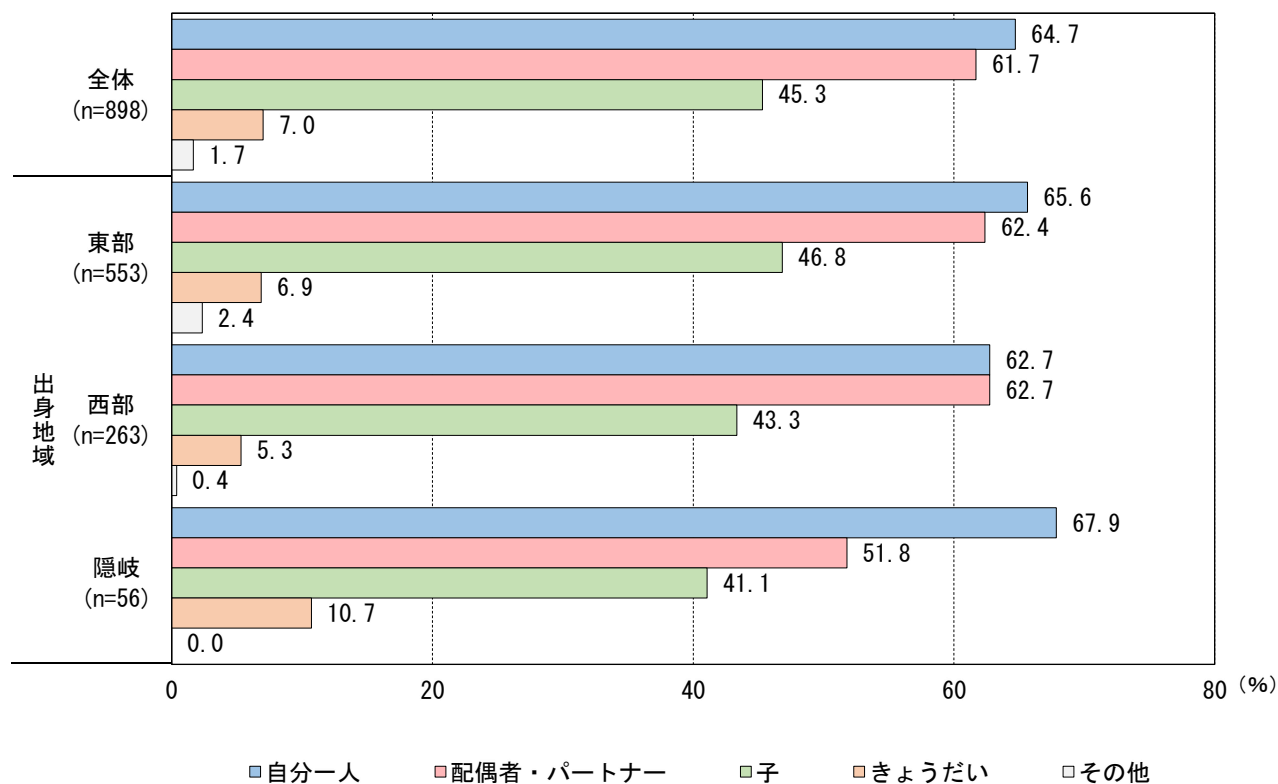
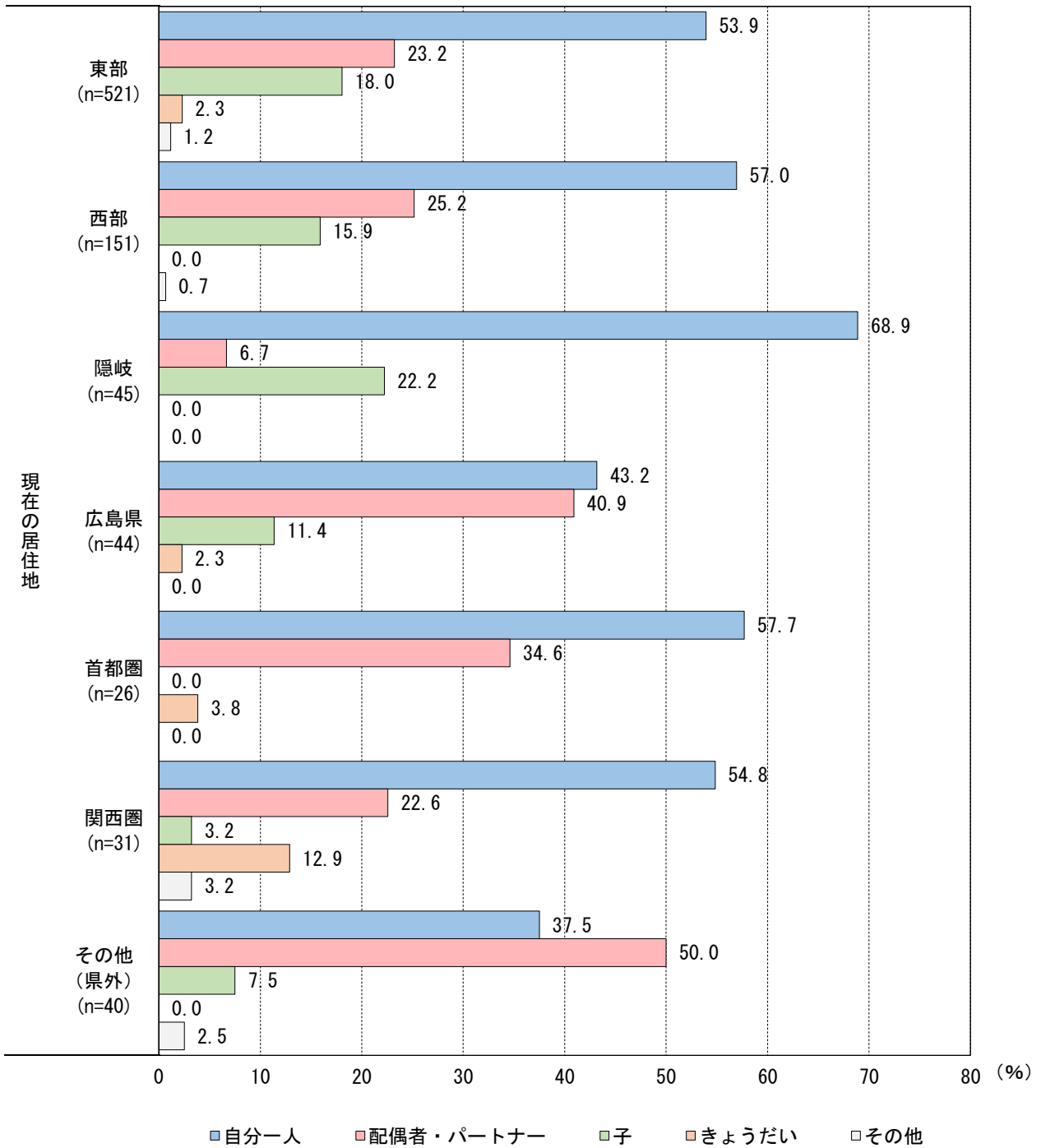


図 実家へ一緒に行く人（現在の居住地別）

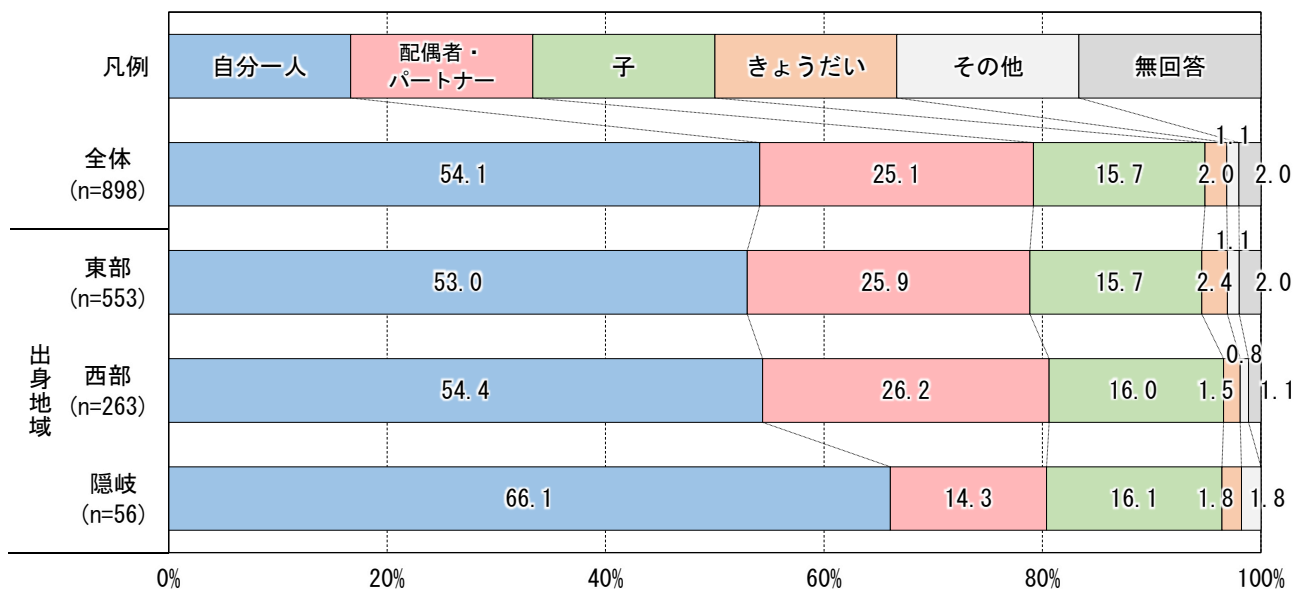


問4② ①で選んだ方のうち、実家へ一緒に行くことが最も多い人を教えてください。

○実家へ一緒に行くことが最も多い人をみると、「自分一人」が最も高く54.1%、次いで「配偶者・パートナー」が25.1%となっている。

○出身地域別にみると、隠岐地域は「自分一人」が66.1%と高くなっている。

図 実家へ一緒に行くことが最も多い人（全体・出身地域別）



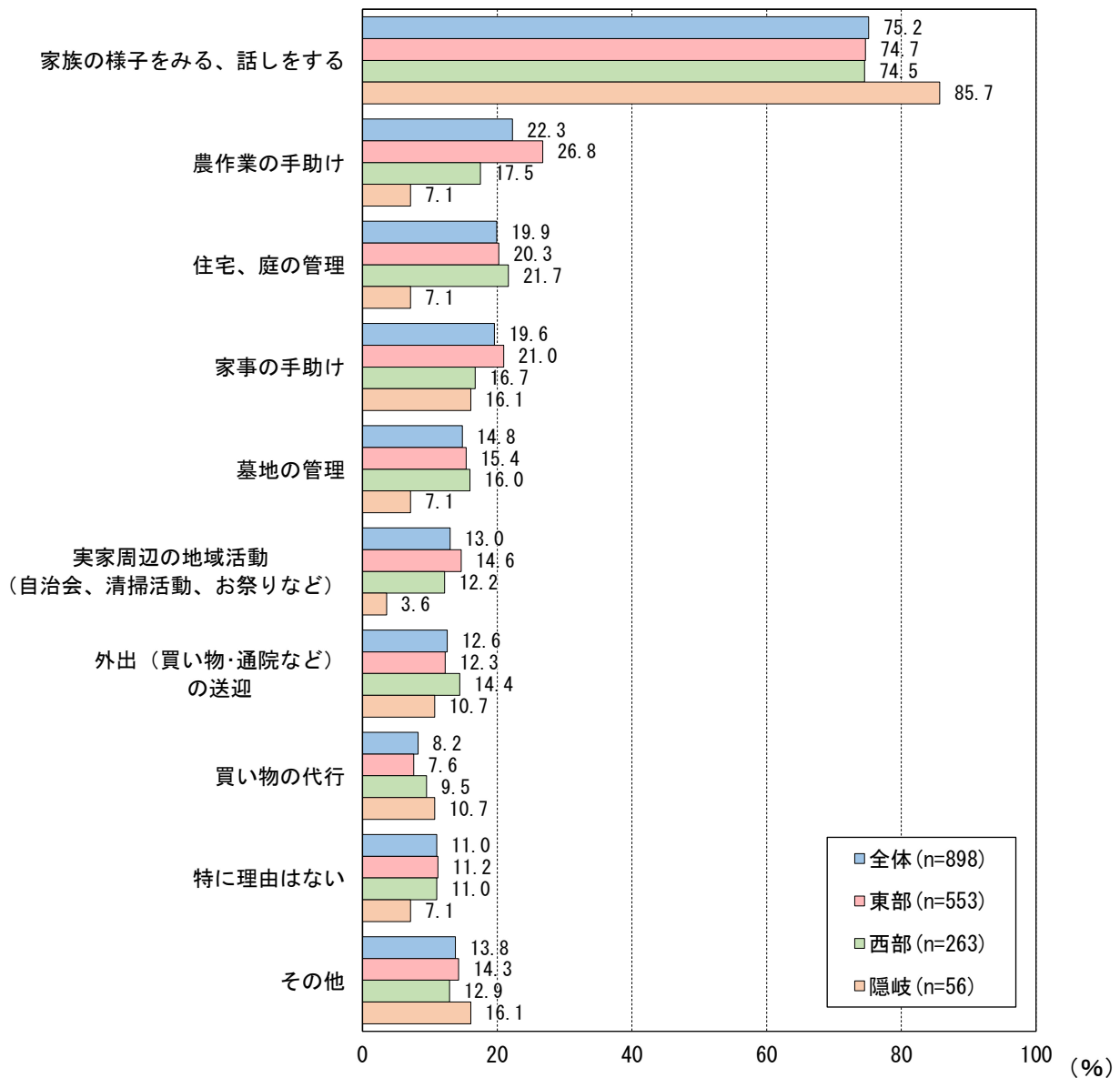
問5① あなたが実家へ行く目的について教えてください。(複数回答)

○実家へ行く目的をみると、「家族の様子をみる、話しをする」が最も高く75.2%、次いで「農作業の手助け」が22.3%となっている。

○また、日常生活に関することとしては、「家事の手助け」が19.6%、「外出（買い物・通院など）の送迎」が12.6%、「買い物の代行」が8.2%となっている。

○出身地域別にみると、隠岐地域では「家族の様子をみる、話しをする」が85.7%と高くなっているほか、東部地域では「農作業の手助け」が26.8%と高くなっている。

図 実家へ行く目的（全体・出身地域別）



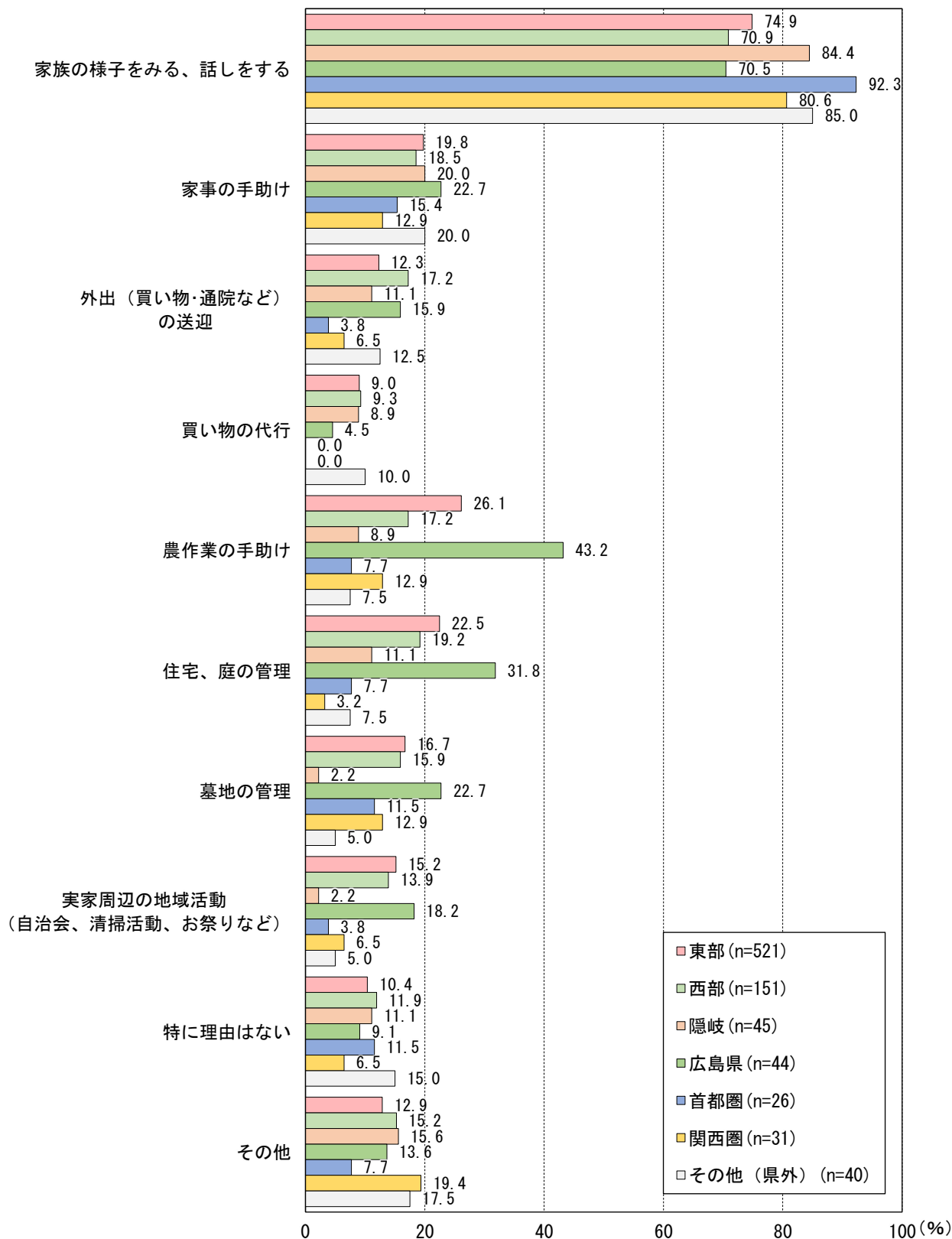
【その他 (n=124) の回答のうち記載の多かったもの】

子・孫と実家の親族との触れ合い	20件	帰省	12件
農作物を貰う	12件	用事がある	12件 など

○現在の居住地別にみると、首都圏在住者では「家族の様子をみる、話しをする」が92.3%と高くなっている。

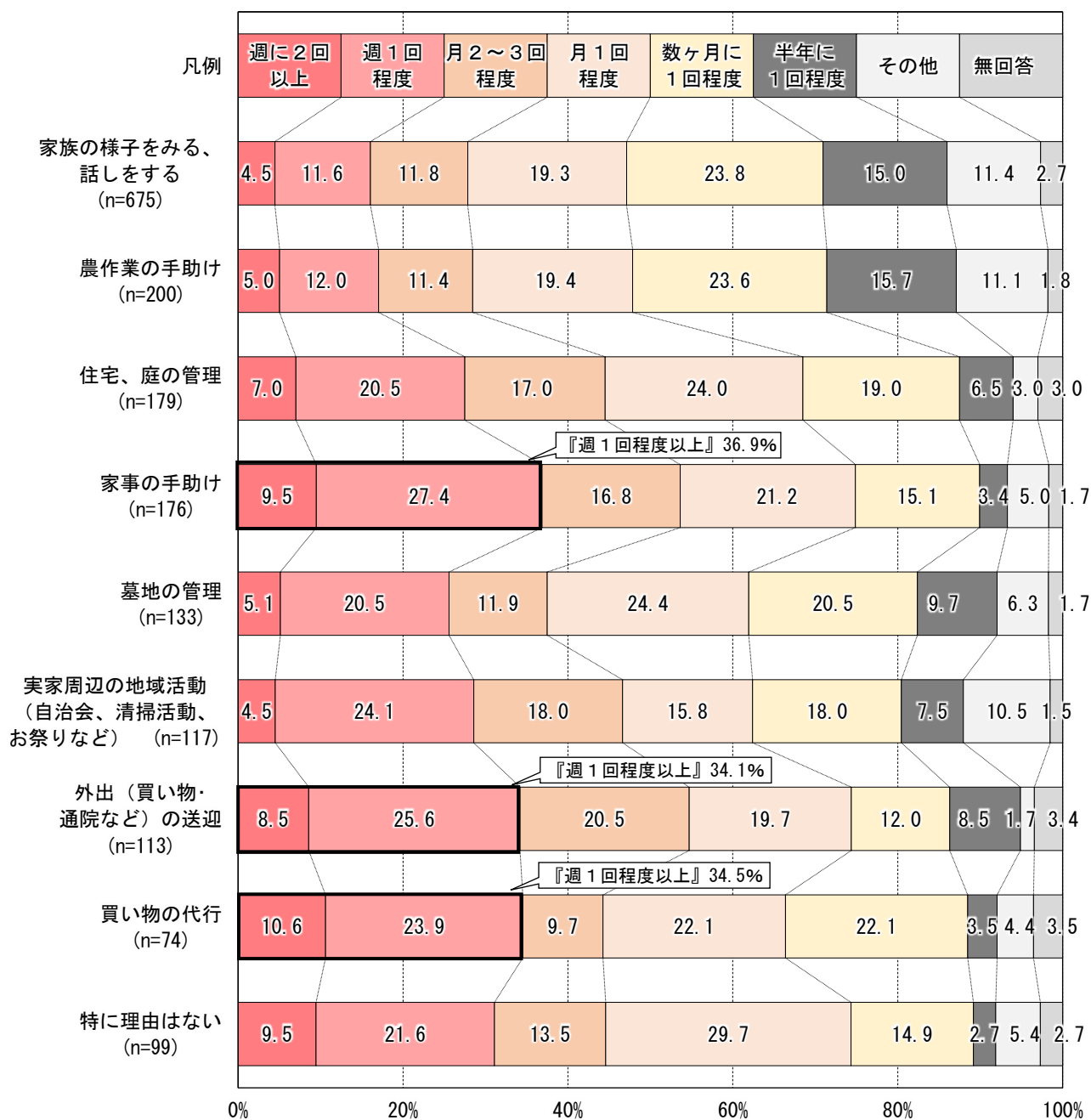
○広島県在住者では、「農作業の手助け」が43.2%、「住宅、庭の管理」が31.8%、「墓地の管理」が22.7%と高くなっている。

図 実家へ行く目的（現在の居住地別）



○訪問頻度別（問3）にみると、「家事の手助け」「買い物の代行」「外出（買い物・通院など）の送迎」は『週1回程度以上』（「週に2回以上」「週1回程度」の計）の割合が高くなっている。

図 訪問頻度と実家へ行く目的

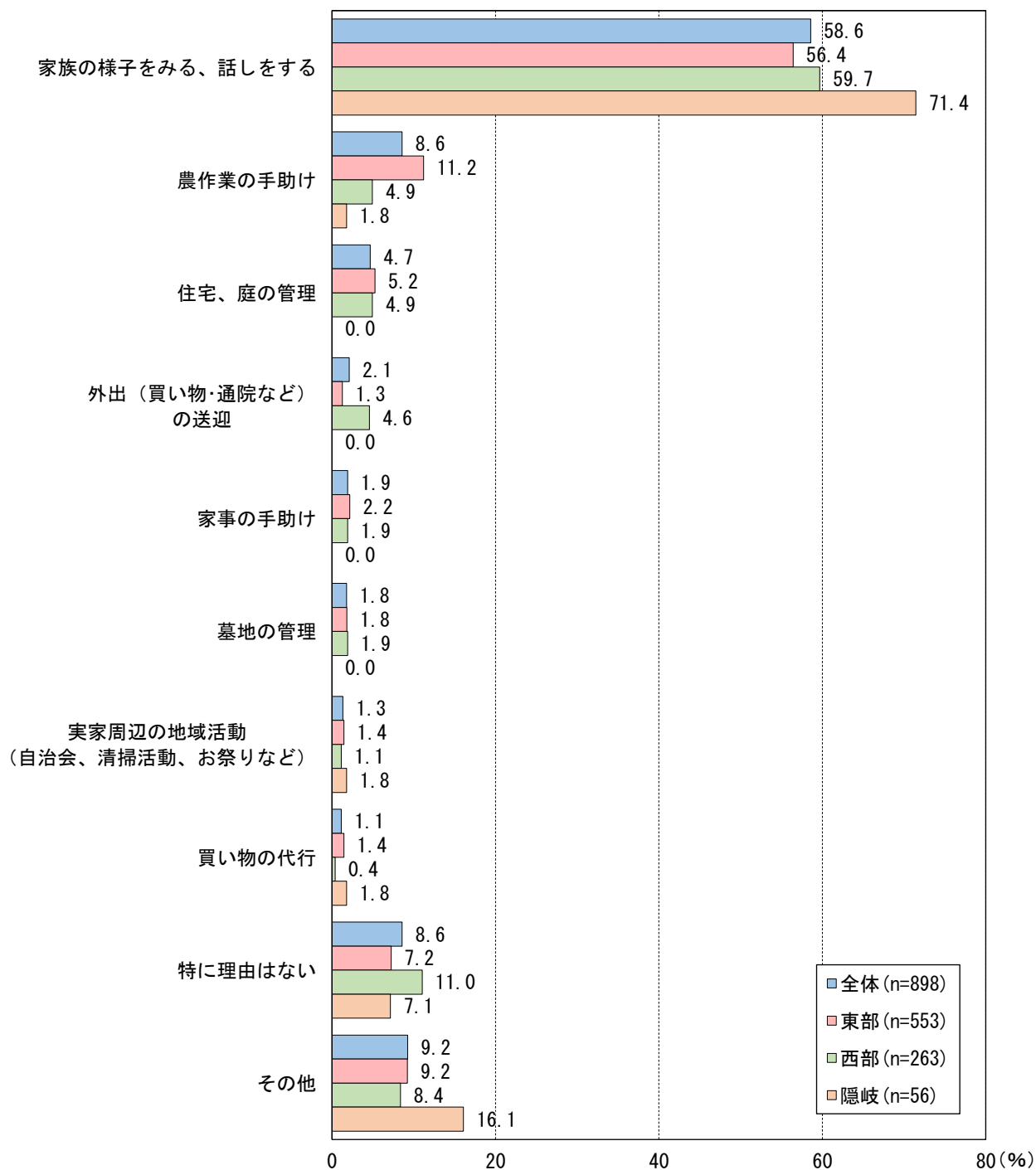


問5② ①で選んだもののうち、実家へ行く目的として最も多いものを教えてください。

○実家へ行く目的として最も多いものは、「家族の様子をみる、話しをする」で58.6%となっている。

○出身地域別にみると、隠岐地域では「家族の様子をみる、話しをする」が71.4%、東部地域では「農作業の手助け」が11.2%と高くなっている。

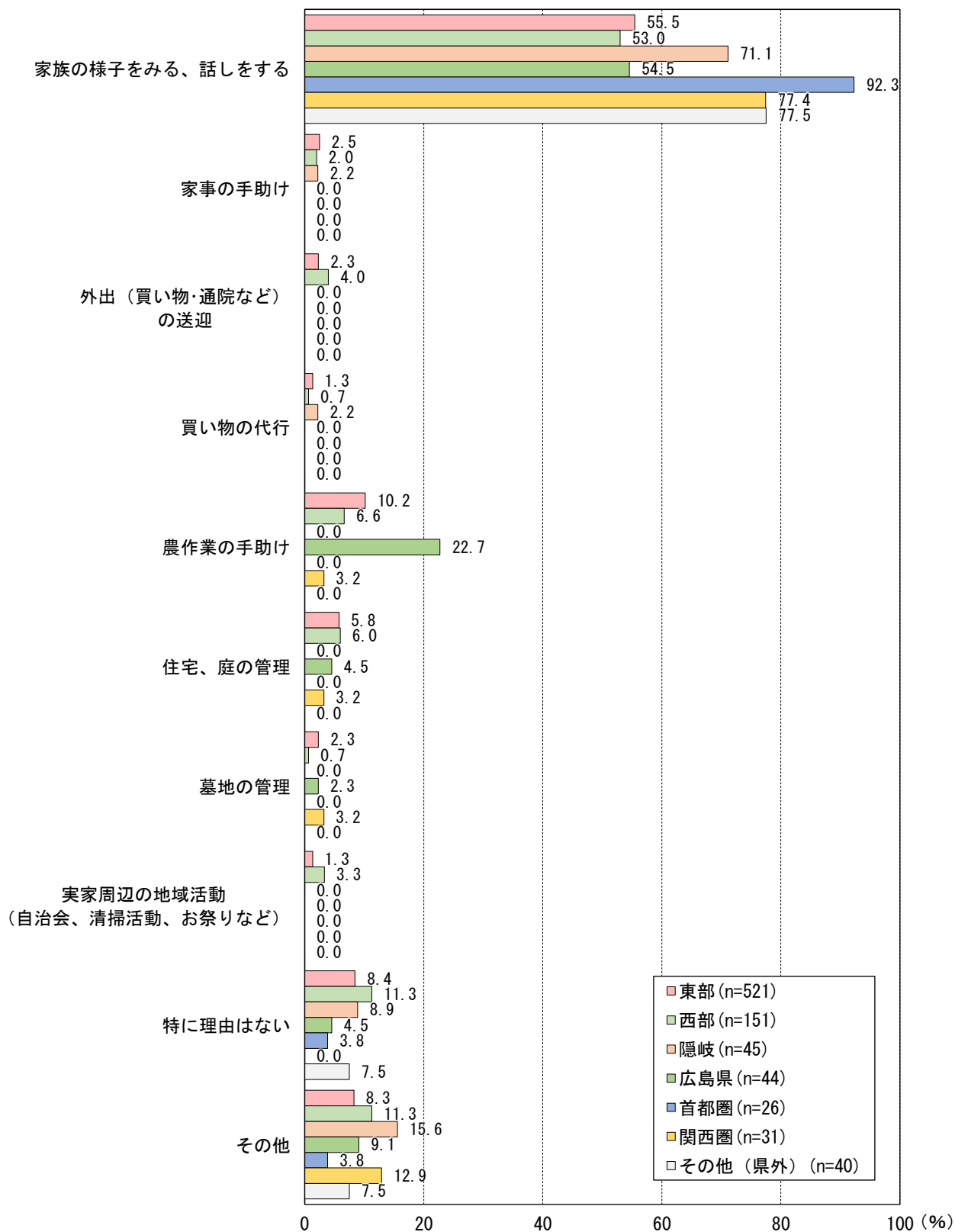
図 実家へ行く目的として最も多いもの（全体・出身地域別）



○現在の居住地別にみると、首都圏では「家族の様子をみる、話しをする」が92.3%と高くなっている。

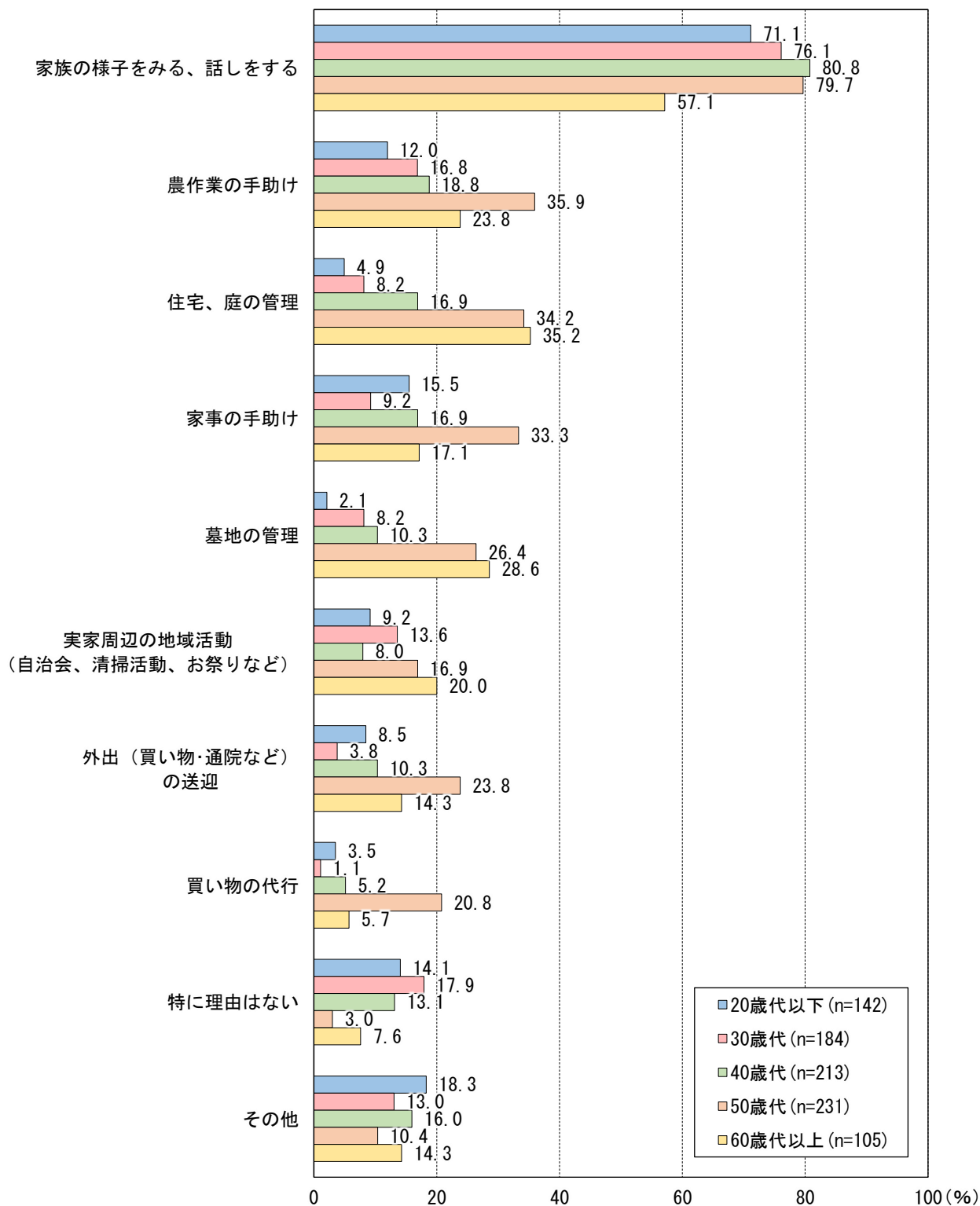
○広島県では、「農作業の手助け」が22.7%と高くなっている。

図 実家へ行く目的として最も多いもの（現在の居住地別）



○年齢別にみると、50歳代では、「農作業の手助け」が35.9%、「家事の手助け」が33.3%、「外出（買い物、通院など）の送迎」が23.8%、「買い物の代行」が20.8%と高くなっている。

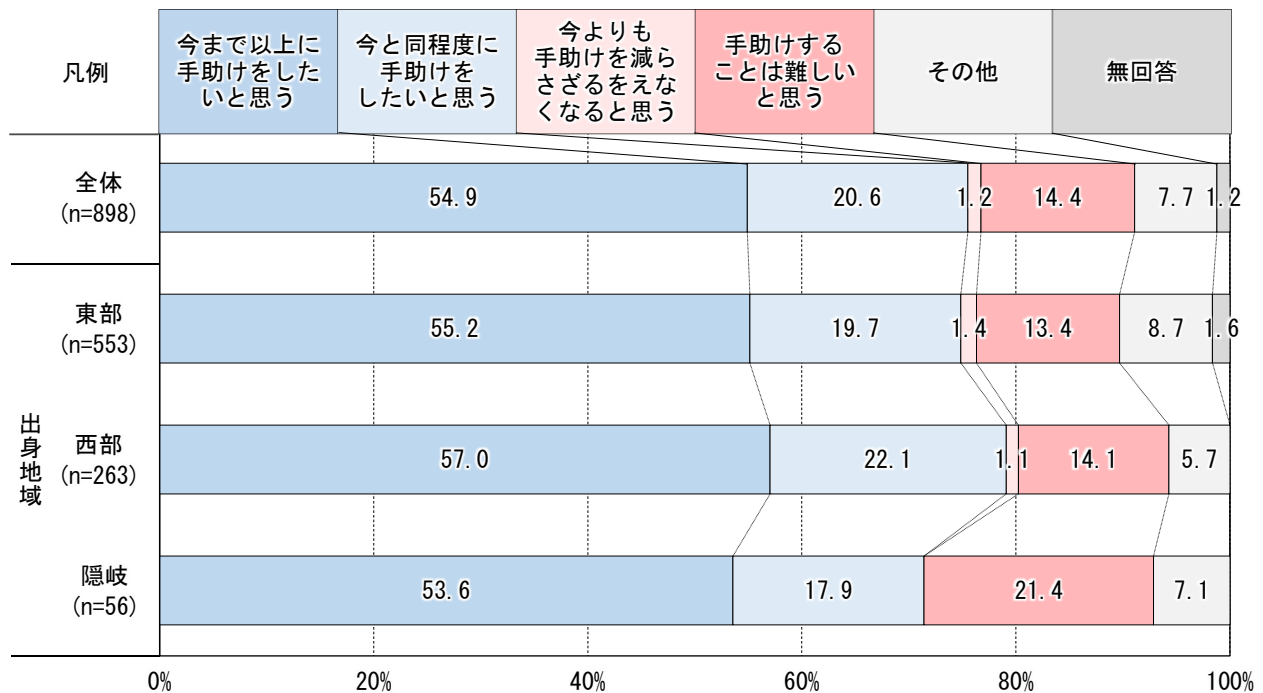
図 実家へ行く目的として最も多いもの（年齢別）



問6 実家の家族が高齢になると、通院時の送迎や買い物の代行など日常生活への手助けが必要になっていくことが懸念されます。今後、実家の家族への手助けが今以上に必要な状況になった場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。

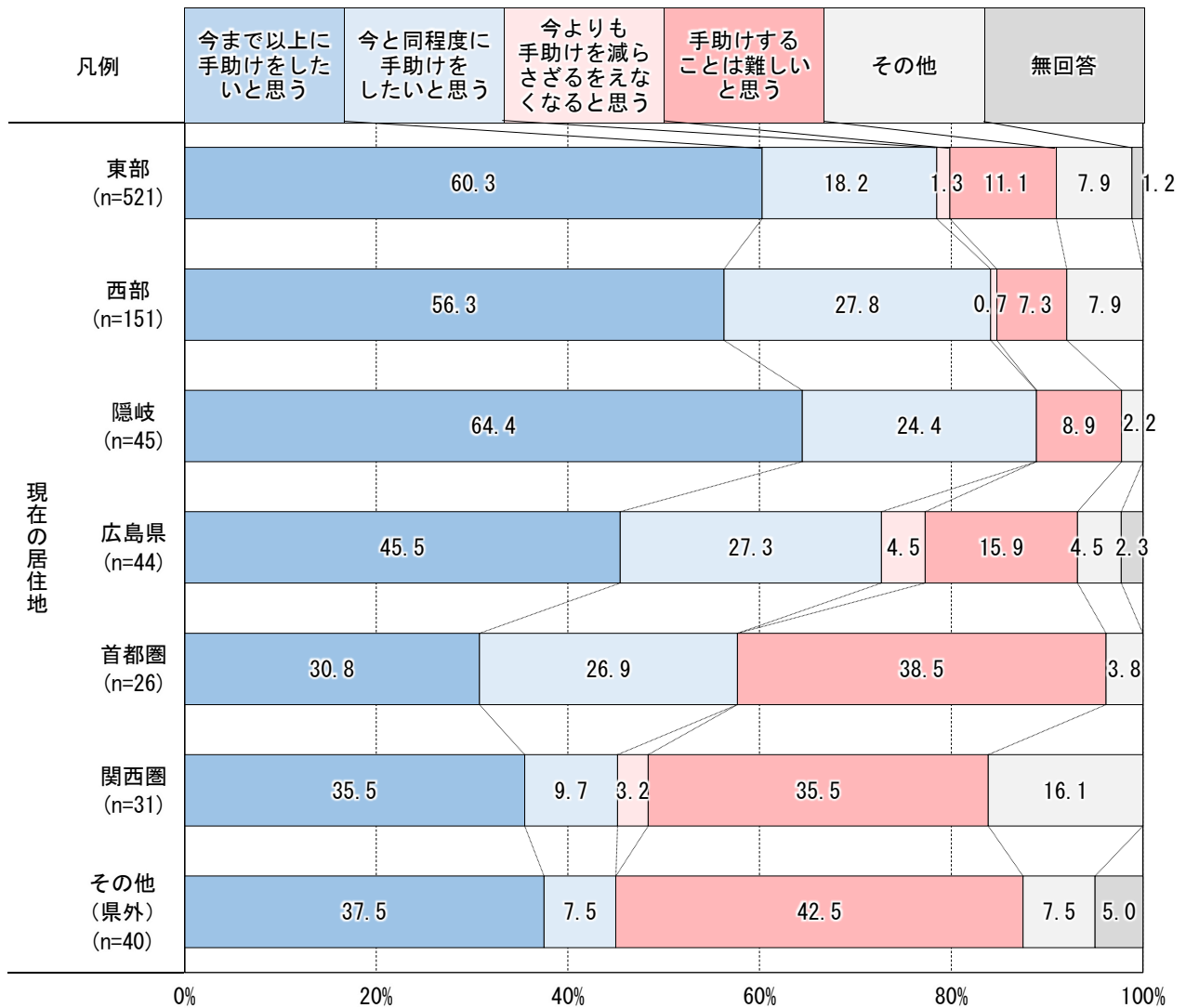
- 今後の実家への手助けについては、「今まで以上に手助けをしたいと思う」が最も高く 54.9%、次いで「今と同程度に手助けをしたいと思う」が 20.6%となっている。
- 一方、「手助けすることは難しいと思う」は 14.4%、「今よりも手助けを減らさざるをえなくなると思う」は 1.2%となっている。
- 出身地域別にみると、隠岐地域では、「手助けすることは難しいと思う」が 21.4%と高くなっている。

図 今後の実家の家族への手助け（全体・出身地域別）



○現在の居住地別にみると、広島県を除く県外では「手助けすることは難しいと思う」が4割前後と高くなっている。

図 今後の実家の家族への手助け（現在の居住地別）



問7 問6で「今よりも手助けを減らさざるをえなくなると思う」「手助けすることは難しいと思う」と回答した方にお聞きします。減らさざるをえなくなる、または、難しいと思う理由は何のようなものですか。(複数回答)

○今後、実家への手助け等を減らさざるをえなくなる、または、難しいと思う理由をみると、「実家まで遠い(移動時間が長い)」が最も高く66.4%、次いで「仕事が忙しくなる」が24.3%、「自分の体力の低下、健康状態の悪化」が22.9%となっている。

図 今後、実家への手助け等を減らさざるをえなくなる、または、難しいと思う理由
(全体・出身地域別)

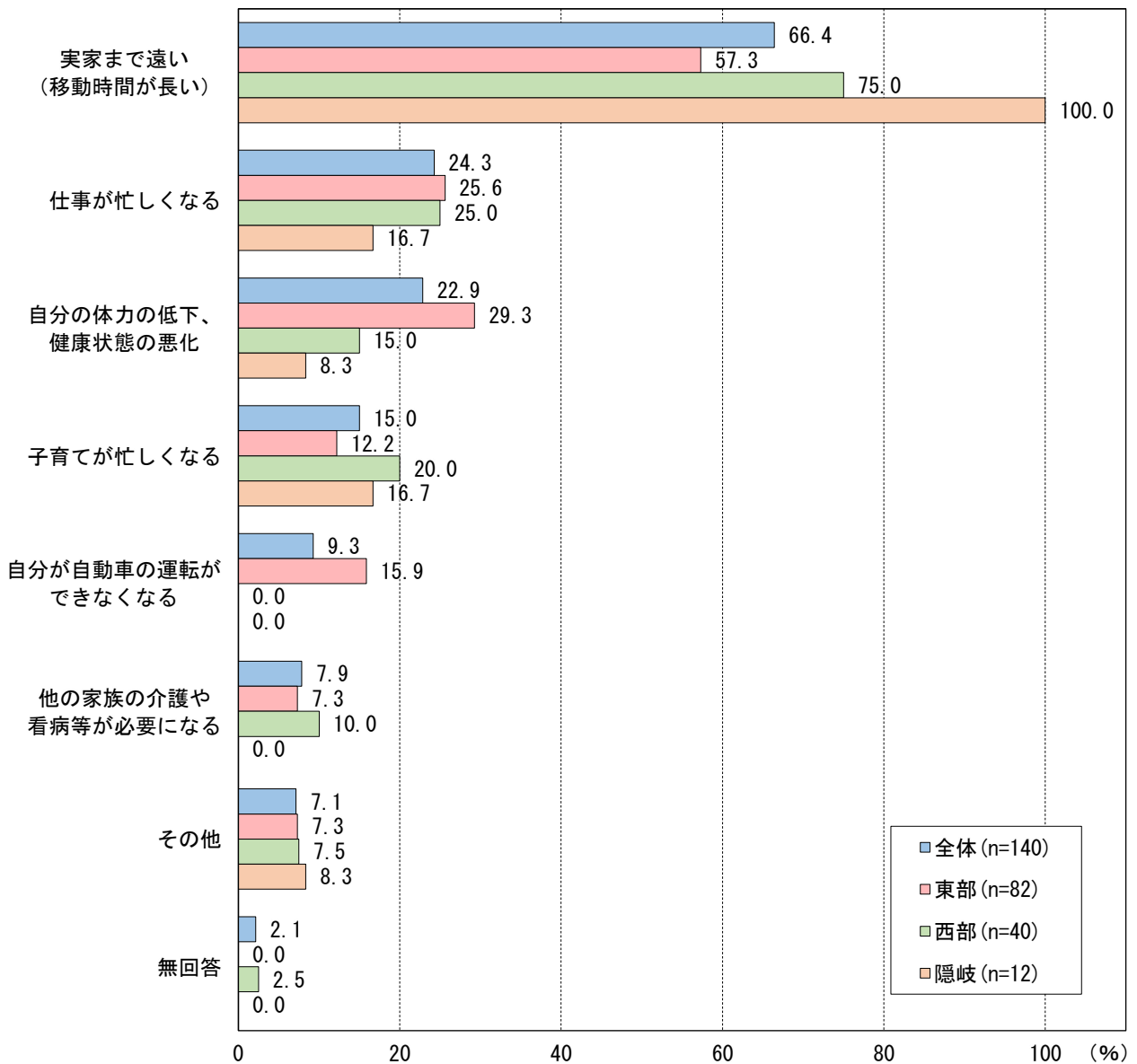


図 今後、実家への手助け等を減らさざるをえなくなる、または、難しいと思う理由
(現在の居住地別)

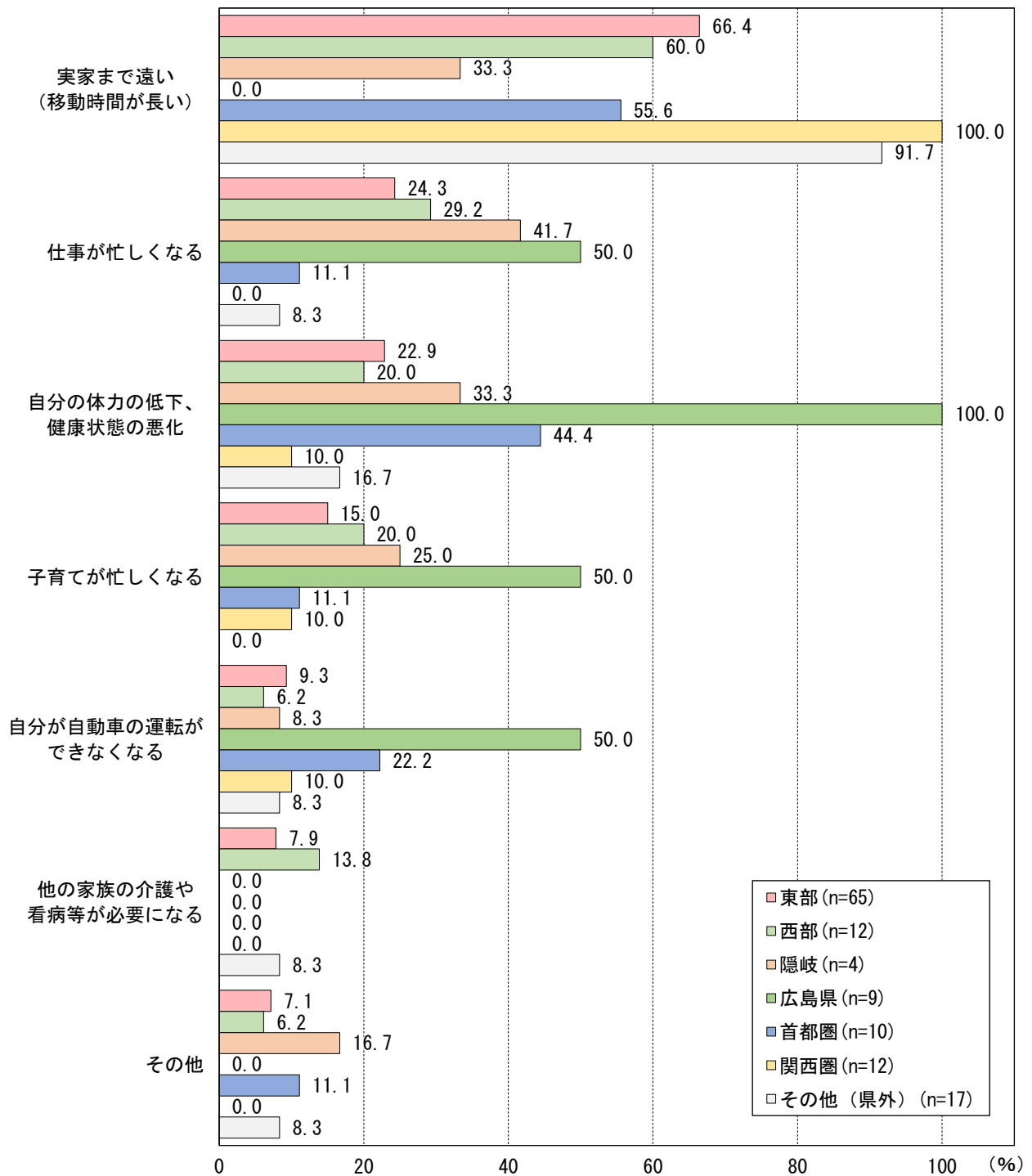


図 今後、実家への手助け等を減らさざるをえなくなる、または、難しいと思う理由
(年齢別)

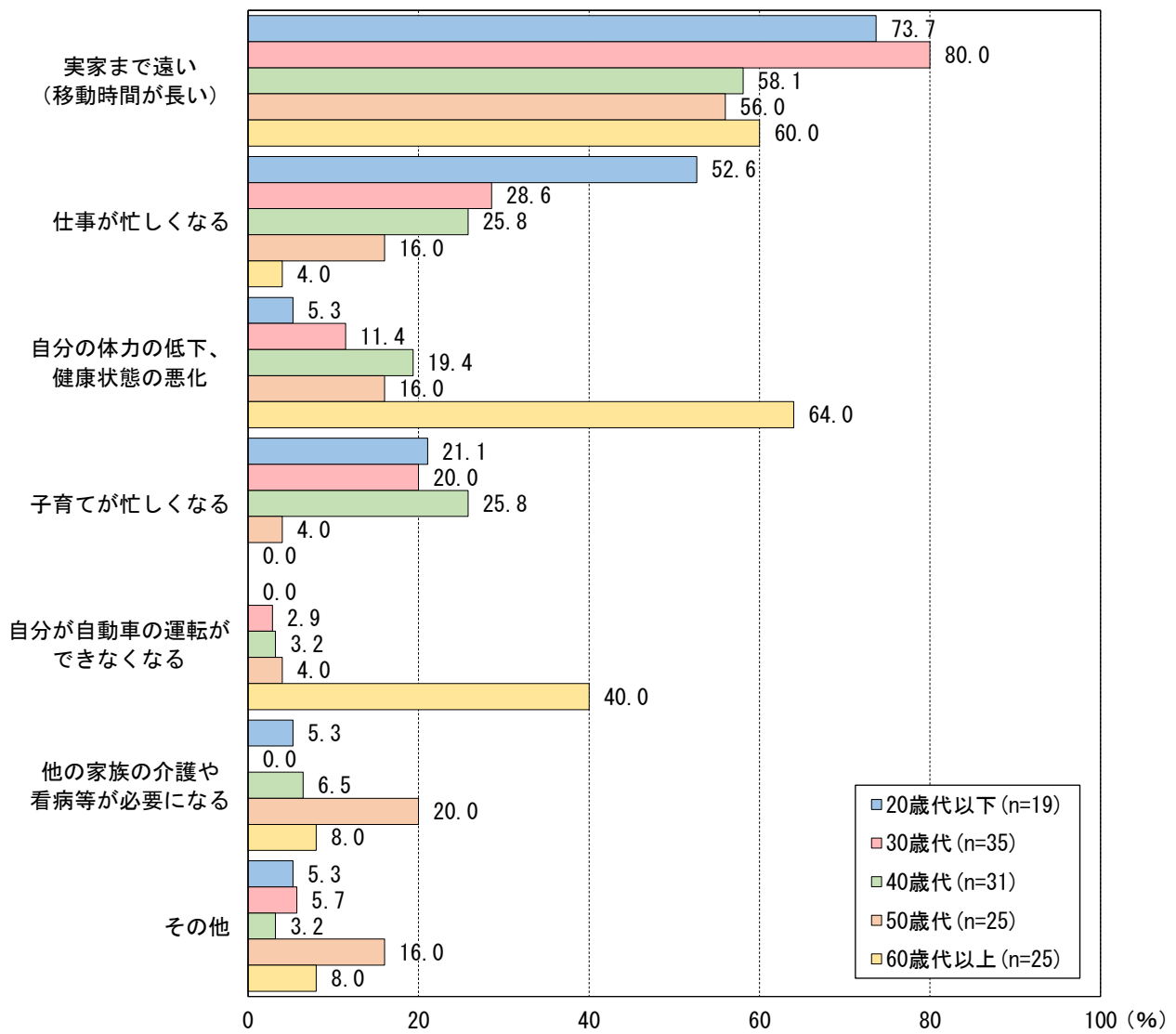
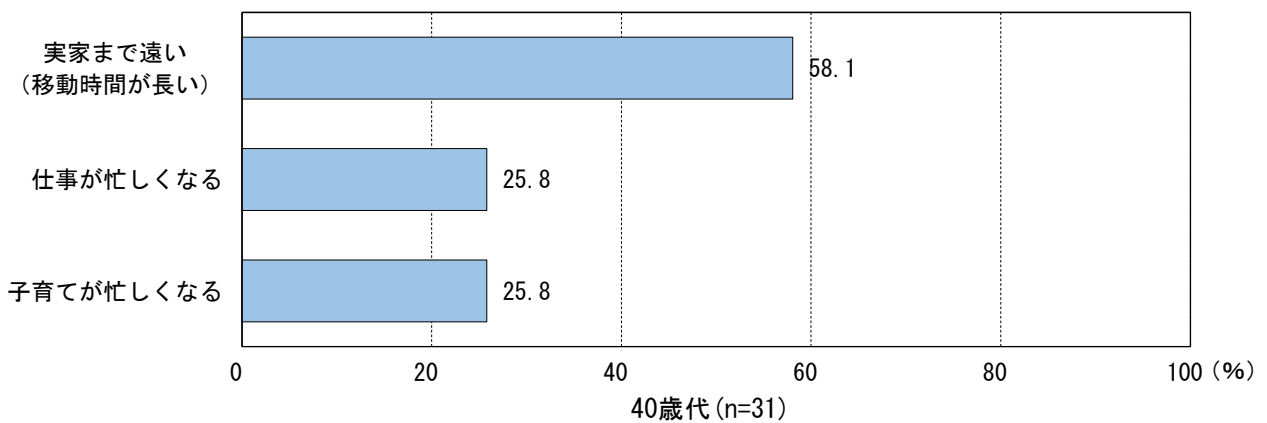
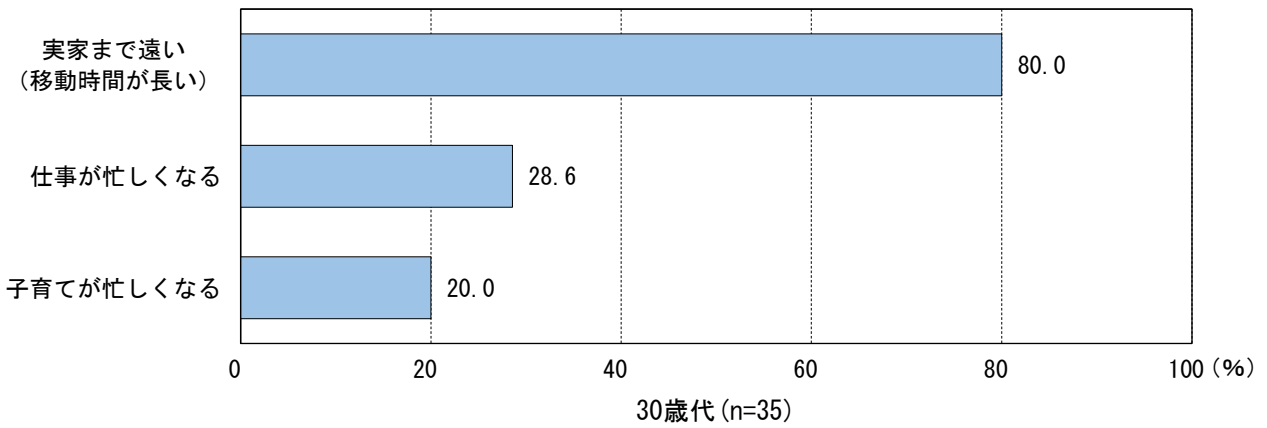
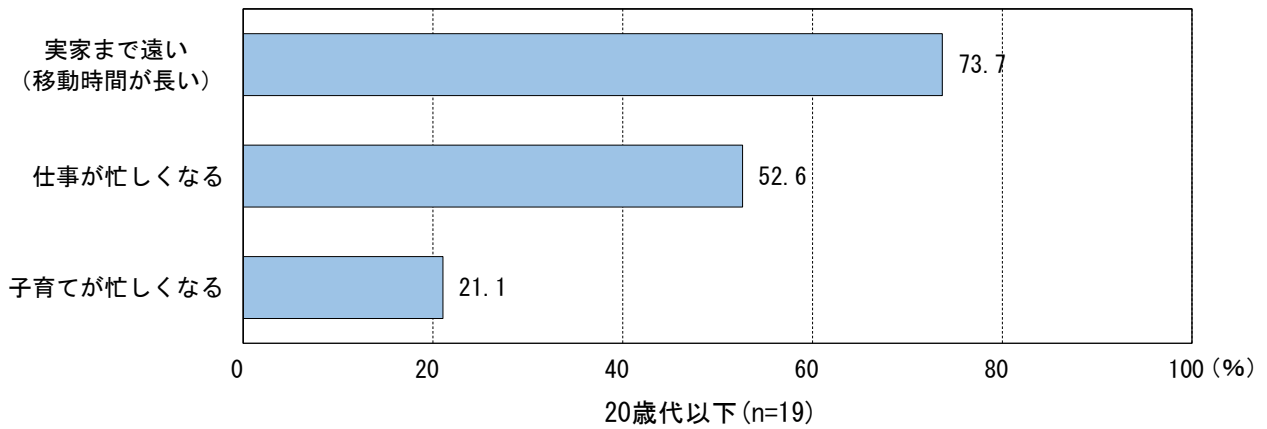
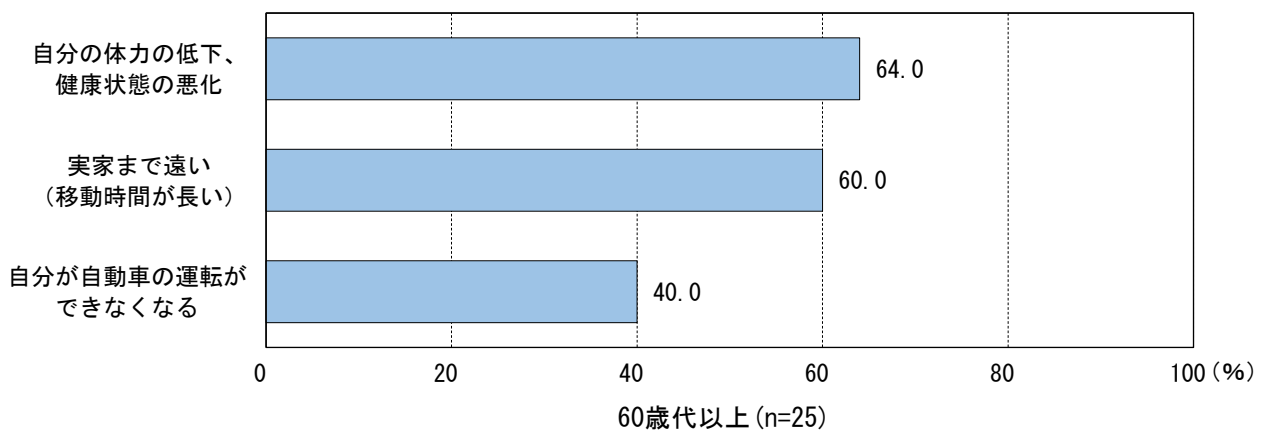
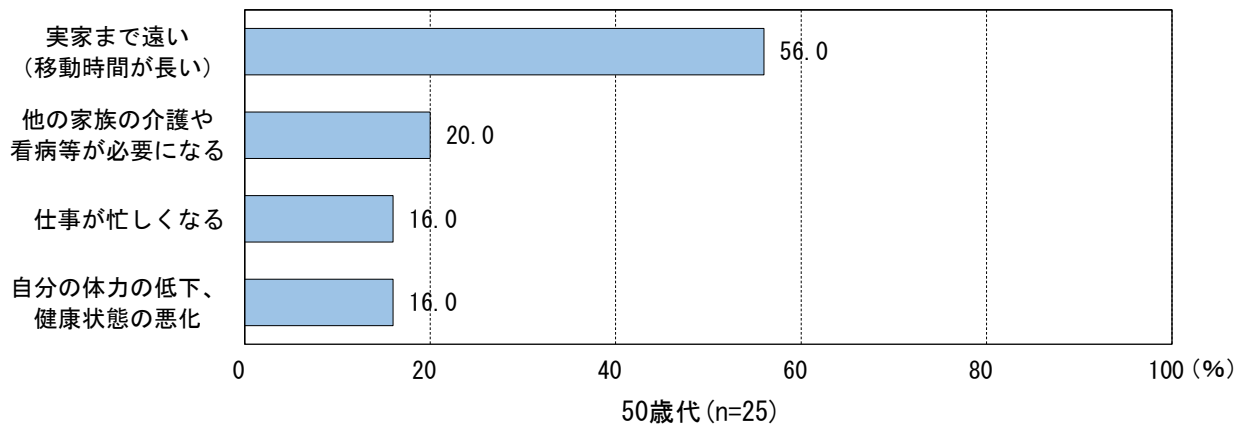


図 今後、実家への手助け等を減らさざるをえなくなる、または、難しいと思う理由【再掲】
 (年齢別、上位3項目)





2. 実家周辺の地域活動への参加について

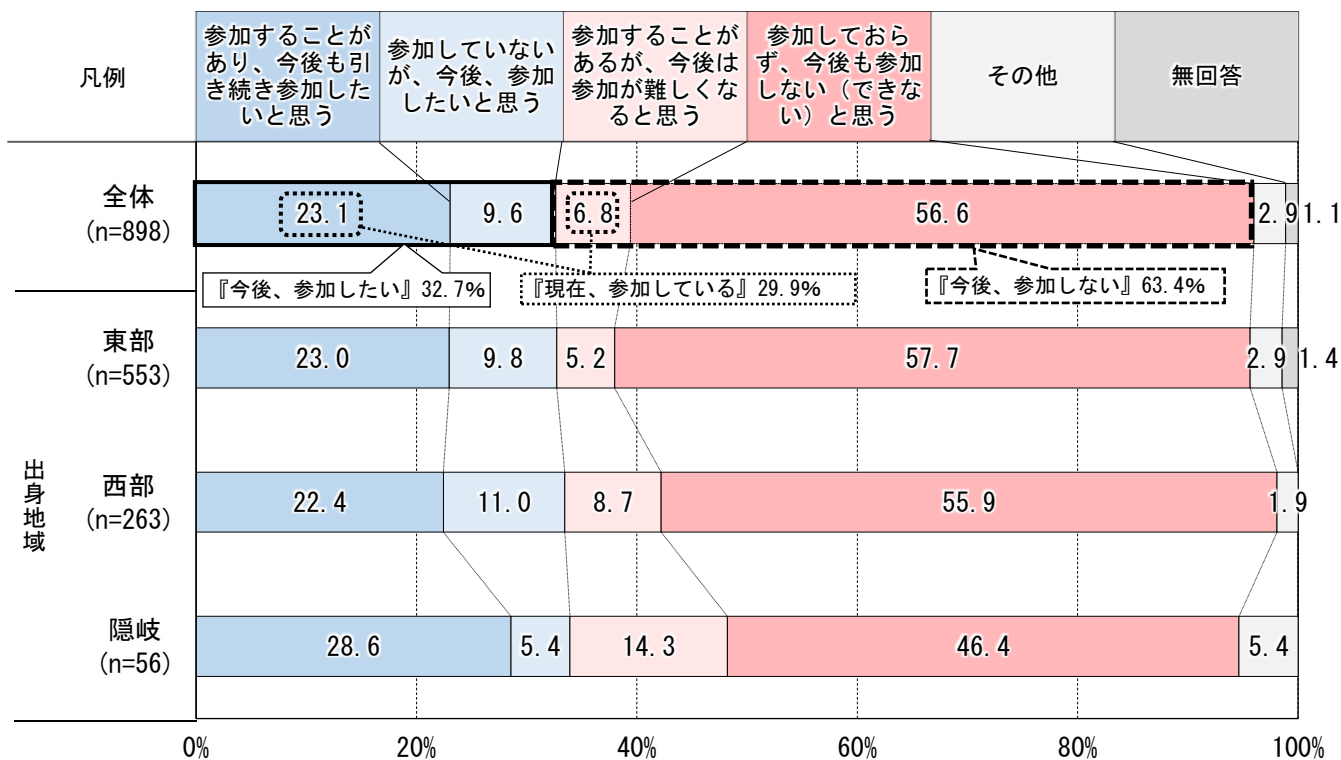
問8 あなたは実家周辺の地域活動（自治会、清掃活動、お祭りなど）に参加することがありますか。

○実家周辺の地域活動への参加については、『現在、参加している』（「参加することがあり、今後も引き続き参加したいと思う」「参加することがあるが、今後は参加が難しくなると思う」の計。以下この間において同じ）は29.9%となっている。

○今後の参加意向については、『今後、参加したい』（「参加することがあり、今後も引き続き参加したいと思う」「参加していないが、今後、参加したいと思う」の計。以下この間において同じ）は32.7%となっている。

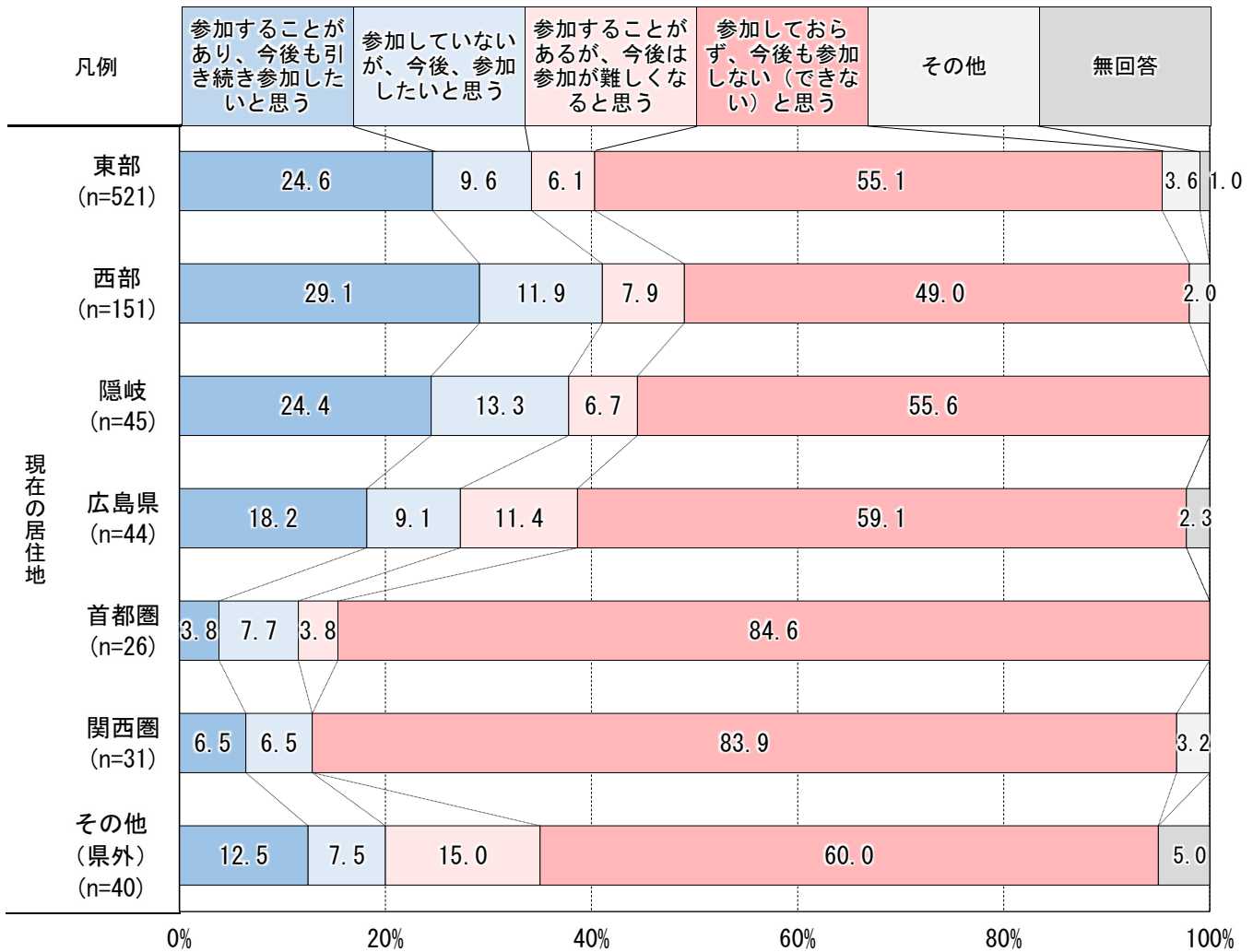
○一方で、『今後、参加しない』（「参加することがあるが、今後は参加が難しくなると思う」「参加しておらず、今後も参加しない（できない）と思う」の計）は63.4%となっている。

図 実家周辺の地域活動（自治会、清掃活動、お祭りなど）への参加（全体・出身地域別）



○現在の居住地別にみると、首都圏、関西圏など遠方になると、「参加しておらず、今後も参加しない（できない）と思う」が高くなっている。

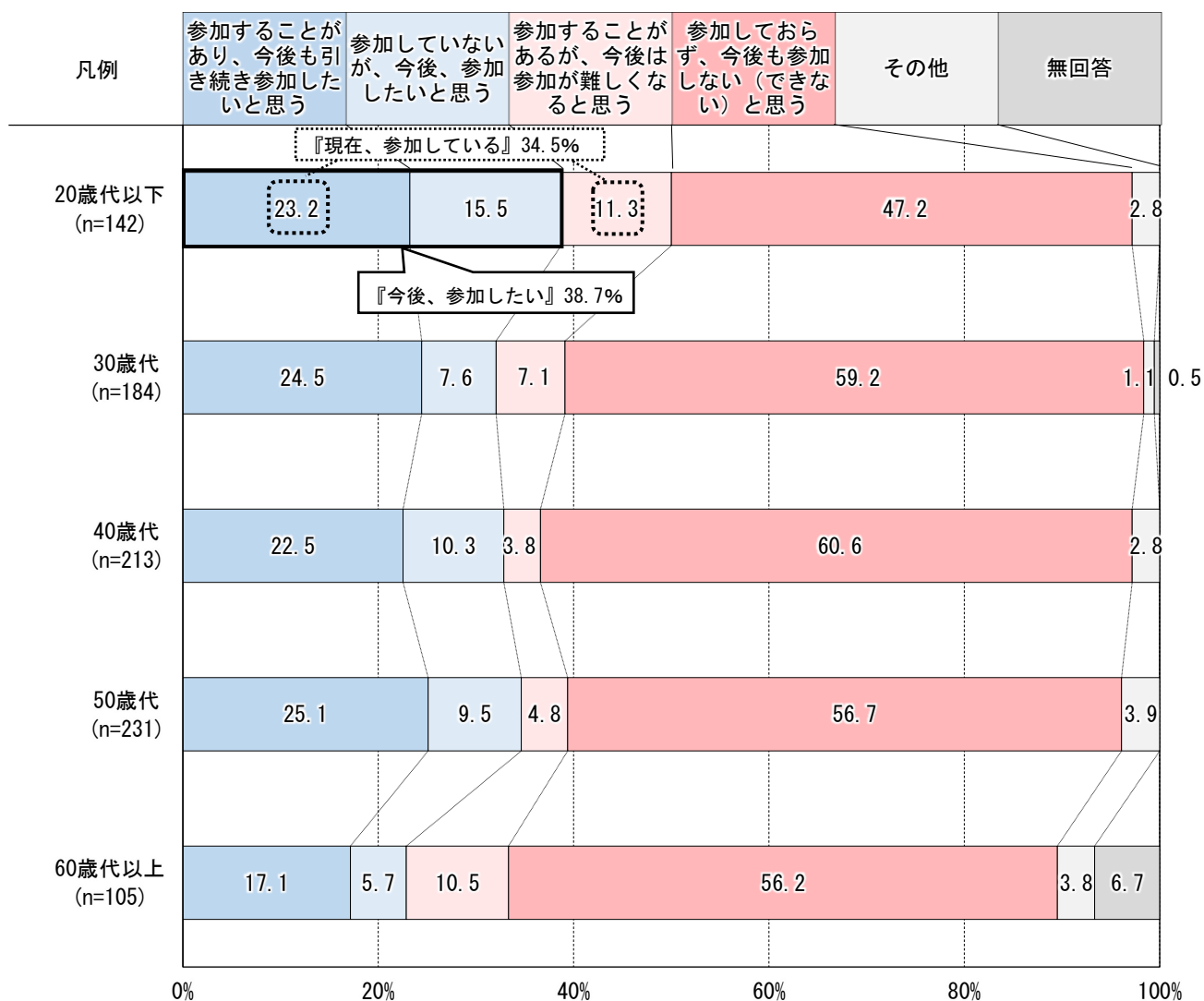
図 実家周辺の地域活動（自治会、清掃活動、お祭りなど）への参加（現在の居住地別）



○年齢別にみると、20歳代以下では、『現在、参加している』が34.5%、『今後、参加したい』が38.7%と高くなっている。また、「参加することがあるが、今後は参加が難しくなると思う」も11.3%と高くなっている。

○60歳代以上では「参加することがあるが、今後は参加が難しくなると思う」が10.5%と高くなっている。

図 実家周辺の地域活動（自治会、清掃活動、お祭りなど）への参加（年齢別）

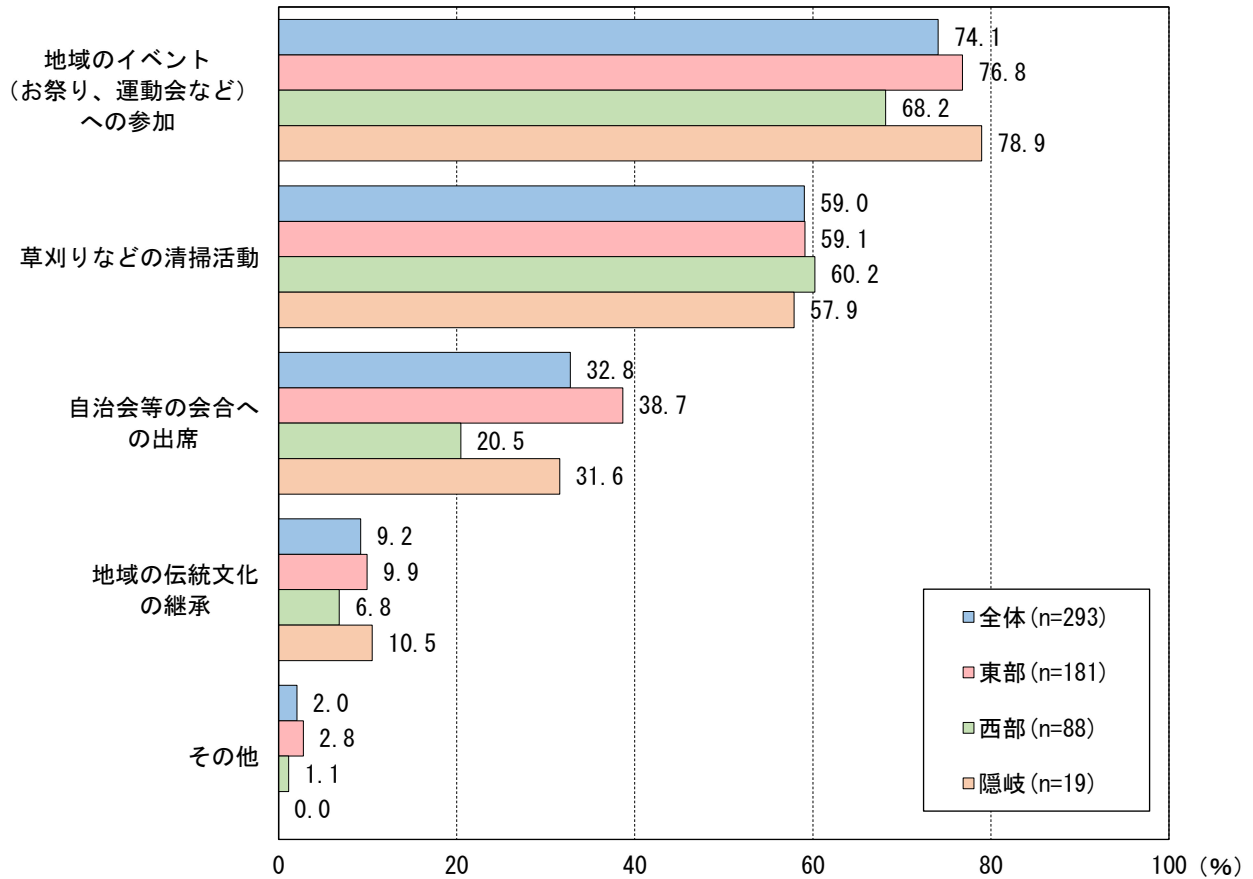


問9

問8で「参加することがあり、今後も引き続き参加したいと思う」「参加していないが、今後、参加したいと思う」と回答した方にお聞きします。実家周辺の地域活動で、参加することがある、または、参加したいと思う地域活動にはどのようなものがありますか。
(複数回答)

○実家周辺の地域活動で、参加することがある、または、参加したいと思う地域活動は、「地域のイベント（お祭り、運動会など）への参加」が最も高く74.1%、次いで「草刈りなどの清掃活動」が59%となっている。

図 参加することがある、または、参加したい地域活動（全体・出身地域別）



○年齢別にみると、20歳代以下や30歳代では「地域のイベント（お祭り、運動会など）への参加」が8割以上と高くなっている。

○50歳代では、「草刈りなどの清掃活動」が76.3%と高くなっている。

図 参加することがある、または、参加したい地域活動（年齢別）

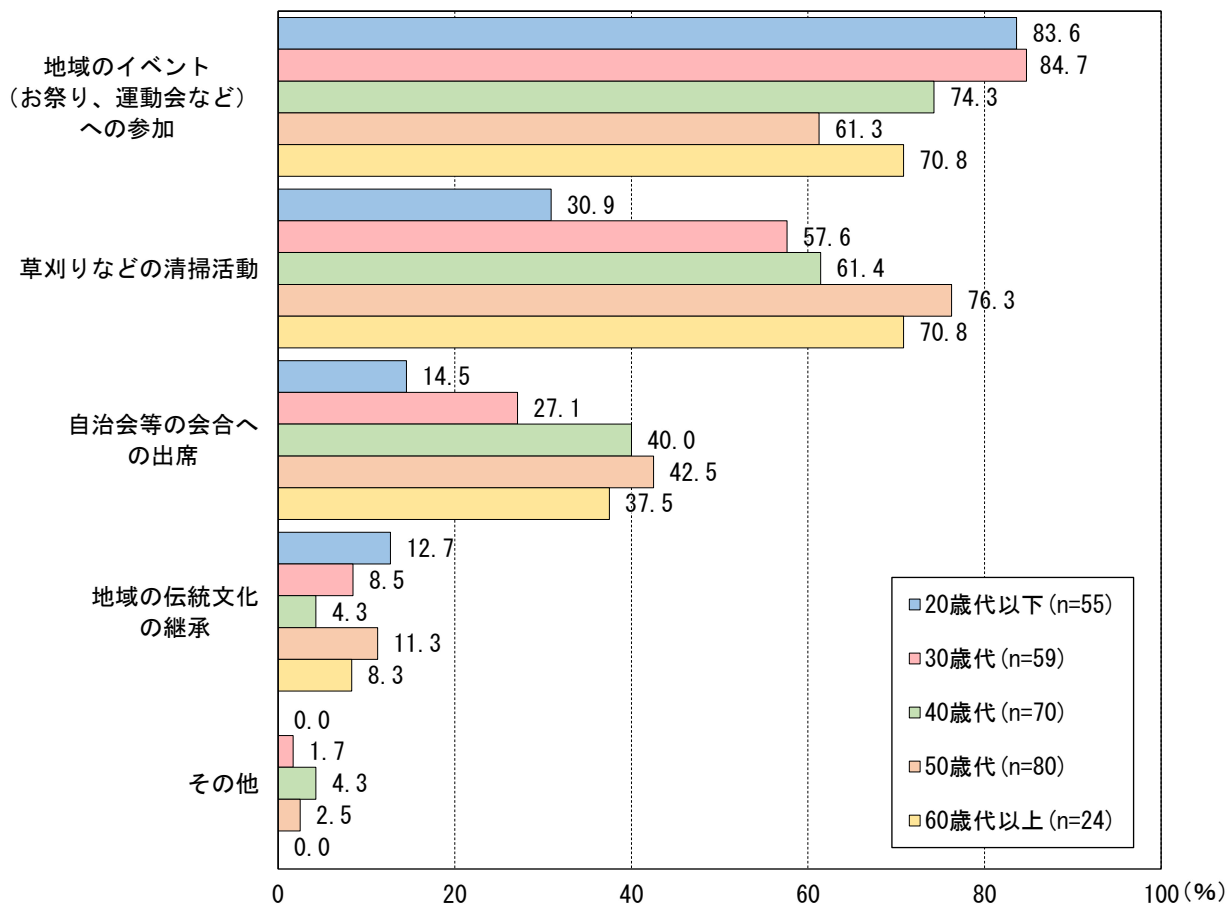
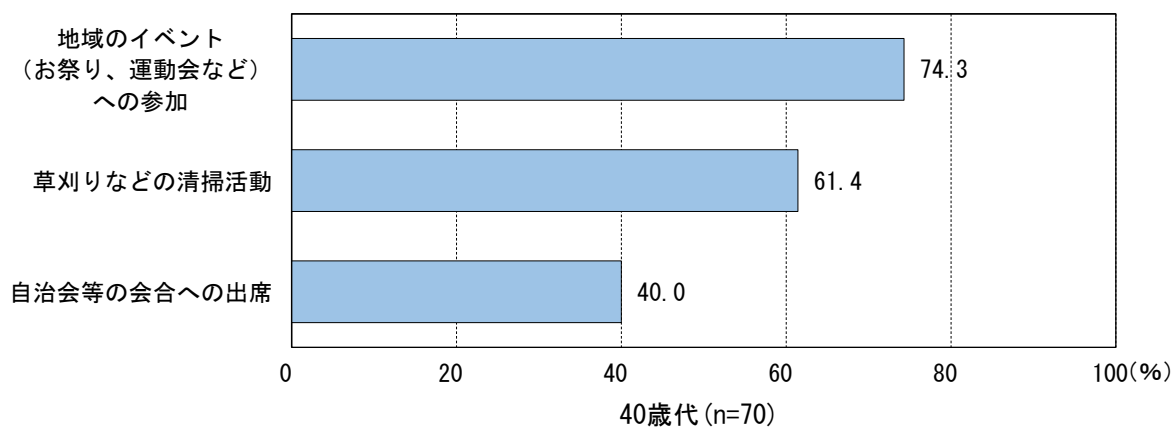
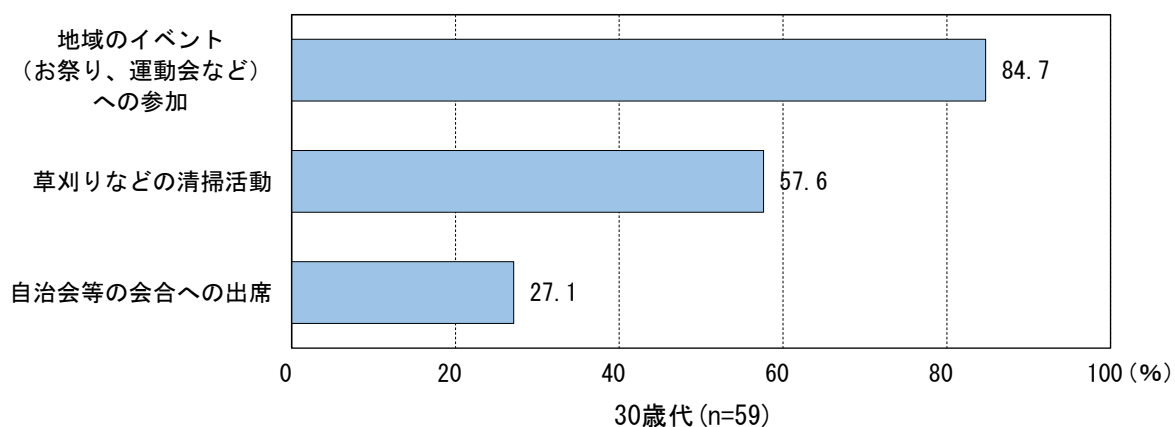
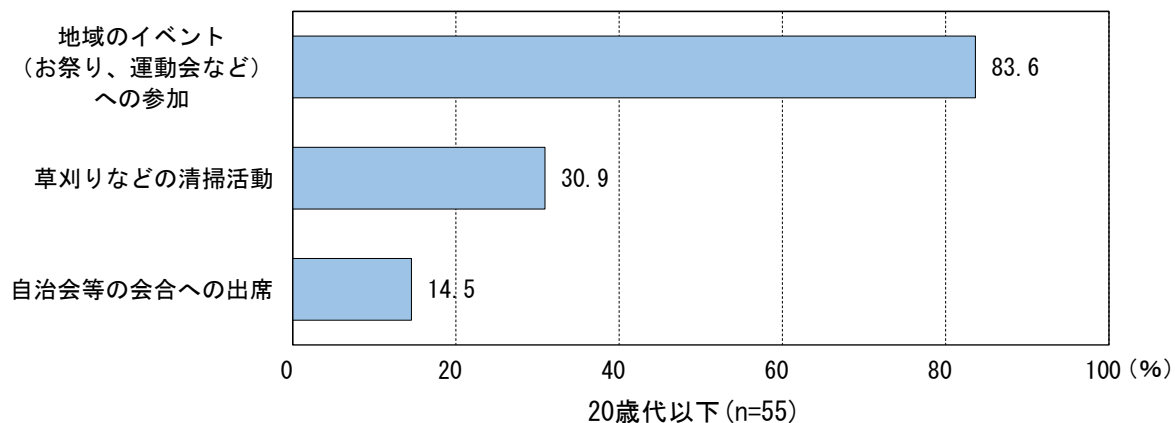
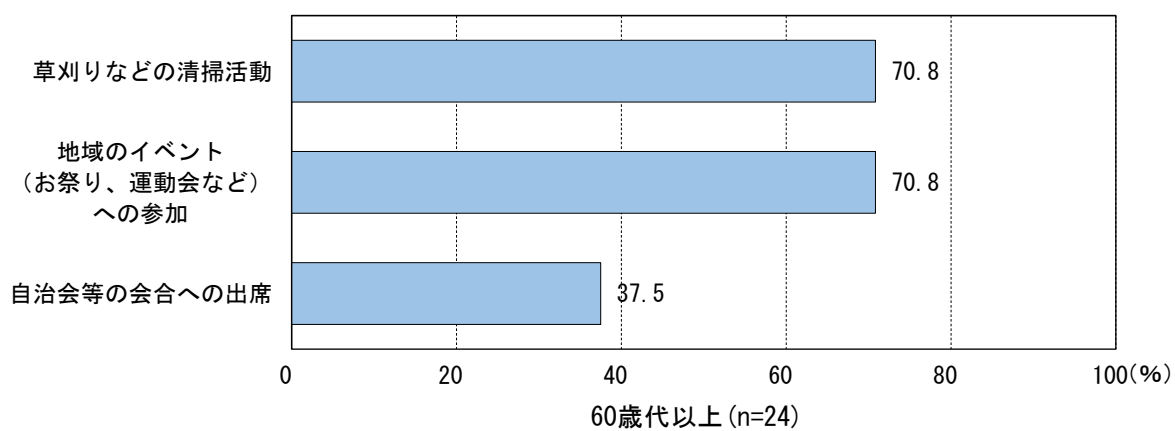
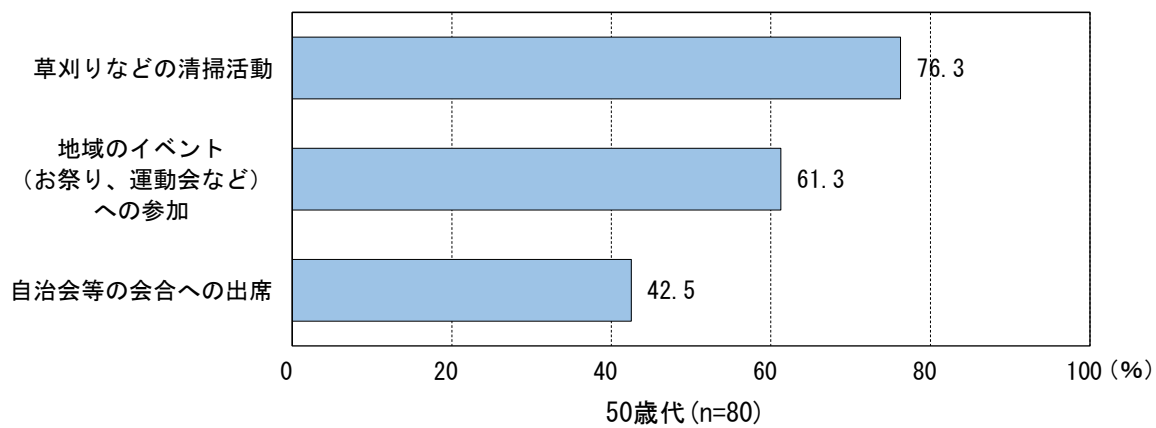


図 参加することがある、または、参加したい地域活動【再掲】（年齢別、上位3項目）

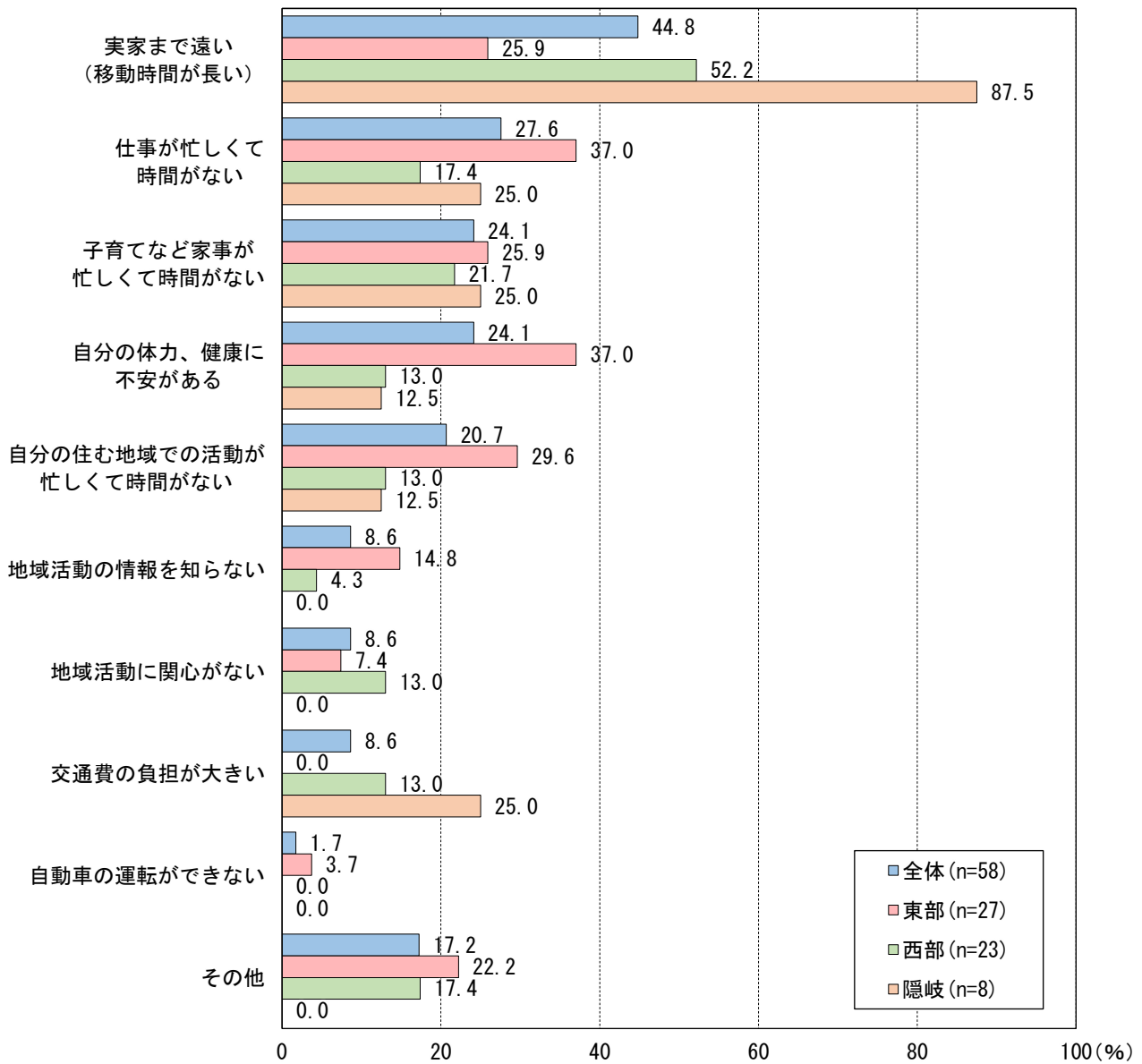




問10 問8で「参加することがあるが、今後は参加が難しくなると思う」「参加しておらず、今後も参加しない（できない）と思う」と回答した方にお聞きします。実家周辺の地域活動に参加しない、または、参加が難しくなると思う理由はどのようなものですか。（複数回答）

○実家周辺の地域活動に参加することがあるが、今後は参加が難しくなると思う理由をみると、「実家まで遠い（移動時間が長い）」が最も高く44.8%、次いで「仕事が忙しくて時間がない」が27.6%、「子育てなど家事が忙しくて時間がない」「自分の体力、健康に不安がある」が24.1%となっている。

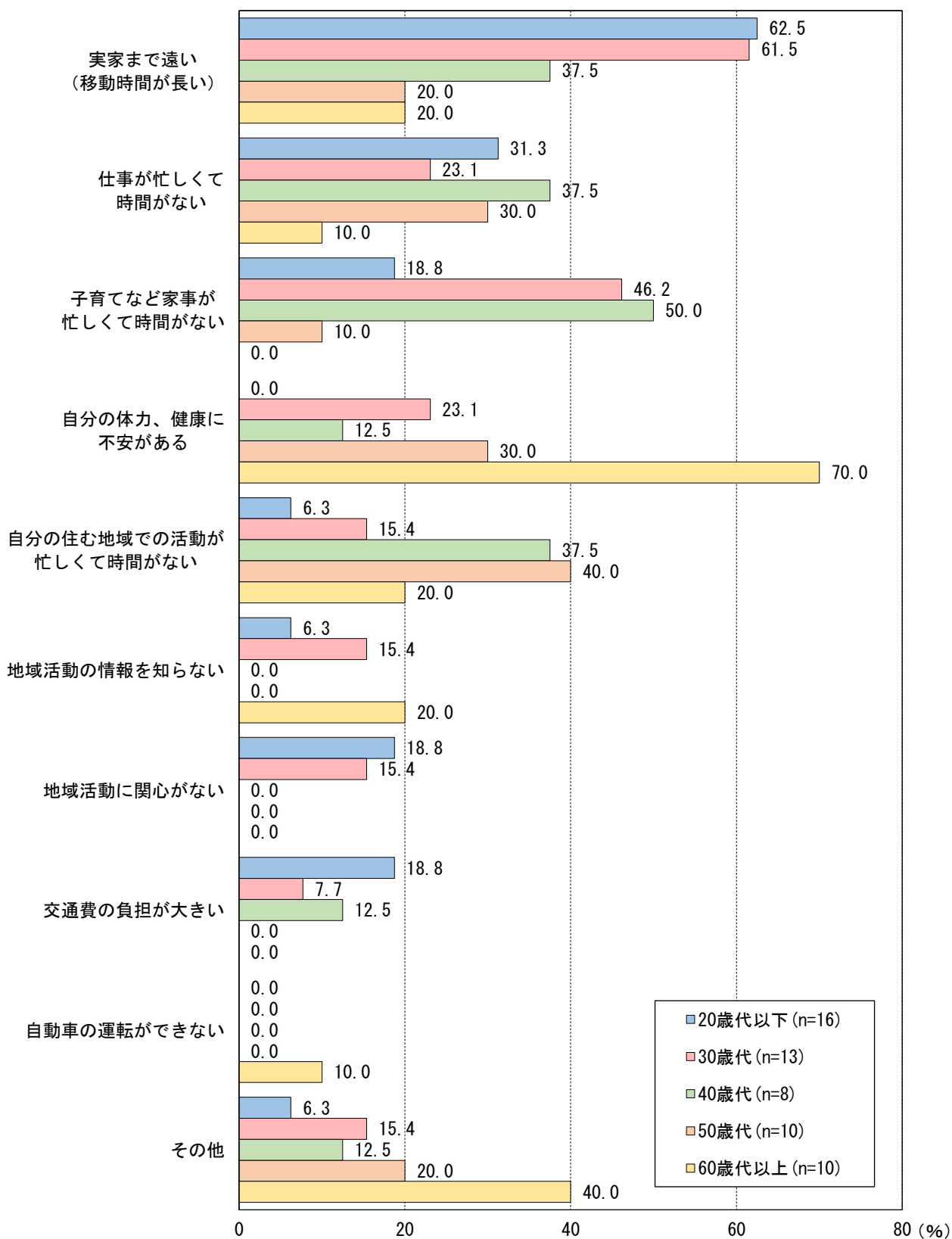
図 参加が難しくなると思う理由（全体・出身地域別）



【その他 (n=10) の回答のうち記載の多かったもの】

結婚して家を出ているから 3件 自身が高齢のため 2件 など

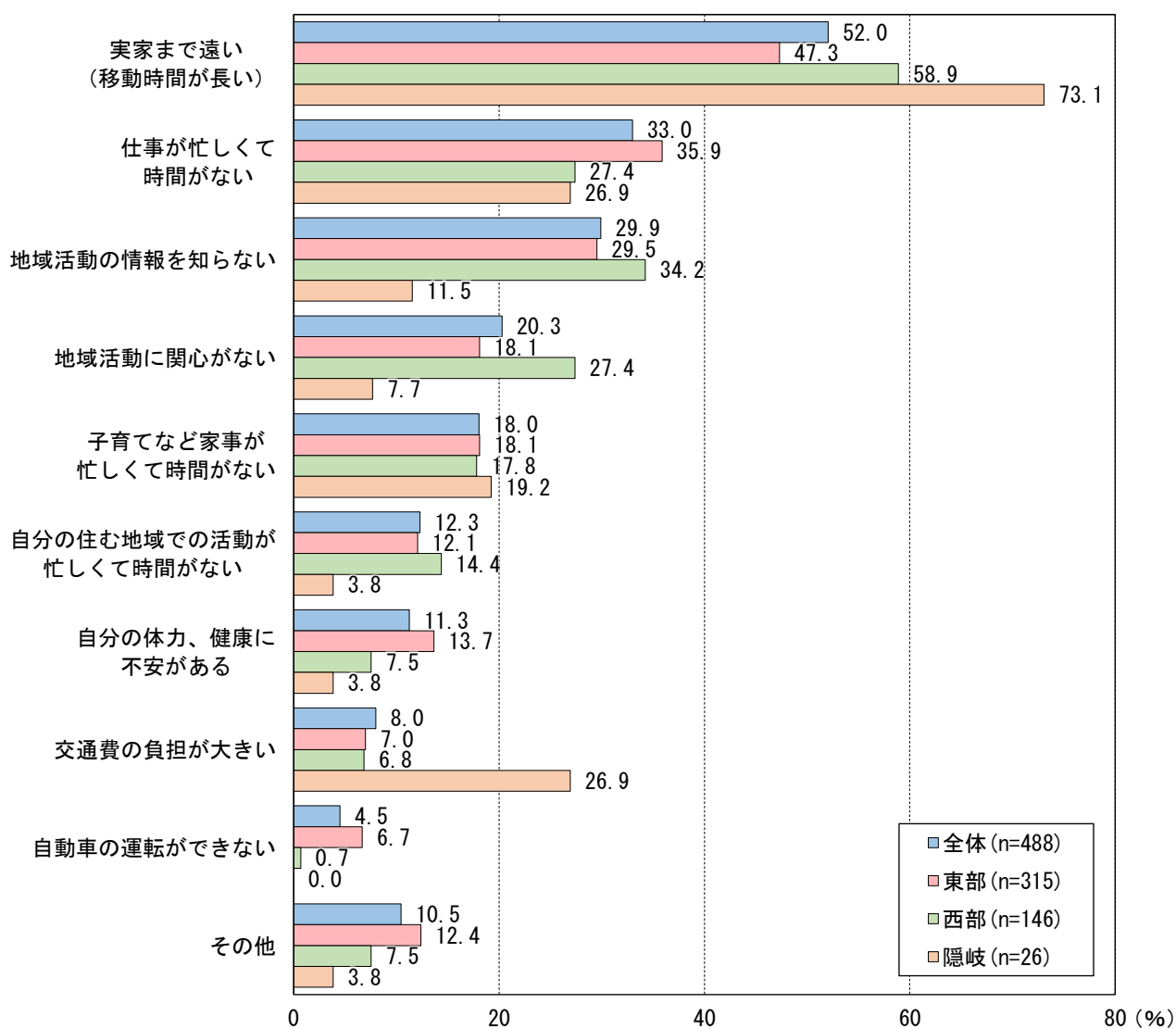
図 参加が難しくなると思う理由（年齢別）



○実家周辺の地域活動に参加しておらず、今後も参加しない（できない）と思う理由をみると、「実家まで遠い（移動時間が長い）」が最も高く52%、次いで「仕事が忙しくて時間がない」が33%、「地域活動の情報を知らない」が29.9%となっている。

○出身地域別にみると、隠岐地域では「実家まで遠い（移動時間が長い）」が最も高く73.1%となっているほか、「交通費の負担が大きい」が26.9%と高くなっている。また、東部地域では「仕事が忙しくて時間がない」が35.9%、「自分の体力、健康に不安がある」が13.7%、西部地域では「地域活動の情報を知らない」が34.2%、「地域活動に関心がない」が27.4%と高くなっている。

図 参加しない（できない）理由（全体・出身地域別）



【その他 (n=51) の回答のうち記載の多かったもの】

きょうだいが後を継いでくれている	18件
必要性を感じない (人がたくさんいる)	8件
地域との関係 (交流) が薄れているから	8件
自身が高齢のため	5件 など

○年齢別にみると、20歳代以下と30歳代で「実家まで遠い（移動時間が長い）」が最も高く約60%となっている。

○また、20歳代以下では「地域活動に関心がない」、30歳代と40歳代では「子育てなど家事が忙しくて時間がない」も高くなっている。

○一方、60歳代以上では、「自分の体力、健康に不安がある」や「自動車の運転ができない」が高くなっている。

図 参加しない（できない）理由（年齢別）

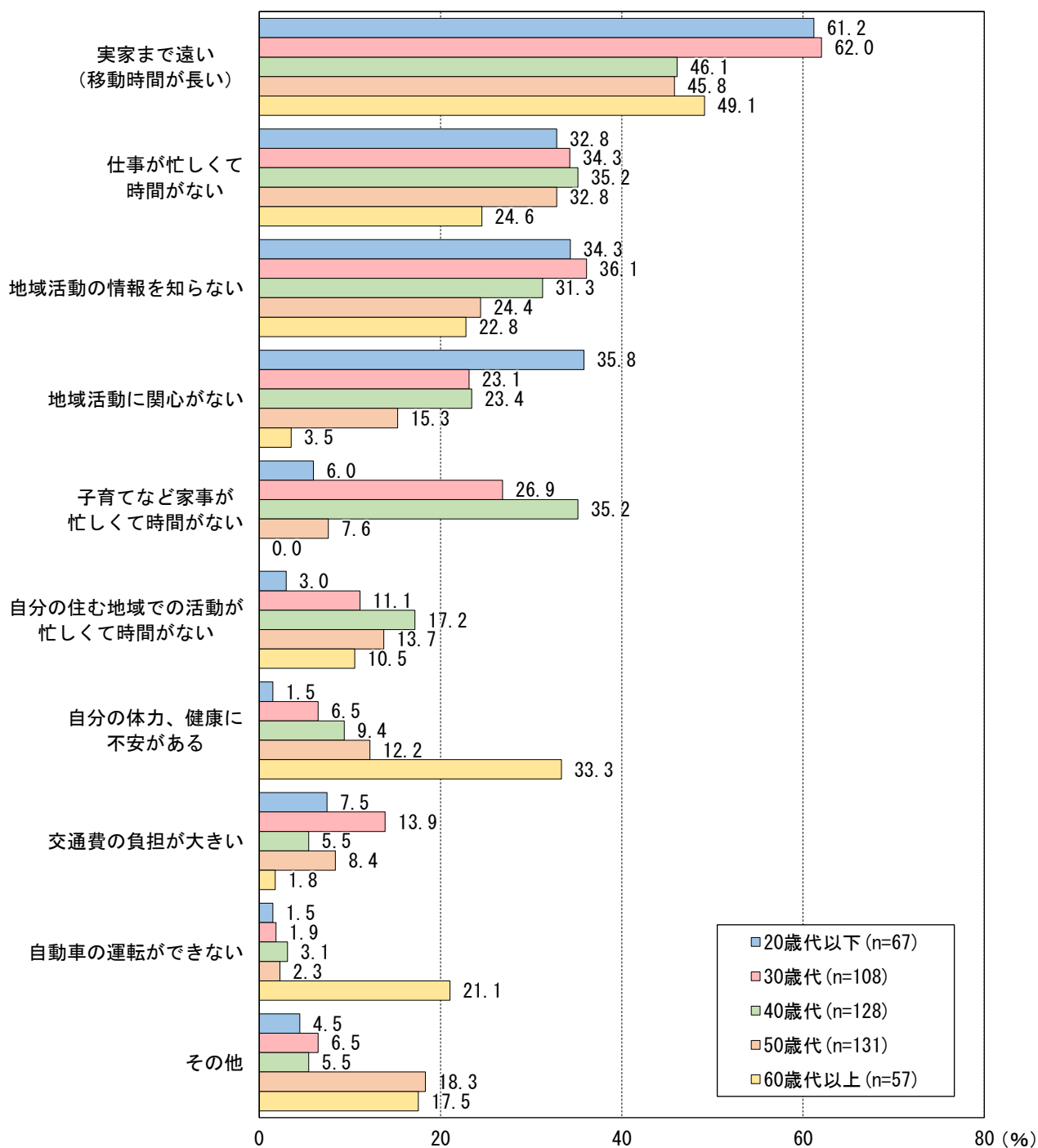
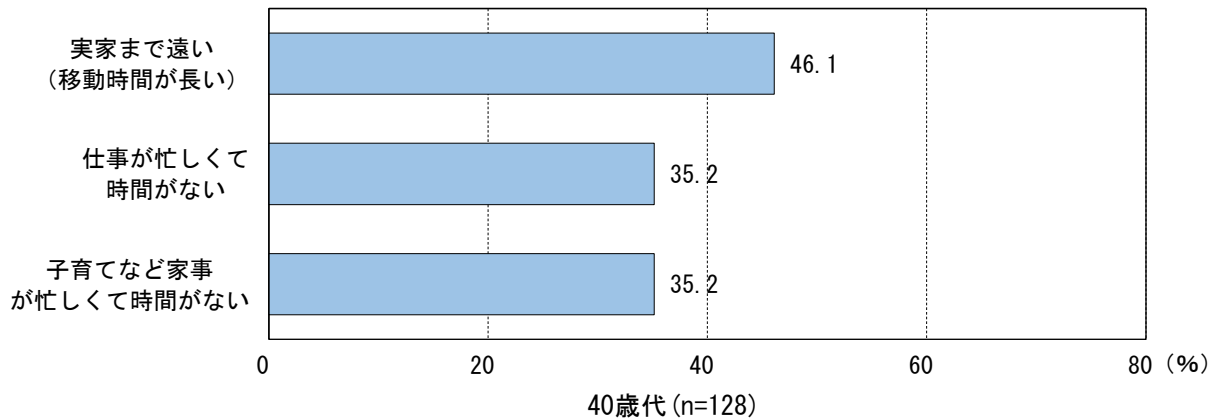
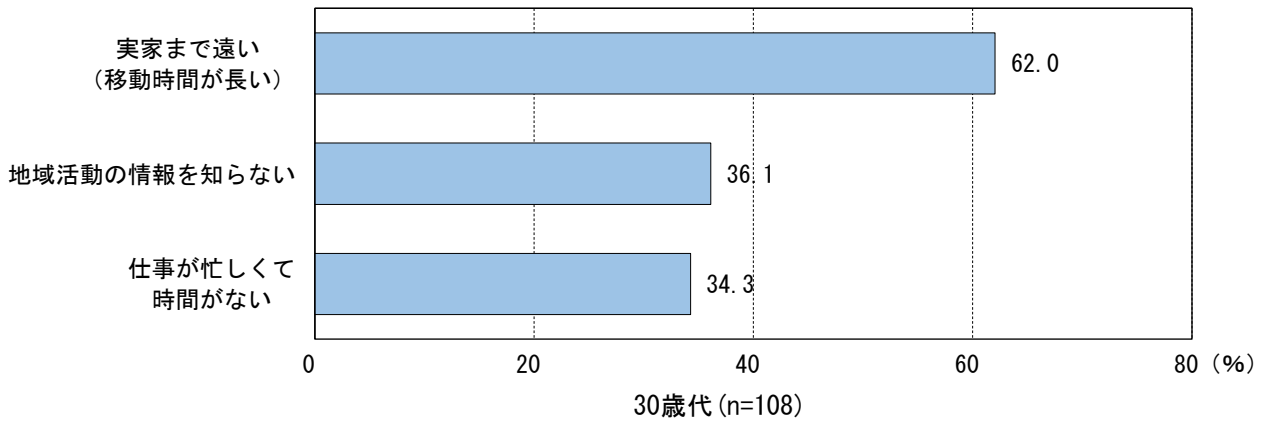
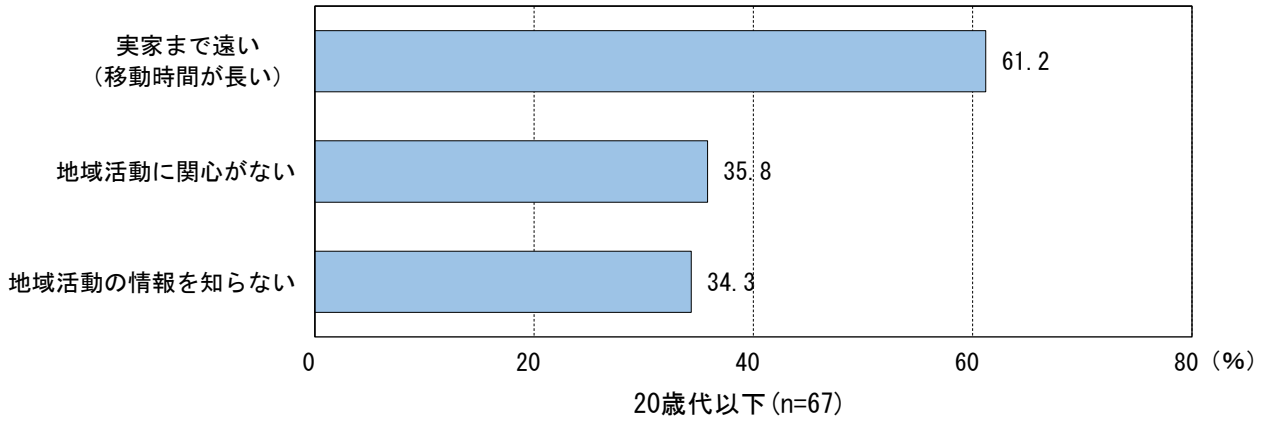
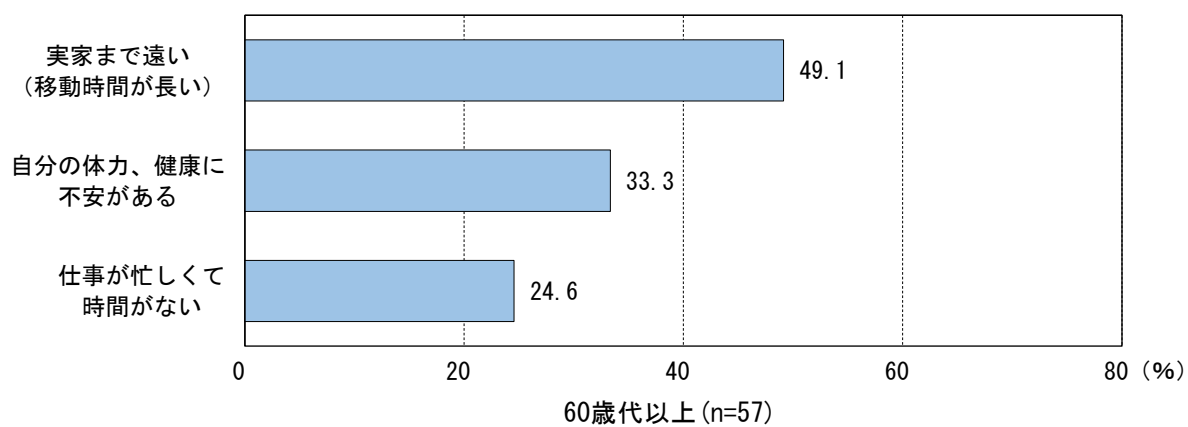
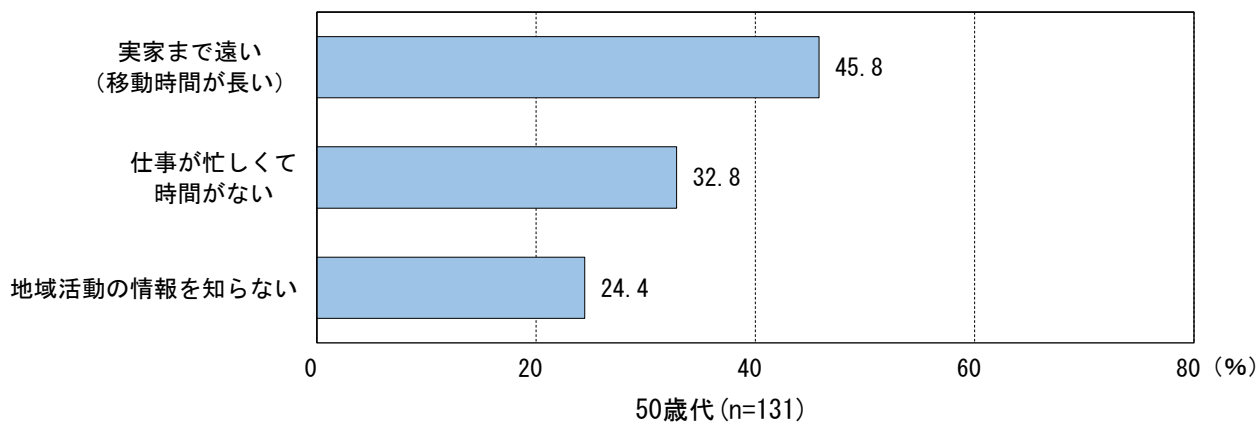


図 参加しない（できない）理由【再掲】（年齢別、上位3項目）



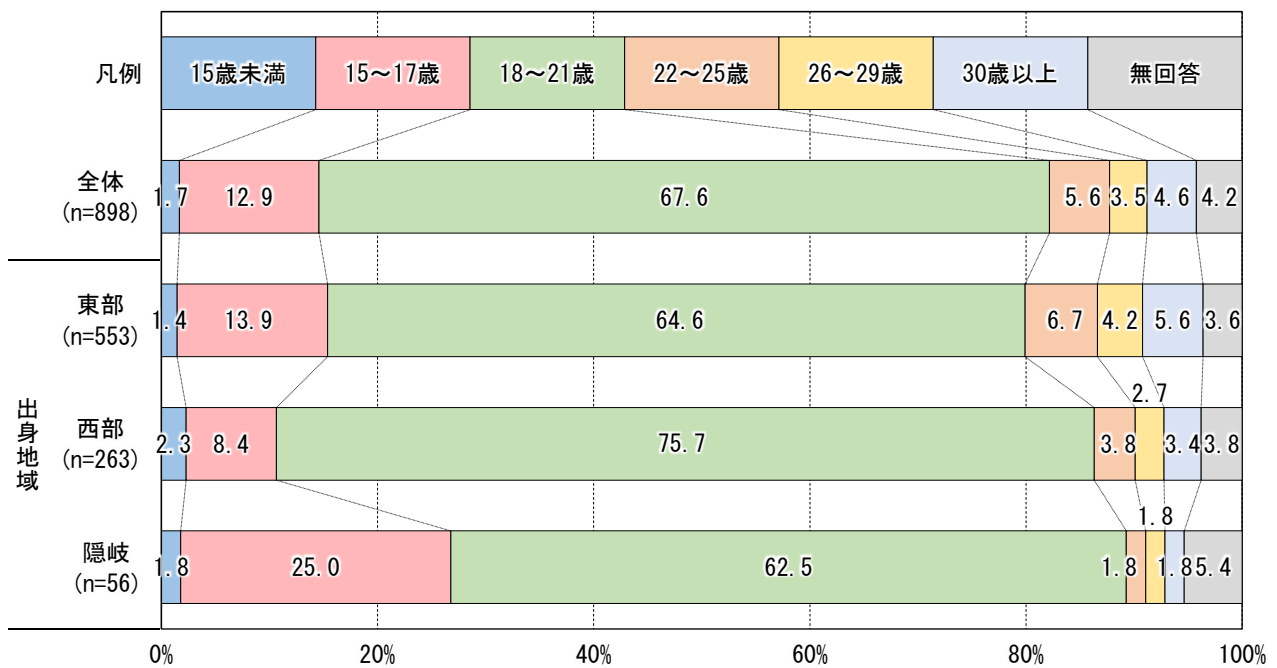


3. 実家からの初めての転居について

問 11 あなたが、実家から初めて転居したのは何歳の時ですか。

- 実家から初めて転居した年齢をみると、高校卒業から進学・就職時期を含む「18～21歳」が最も高く67.6%、次いで高校進学を含む「15～17歳」が12.9%となっている。
- 出身地域別にみると、隠岐地域は「15～17歳」での転居が高くなっている。

図 実家から初めて転居した年齢（全体・出身地域別）



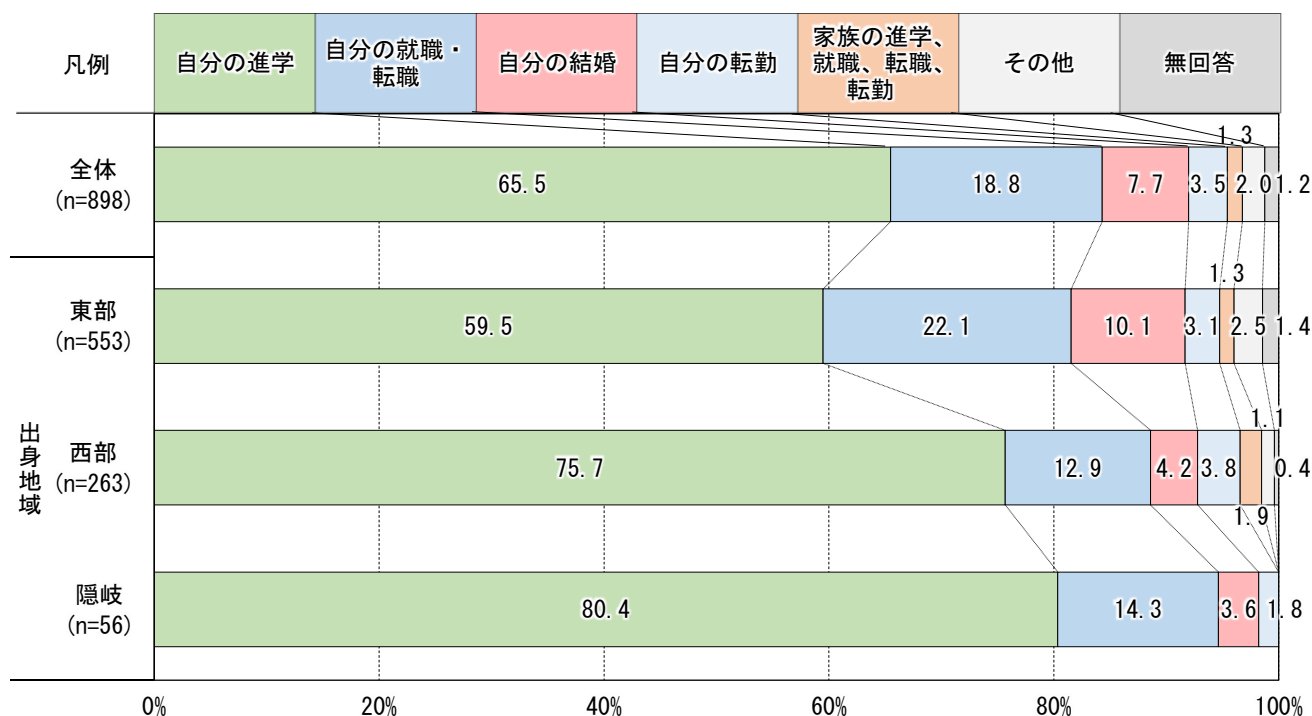
問 12 あなたが、実家から初めて転居した時のきっかけはどのようなことですか。

○初めて転居した時のきっかけは、「自分の進学」が最も高く 65.5%、次いで「自分の就職・転職」が 18.8%となっている。

○出身地域別にみると、隠岐地域で「自分の進学」が 80.4%、西部地域でも 75.7%と高くなっている。

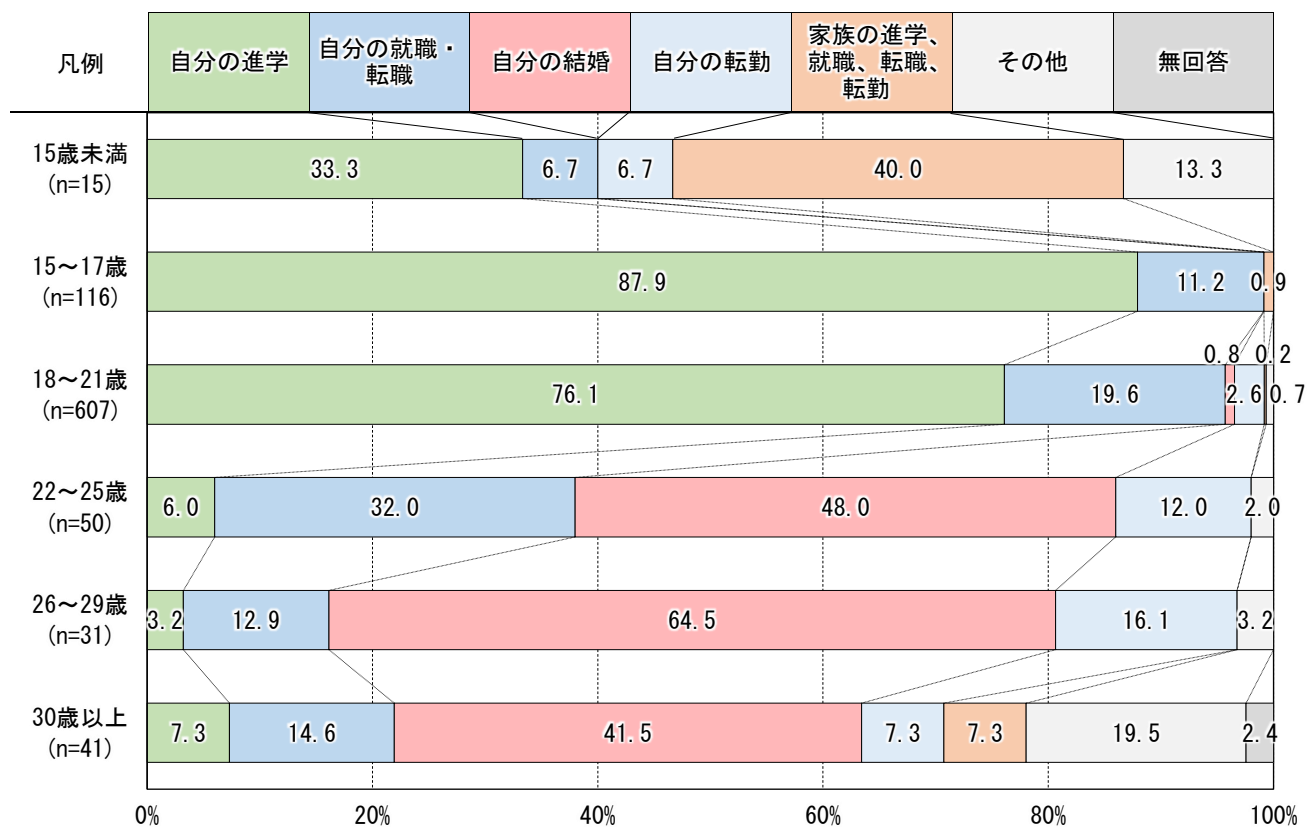
○一方、東部地域は「自分の就職・転職」が 22.1%と高くなっている。

図 実家から初めて転居したきっかけ（全体・出身地域別）



○初めて転居したきっかけは、21歳以下では「自分の進学」が高く、22歳以上では「自分の結婚」が高くなっている。

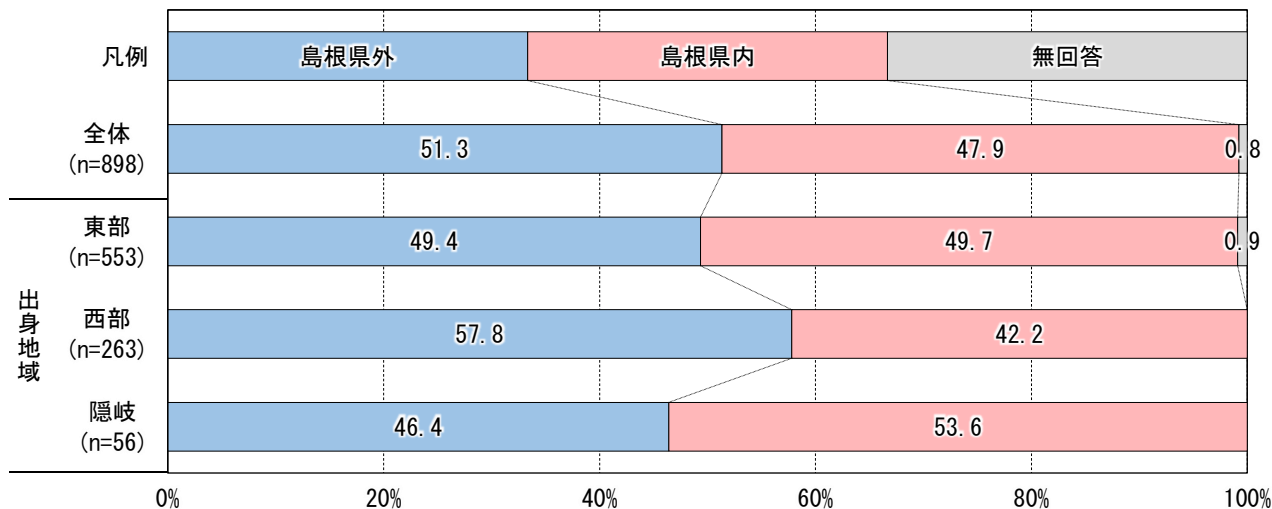
図 実家から初めて転居したきっかけ（最初の転居年齢別）



問 13 あなたが、実家から初めて転居した先はどこですか。

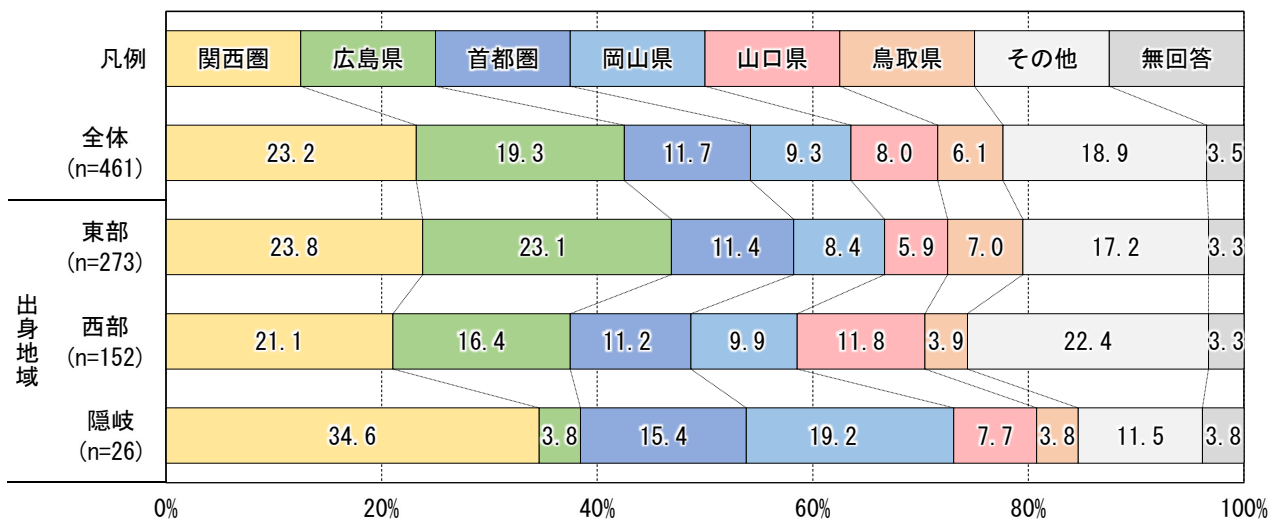
○初めての転居先は、「島根県外」が51.3%、「島根県内」が47.9%となっている。

図 実家から初めて転居した先（全体・出身地域別）



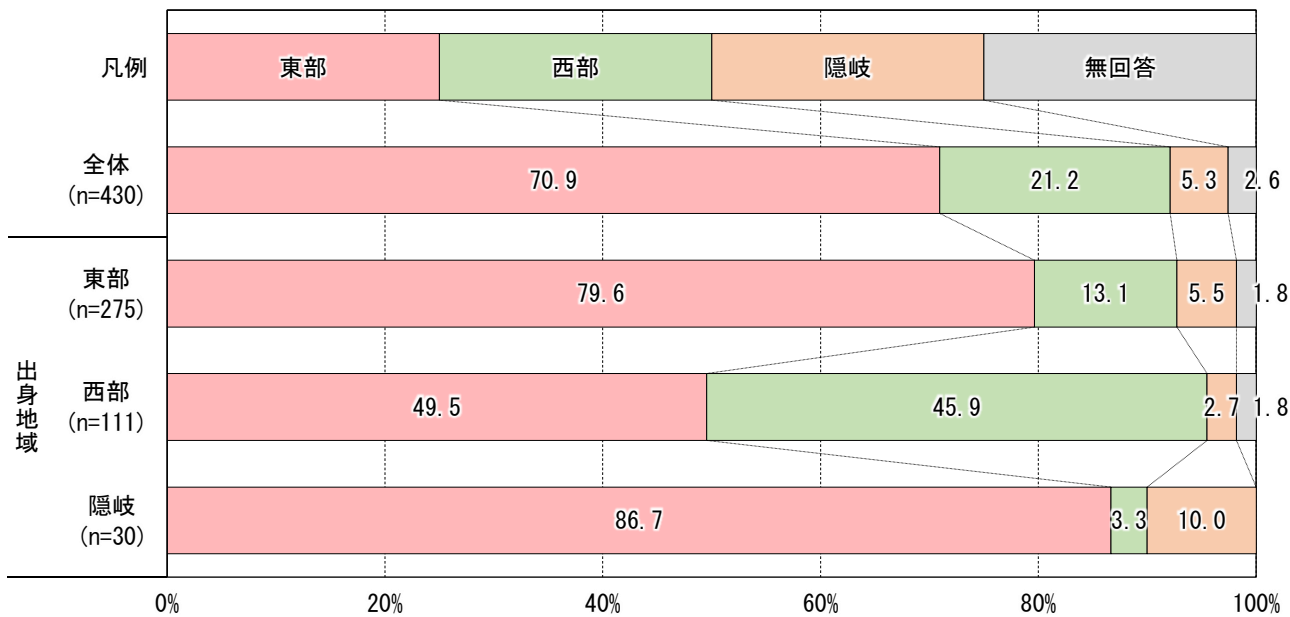
○島根県外の転居先としては、「関西圏」が最も高く23.2%、次いで「広島県」が19.3%となっている。

図 島根県外の転居先内訳（出身地域別）



○島根県内の転居先としては、東部地域が最も高く 70.9%、次いで西部地域が 21.2%となっている。

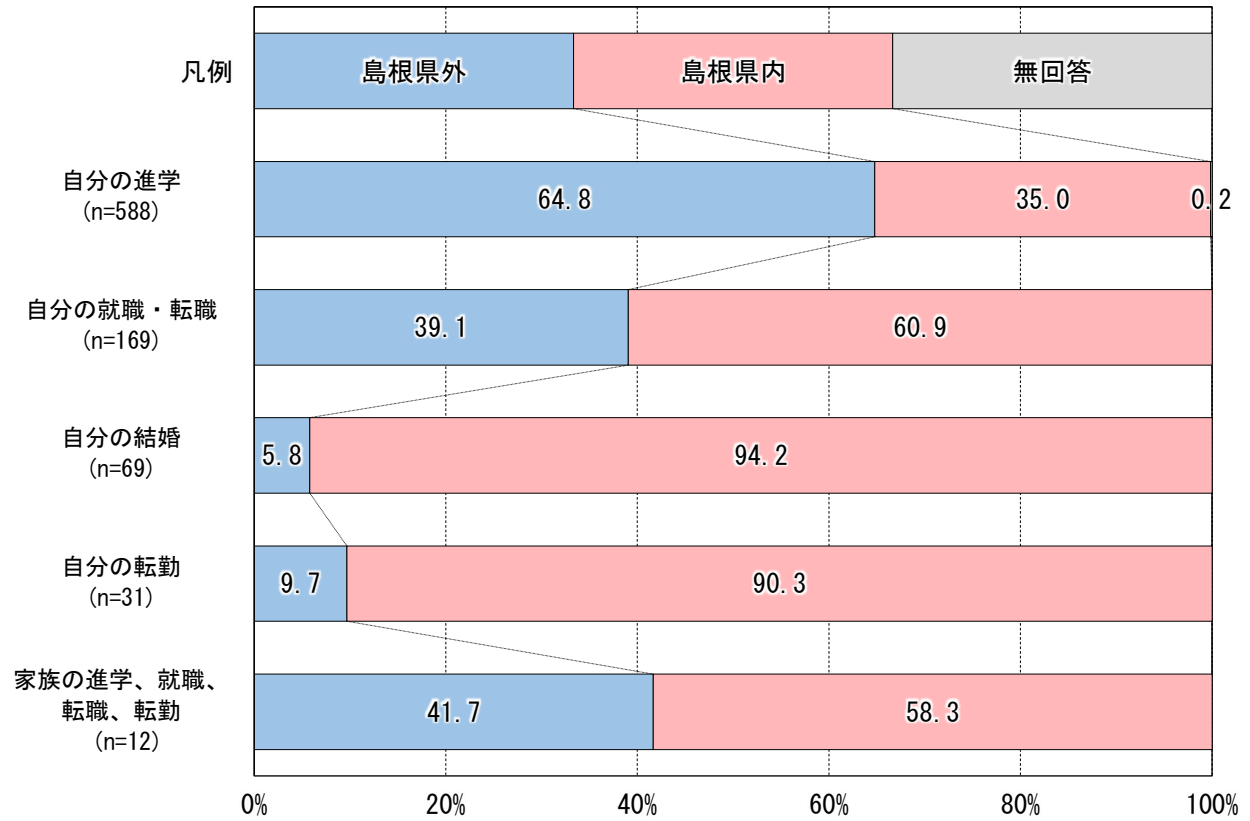
図 島根県内の転居先内訳（全体・出身地域別）



○転居したきっかけ別（問12）に初めての転居先をみると、「自分の進学」では、島根県外が64.8%と高くなっている。

○一方、「自分の結婚」や「自分の転勤」では、90%以上が島根県内に転居している。

図 初めての転居先と転居したきっかけ

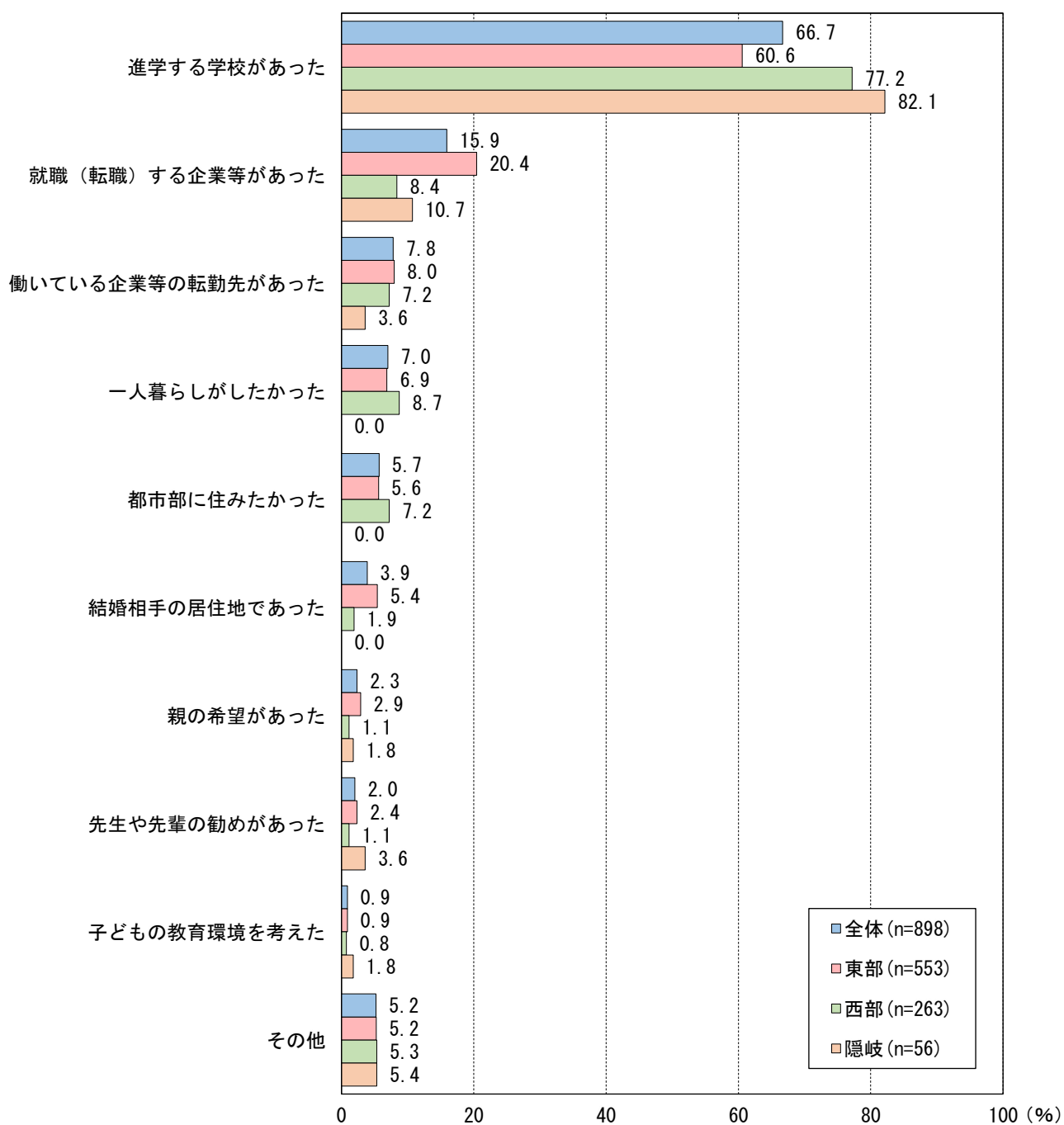


問 14 あなたが、実家から初めて転居した先を選んだ理由はどのようなことですか。(複数回答)

○実家から初めて転居した先を選んだ理由をみると、「進学する学校があった」が最も高く 66.7%となっている。

○出身地域別にみると、西部及び隠岐地域で「進学する学校があった」が高くなっており、東部地域では「就職（転職）する企業等があった」が高くなっている。

図 初めて転居した先を選んだ理由（全体・出身地域別）



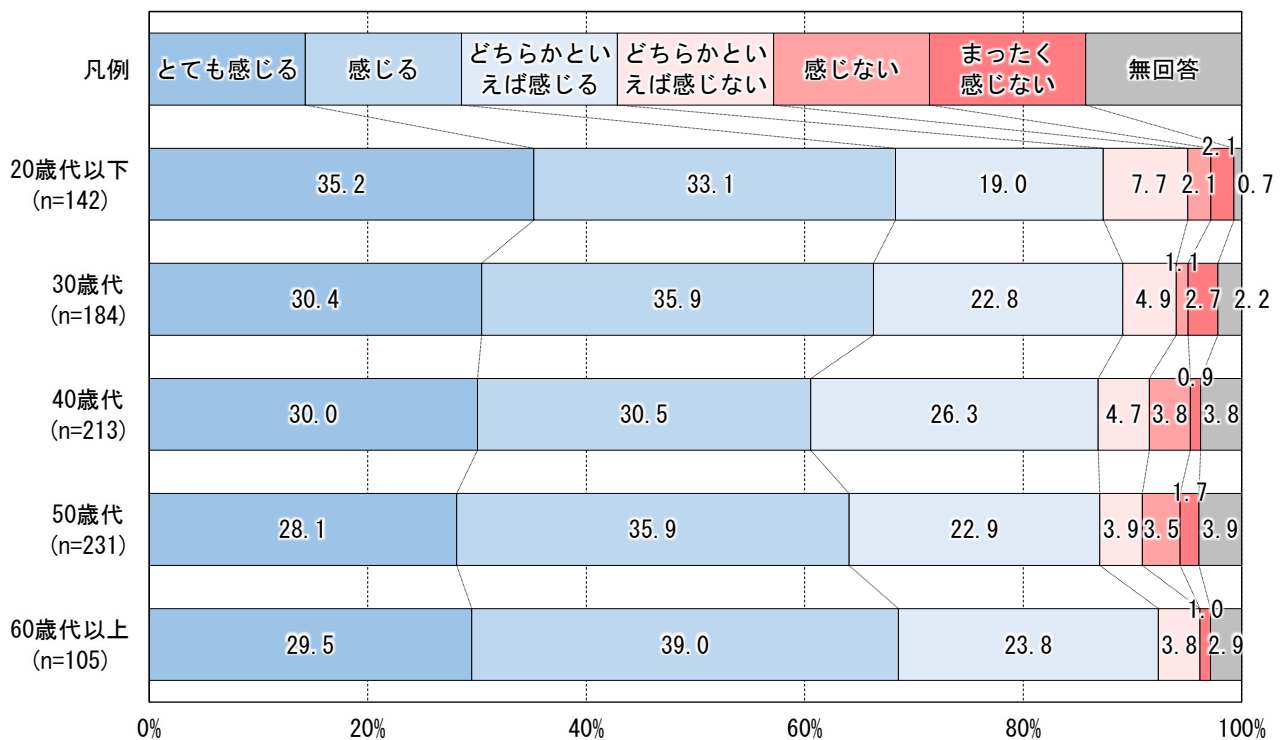
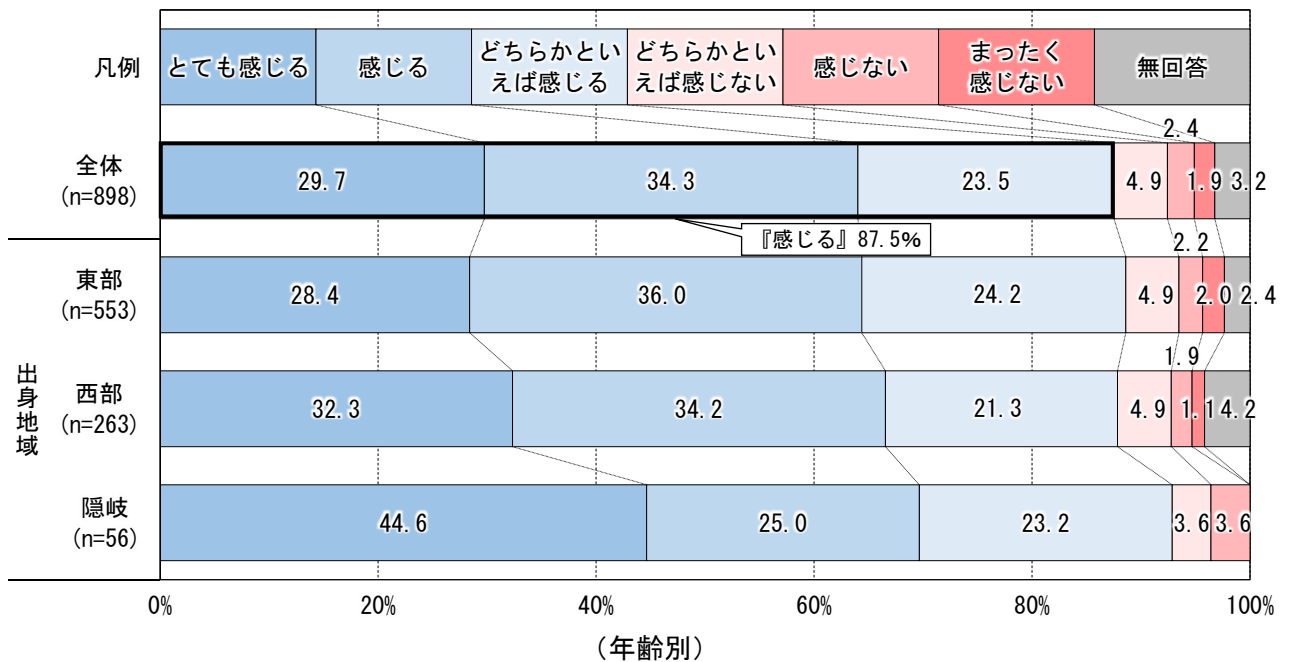
4. ふるさとへの愛着について

問15 あなたは、ふるさと（実家のある地域）に愛着を感じますか。

○ふるさと（実家のある地域）への愛着をみると、『感じる』（「とても感じる」「感じる」「どちらかといえば感じる」の計）が87.5%となっている。

○出身地域別にみると、隠岐地域は「とても感じる」が44.6%と高くなっている。

図 ふるさと（実家のある地域）への愛着
（全体・出身地域別）

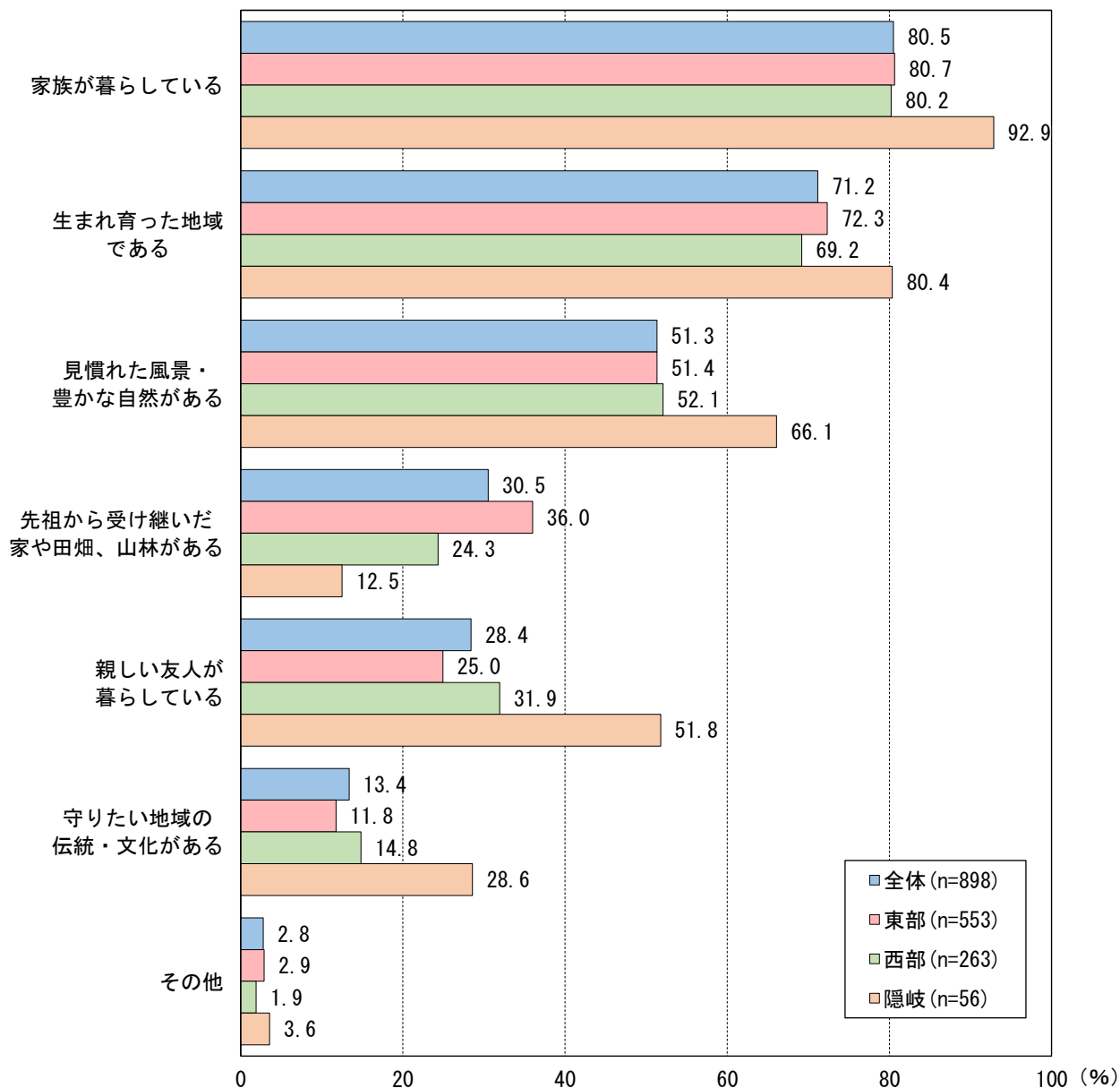


問 16

あなたが、ふるさと（実家のある地域）とのつながりを感じるのはどのようなことですか。（複数回答）

- ふるさと（実家のある地域）とのつながりを感じることは、「家族が暮らしている」が80.5%と最も高く、次いで「生まれ育った地域である」が71.2%、「見慣れた風景・豊かな自然がある」が51.3%となっている。
- 出身地域別にみると、隠岐地域は「先祖から受け継いだ家や田畑、山林がある」以外の項目が高く、また、東部地域は「先祖から受け継いだ家や田畑、山林がある」が高くなっている。

図 ふるさと（実家のある地域）とのつながりを感じること（全体・出身地域別）



○年齢別にみると、40歳代以下では「家族が暮らしている」が高く、30歳代以下では見慣れた風景・豊かな自然がある」も高くなっている。

○「先祖から受け継いだ家や田畑、山林がある」は年齢層が上がるにつれて高くなり、一方で、「親しい友人が暮らしている」は年齢層が下がるにつれて高くなっている。

図 ふるさと（実家のある地域）とのつながりを感じること（年齢別）

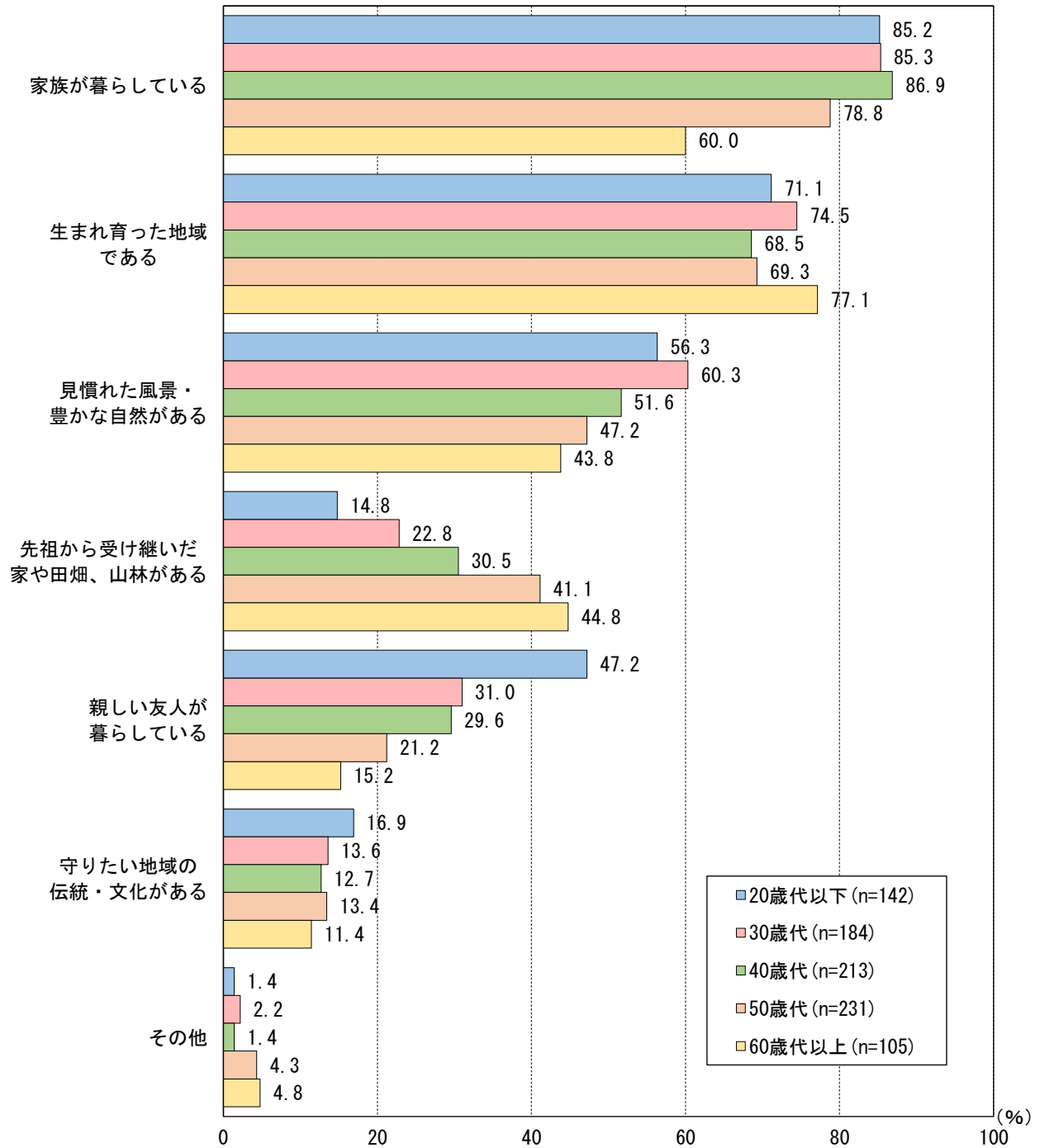
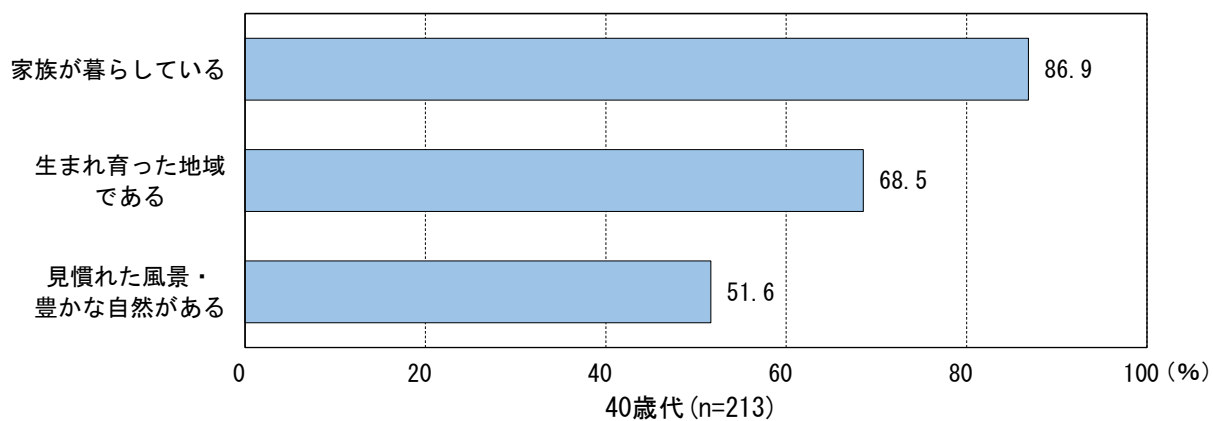
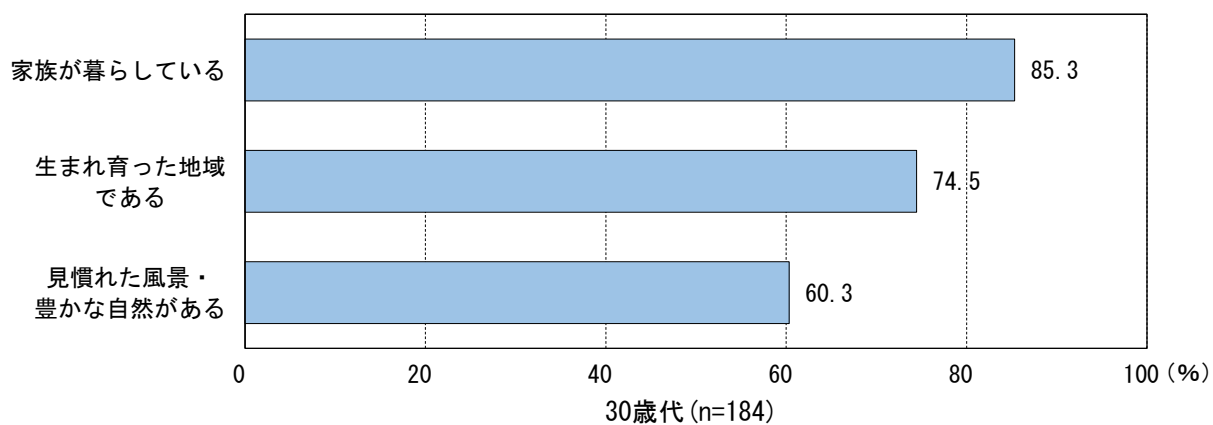
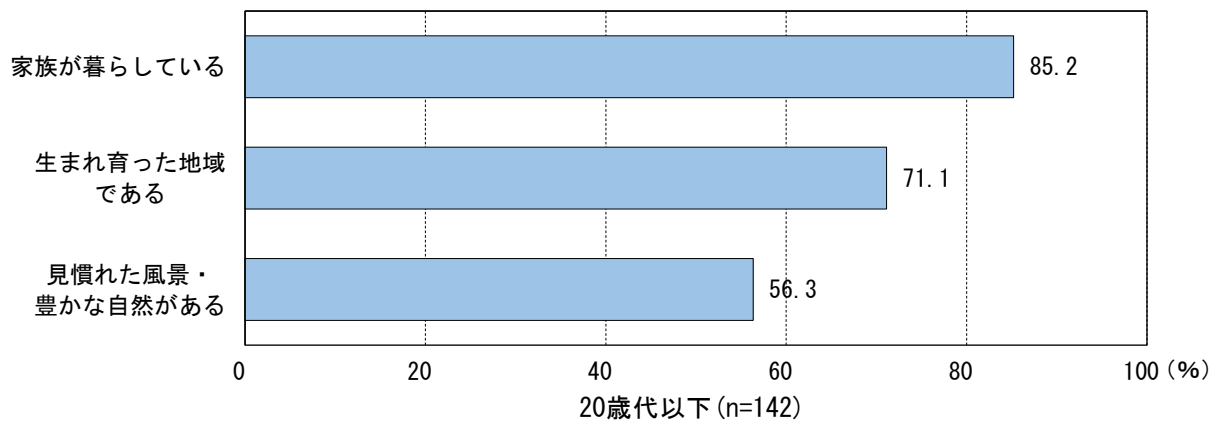
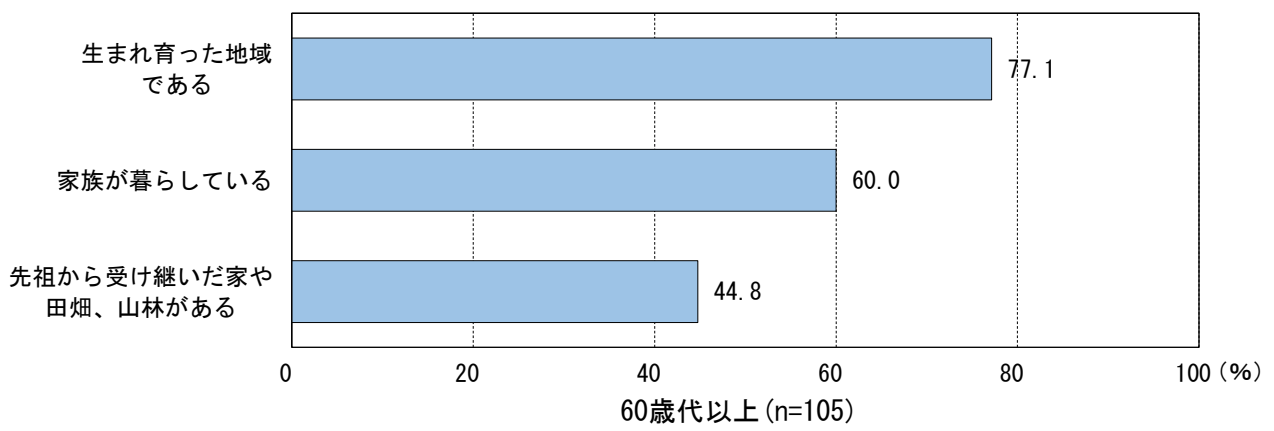
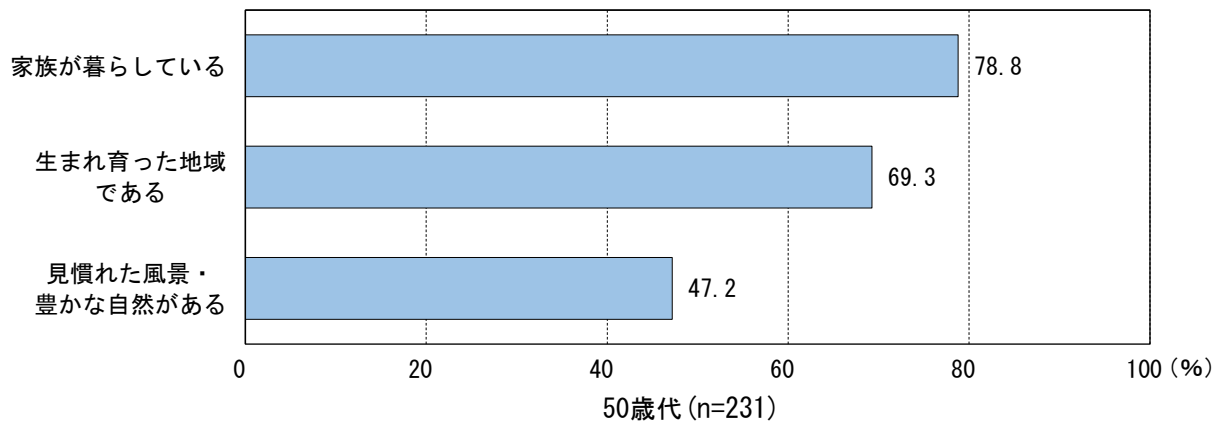


図 ふるさと（実家のある地域）とのつながりを感じる事【再掲】（年齢別、上位3項目）





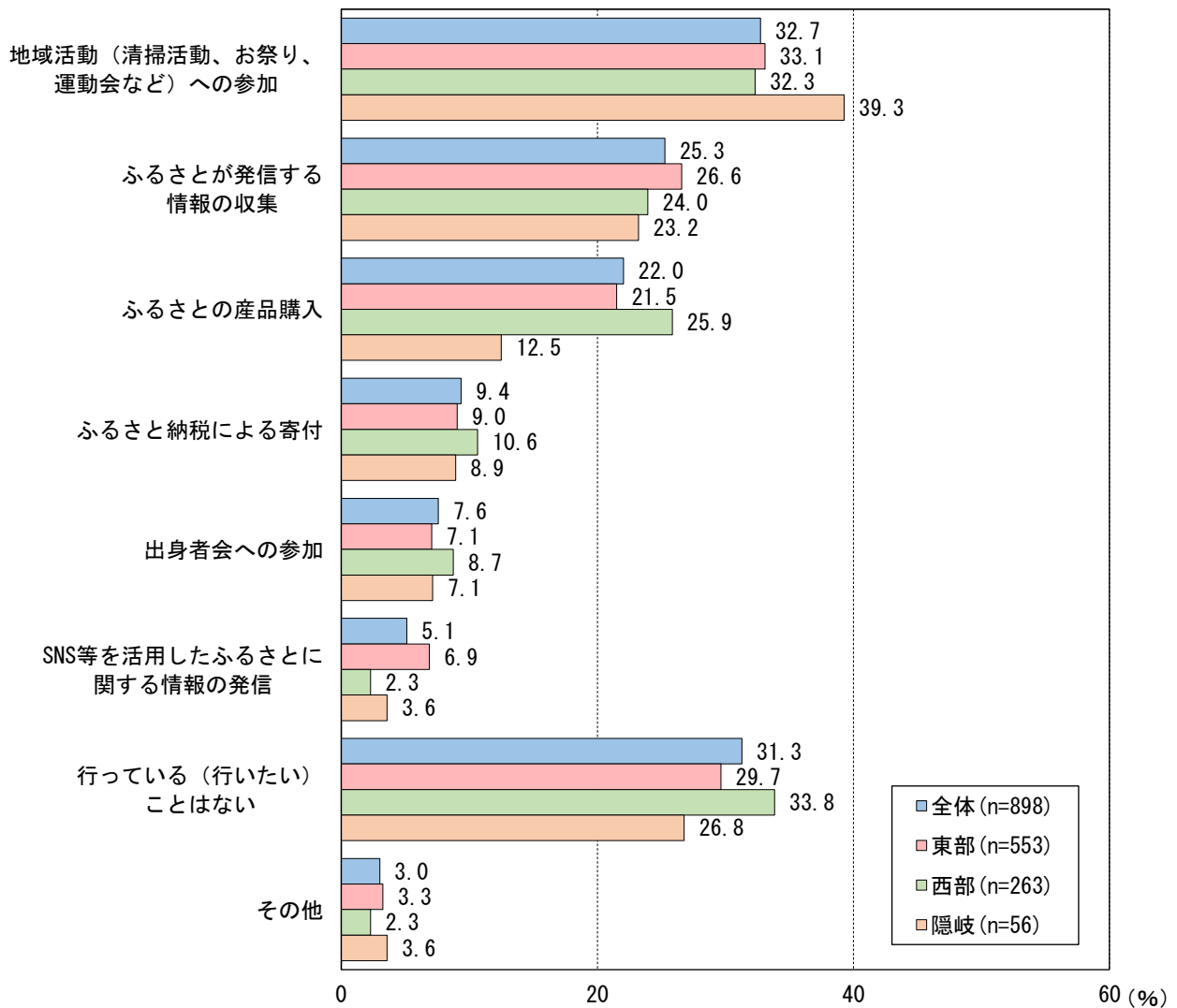
問 17

あなたが、ふるさと（実家のある地域）との関わりを維持したり、深めたりするために、現在行っている、または、今後行いたいことは何ですか。（複数回答）

○ふるさと（実家のある地域）との関わりを維持・深めるための活動としては、「地域活動（清掃活動、お祭り、運動会など）への参加」が最も高く 32.7%、次いで「ふるさとが発信する情報の収集」が 25.3%、「ふるさとの産品購入」が 22%となっている。

○出身地域別にみると、隠岐地域では「地域活動（清掃活動、お祭り、運動会など）への参加」が 39.3%、西部地域では「ふるさとの産品購入」が 25.9%と高くなっている。

図 ふるさと（実家のある地域）との関わりを維持・深めるための活動（全体・出身地域別）



- 現在の居住地別にみると、県内在住者は「地域活動（清掃活動、お祭り、運動会など）への参加」が最も高くなっている。
- 首都圏在住者は「ふるさとが発信する情報の収集」が69.2%と最も高くなっており、関西圏在住者も41.9%と高くなっている。

図 ふるさと（実家のある地域）との関わりを維持・深めるための活動（現在の居住地別）

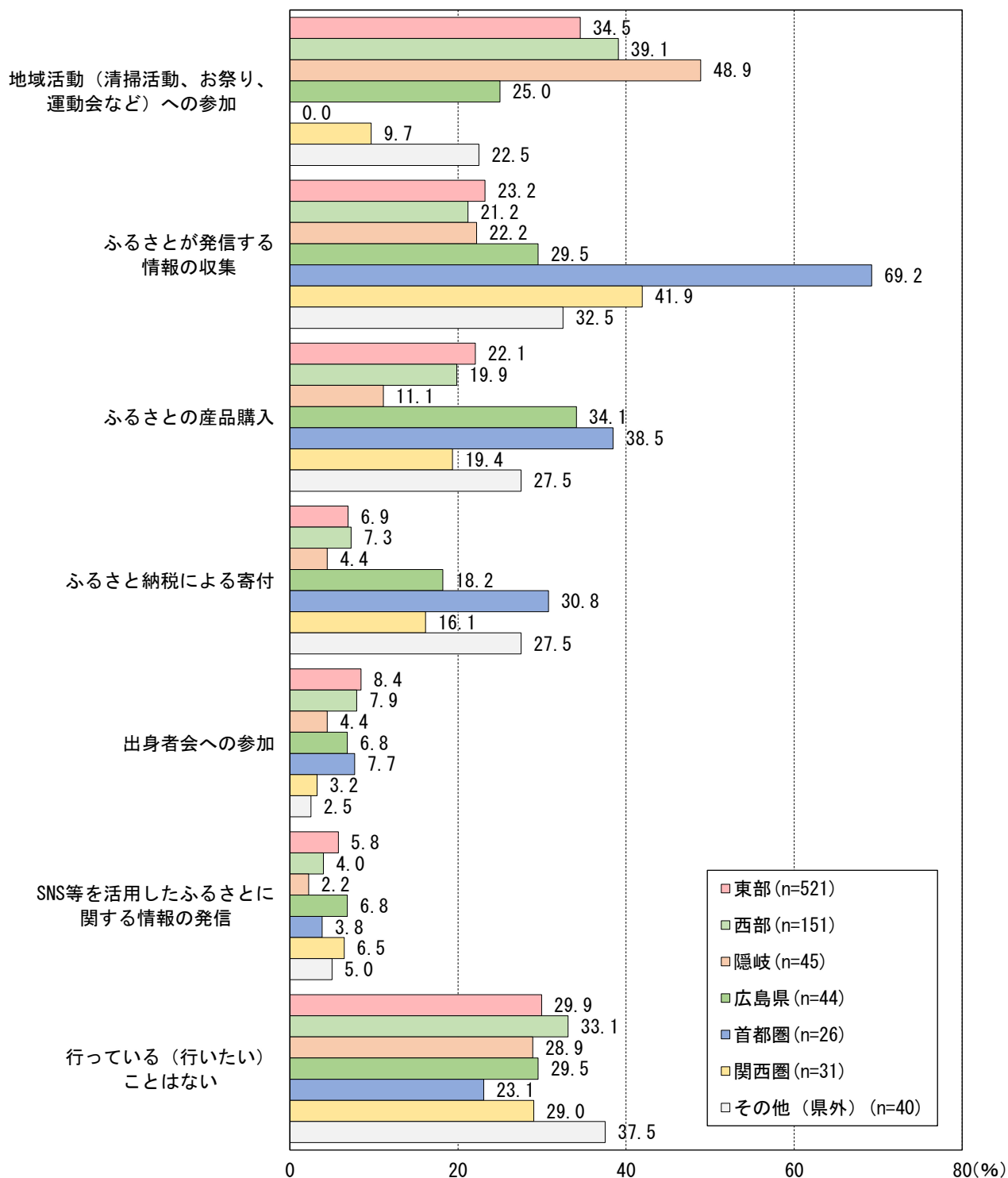


図 ふるさと（実家のある地域）との関わりを維持・深めるための活動（年齢別）

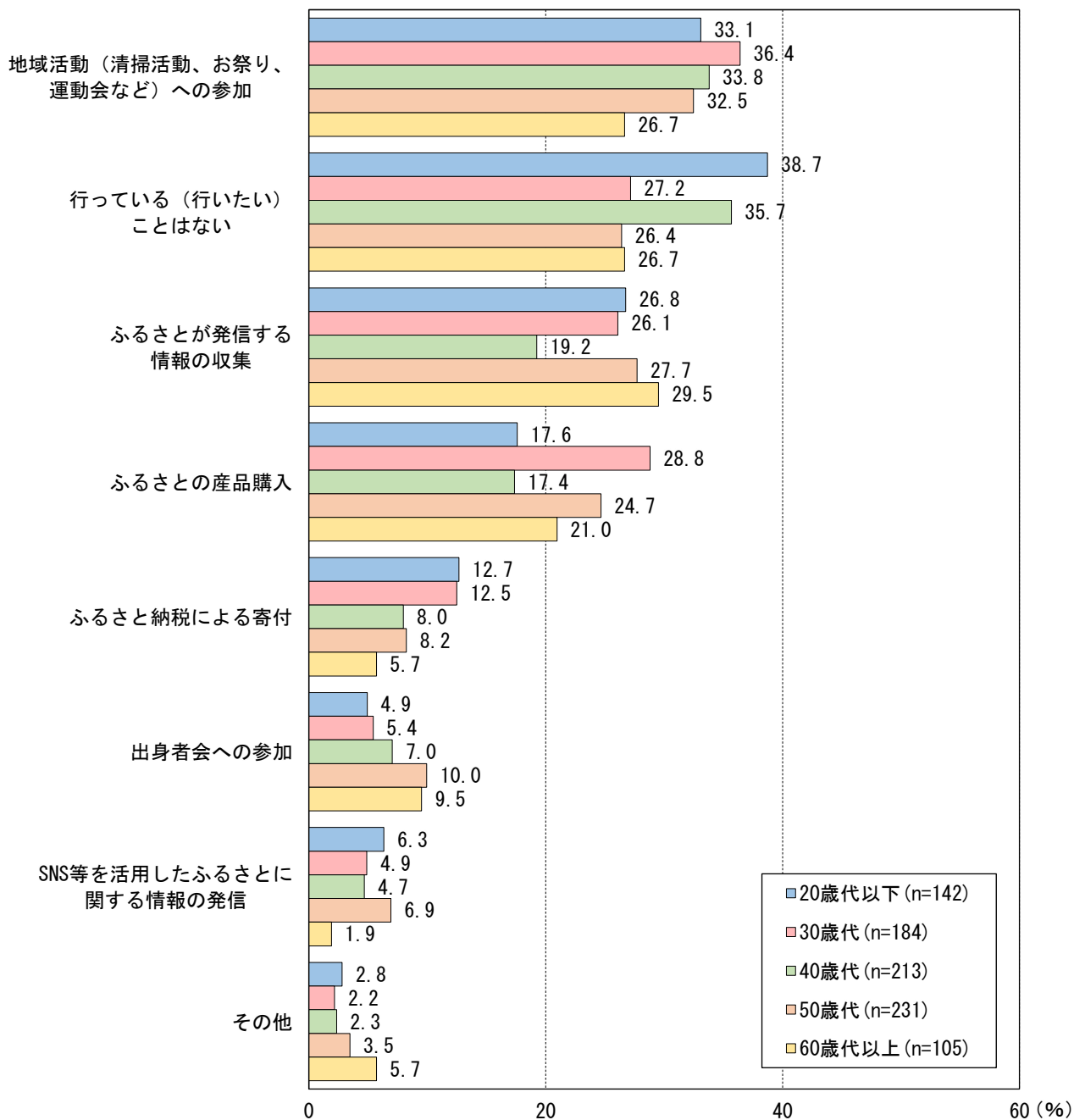
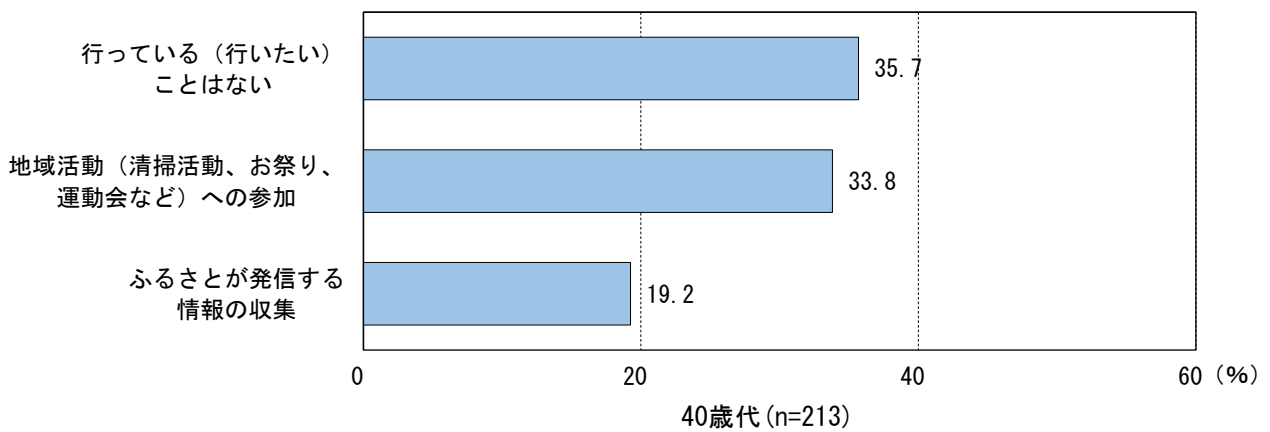
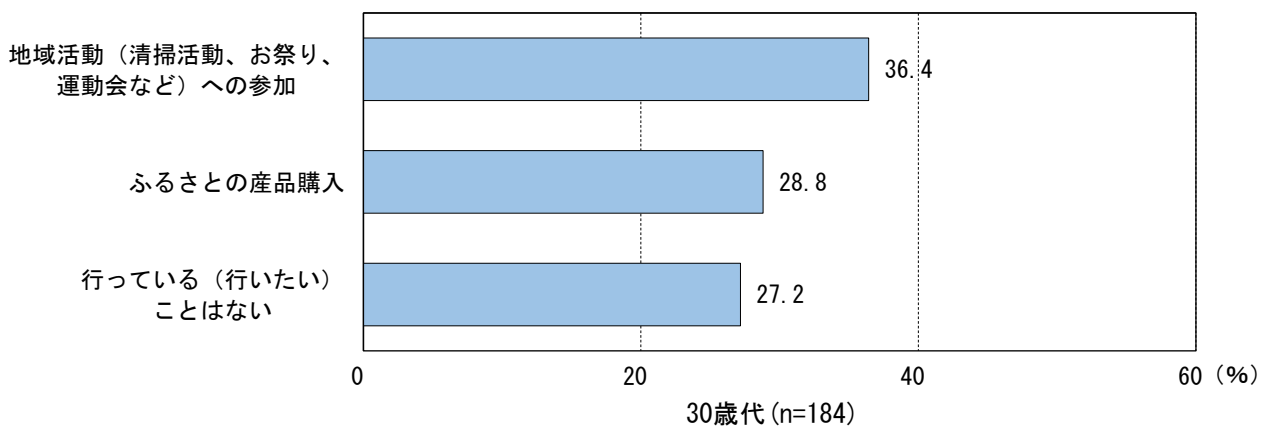
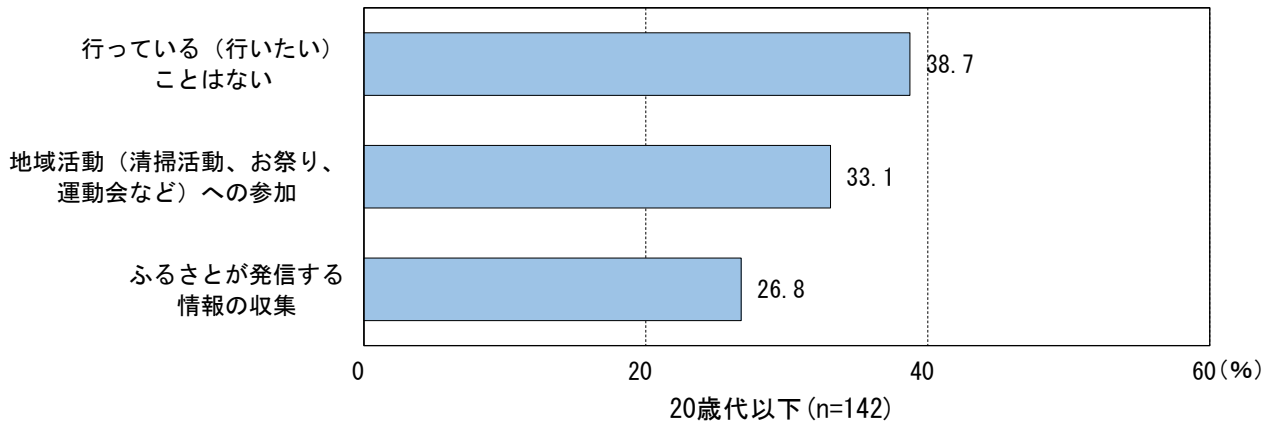
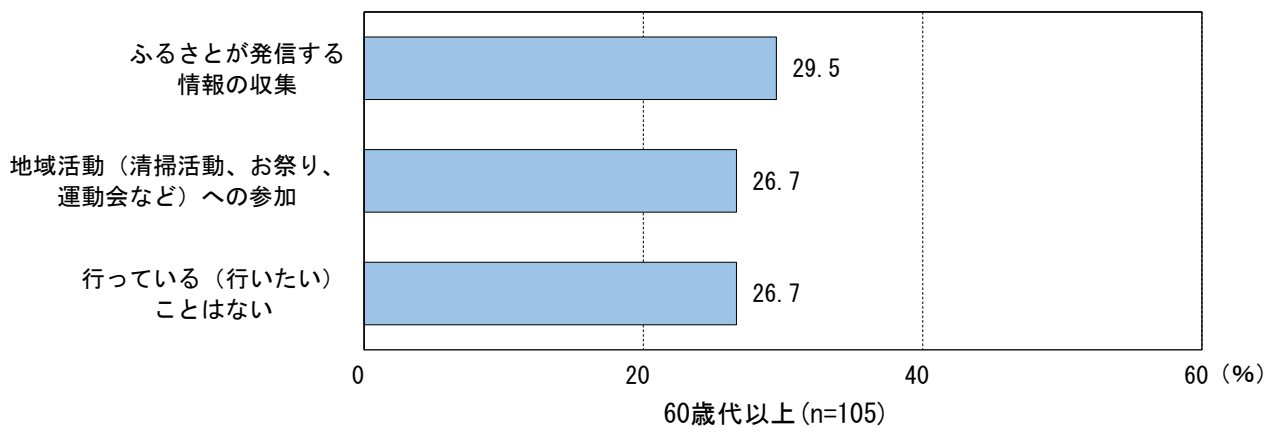
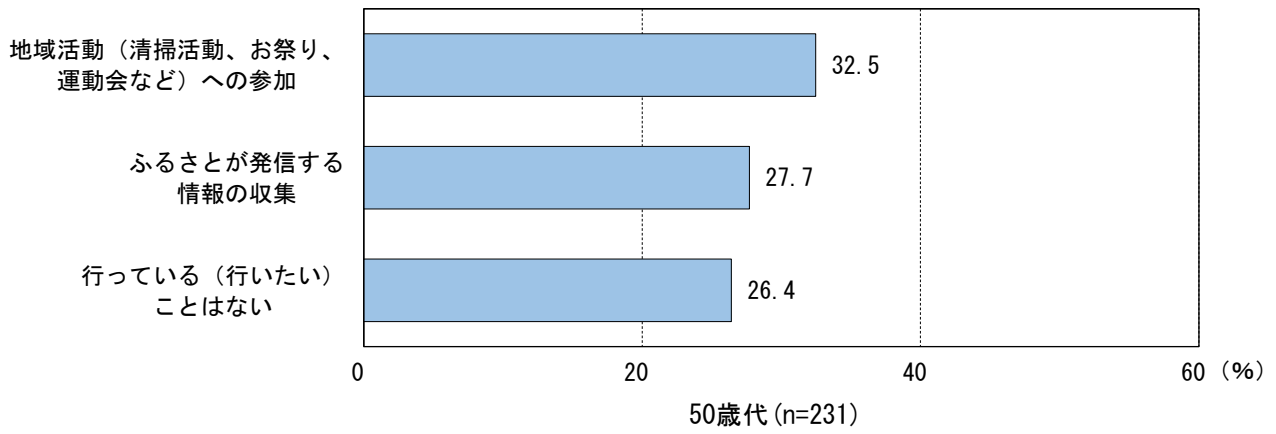


図 ふるさと（実家のある地域）との関わりを維持・深めるための活動【再掲】（年齢別、上位3項目）





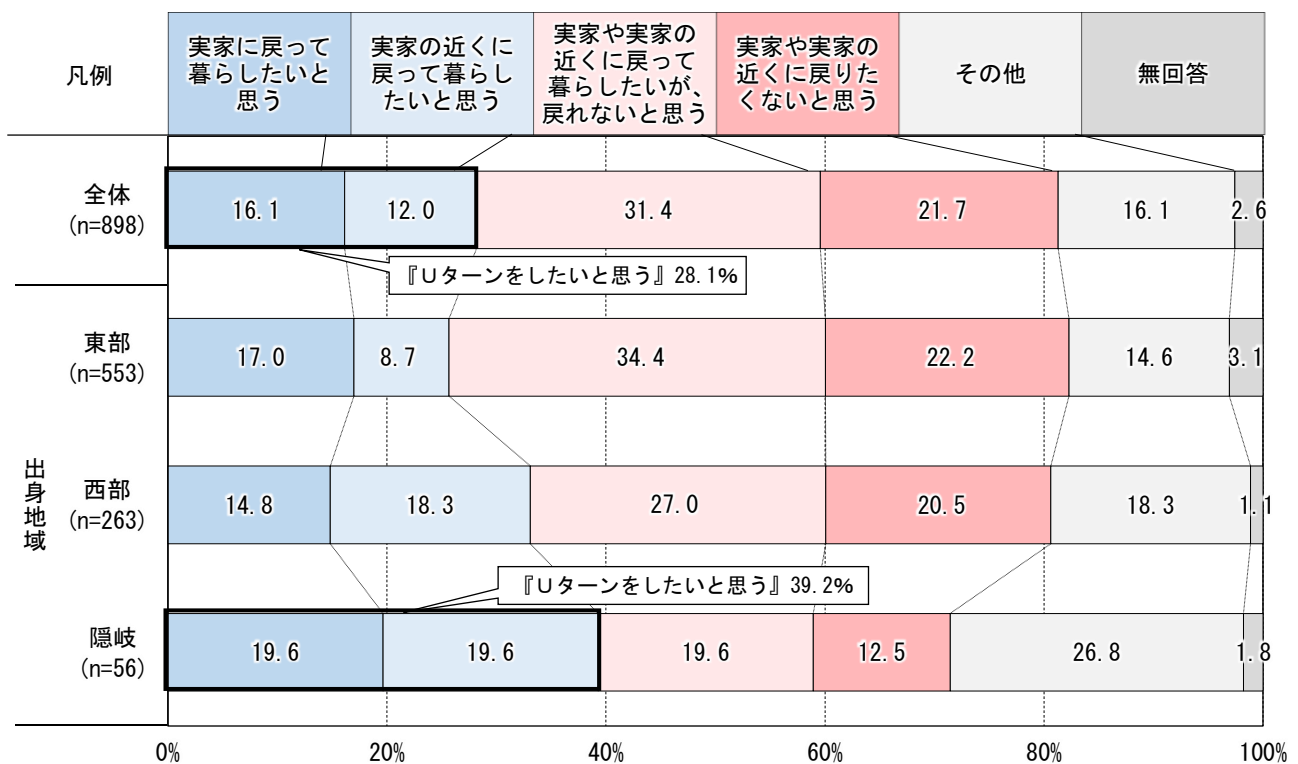
5. Uターン等の意向について

問 18 今後、あなたは実家または実家の近くに戻って暮らしたいと思いませんか。

○実家または実家近くへのUターン等の意向をみると、『Uターンをしたいと思う』（「実家に戻って暮らしたいと思う」「実家の近くに戻って暮らしたいと思う」の計。以下この間において同じ）と回答した人は28.1%となっている。一方で、「実家や実家の近くに戻って暮らしたいが、戻れないと思う」と回答した人は31.4%と最も高くなっている。

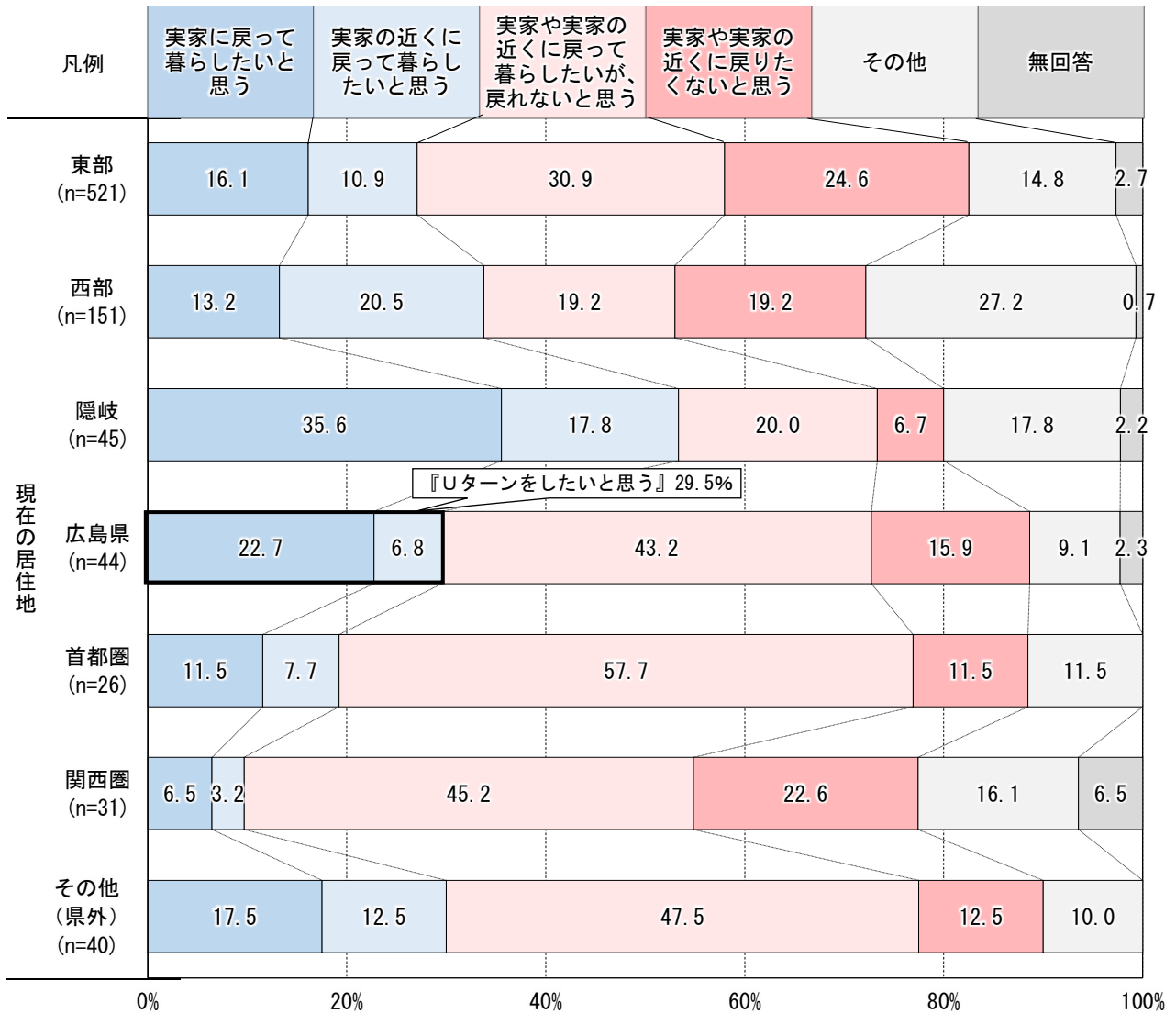
○出身地域別にみると、隠岐地域では『Uターンをしたいと思う』が39.2%と高くなっている。

図 Uターン等の意向（全体・出身地域別）



○現在の居住地別にみると、県外では広島県在住者で『Uターンをしたいと思います』が 29.5%と高くなっている。

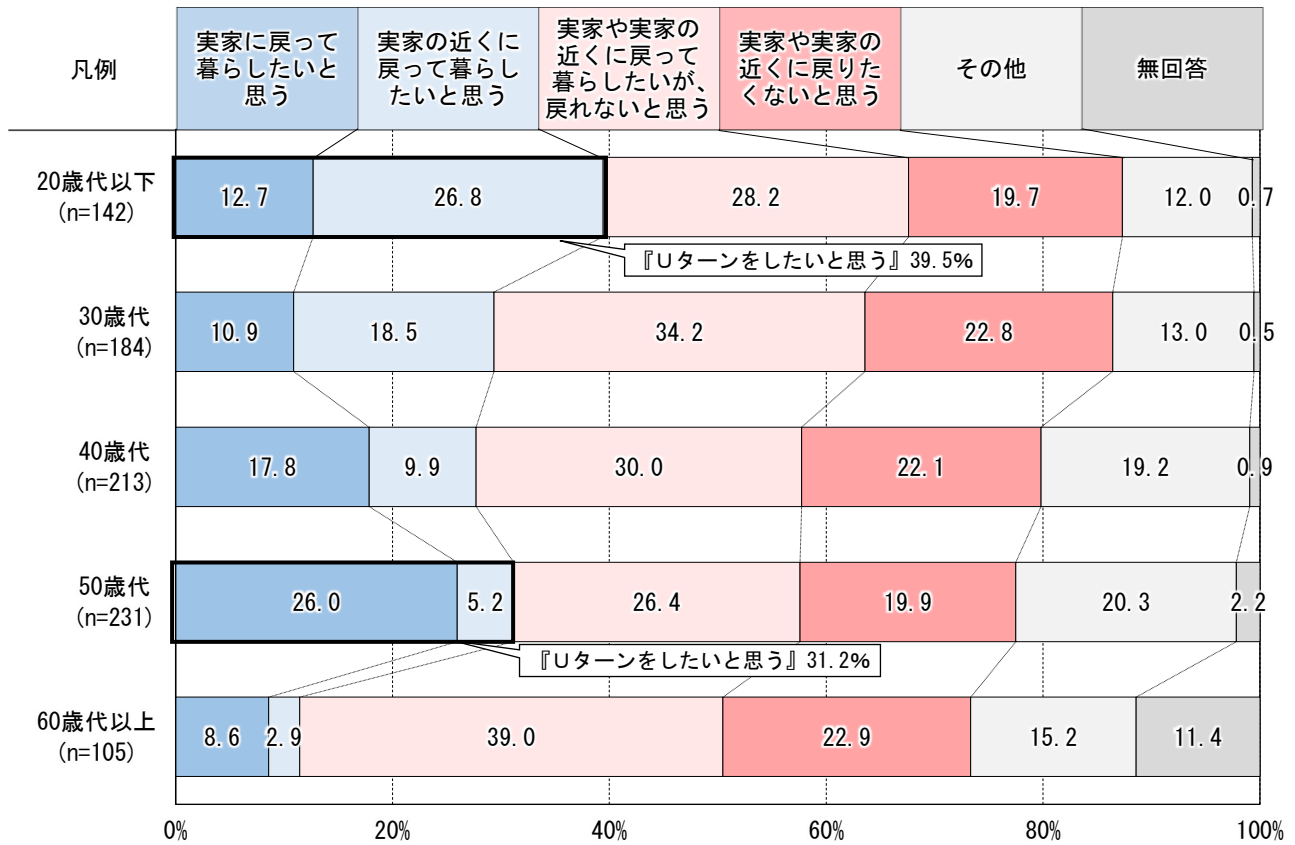
図 Uターンの意向（現在の居住地別）



○年齢別にみると、20歳代以下で『Uターンをしたいと思う』が最も高く39.5%となっており、次いで50歳代が31.2%と高くなっている。

○60歳代以上になると、「実家や実家の近くに戻って暮らしたいが、戻れないと思う」が39%と高くなっている。

図 Uターンの意向（年齢別）

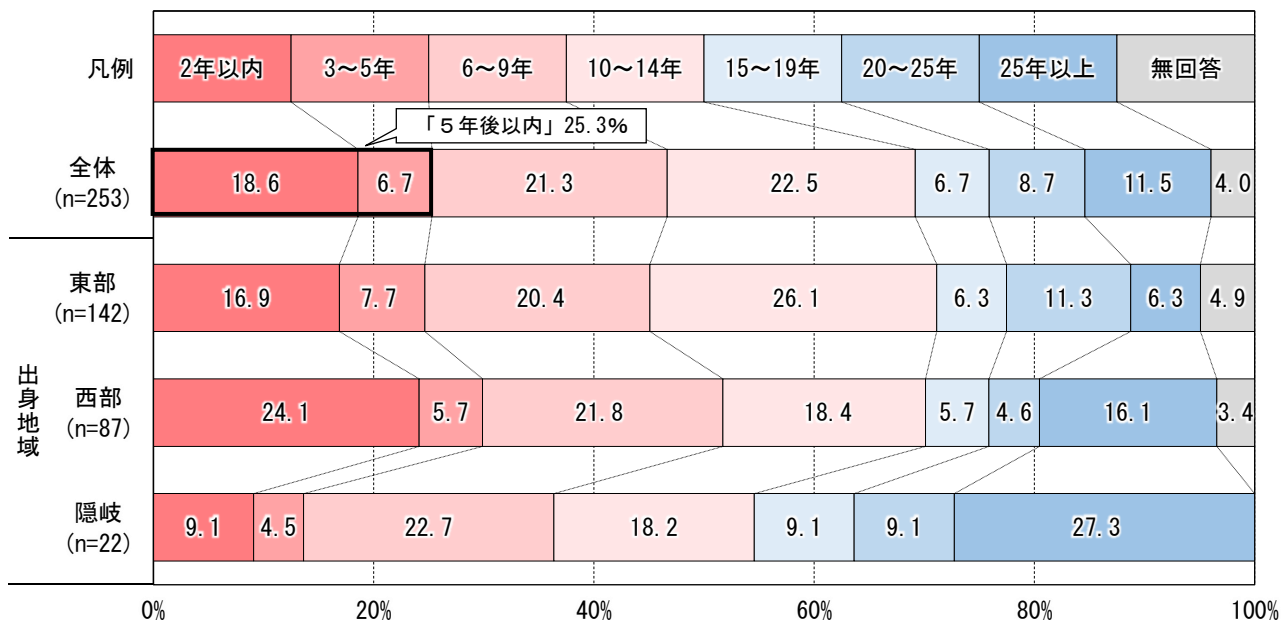


問 19

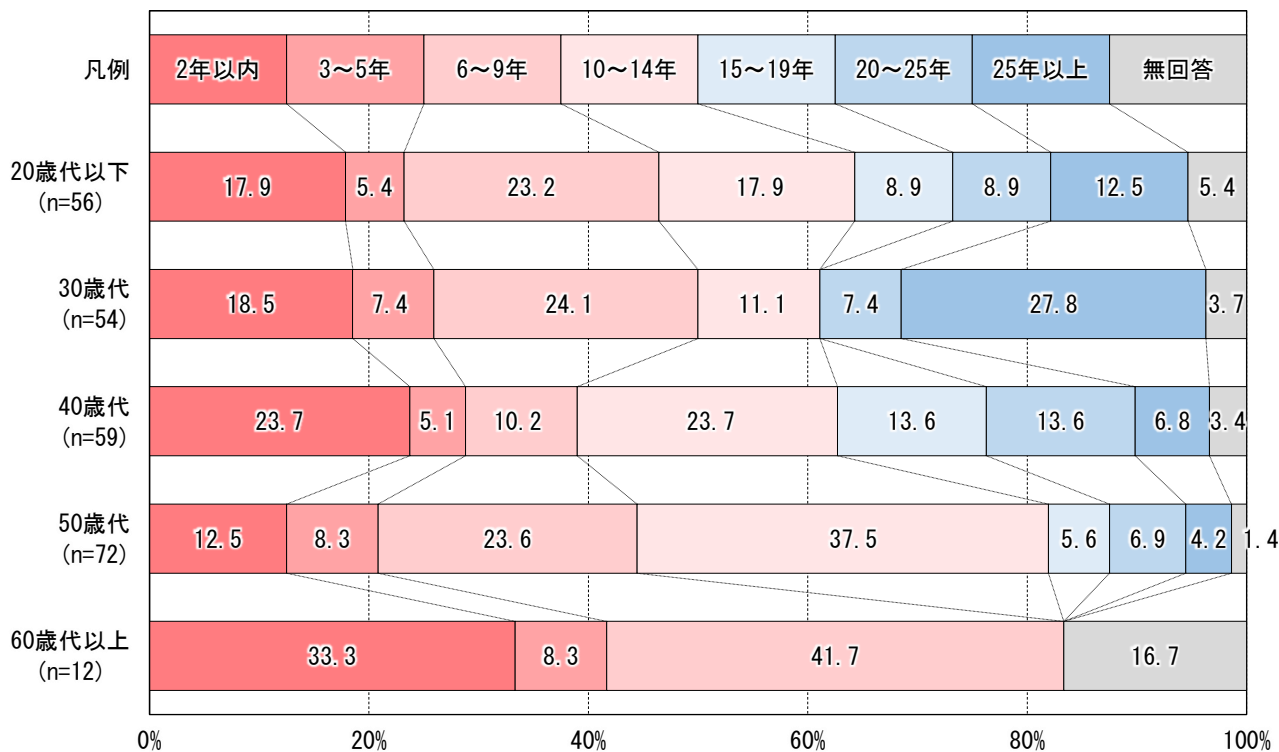
問 18 で「実家に戻って暮らしたい」「実家の近くに戻って暮らしたい」と回答した方にお聞きします。何年後頃に暮らしたいと思いますか。

○5年後以内に『Uターンをしたいと思う』人は25.3%となっている。

図 Uターンをしたいと思う時期
(全体・出身地域別)



(年齢別)

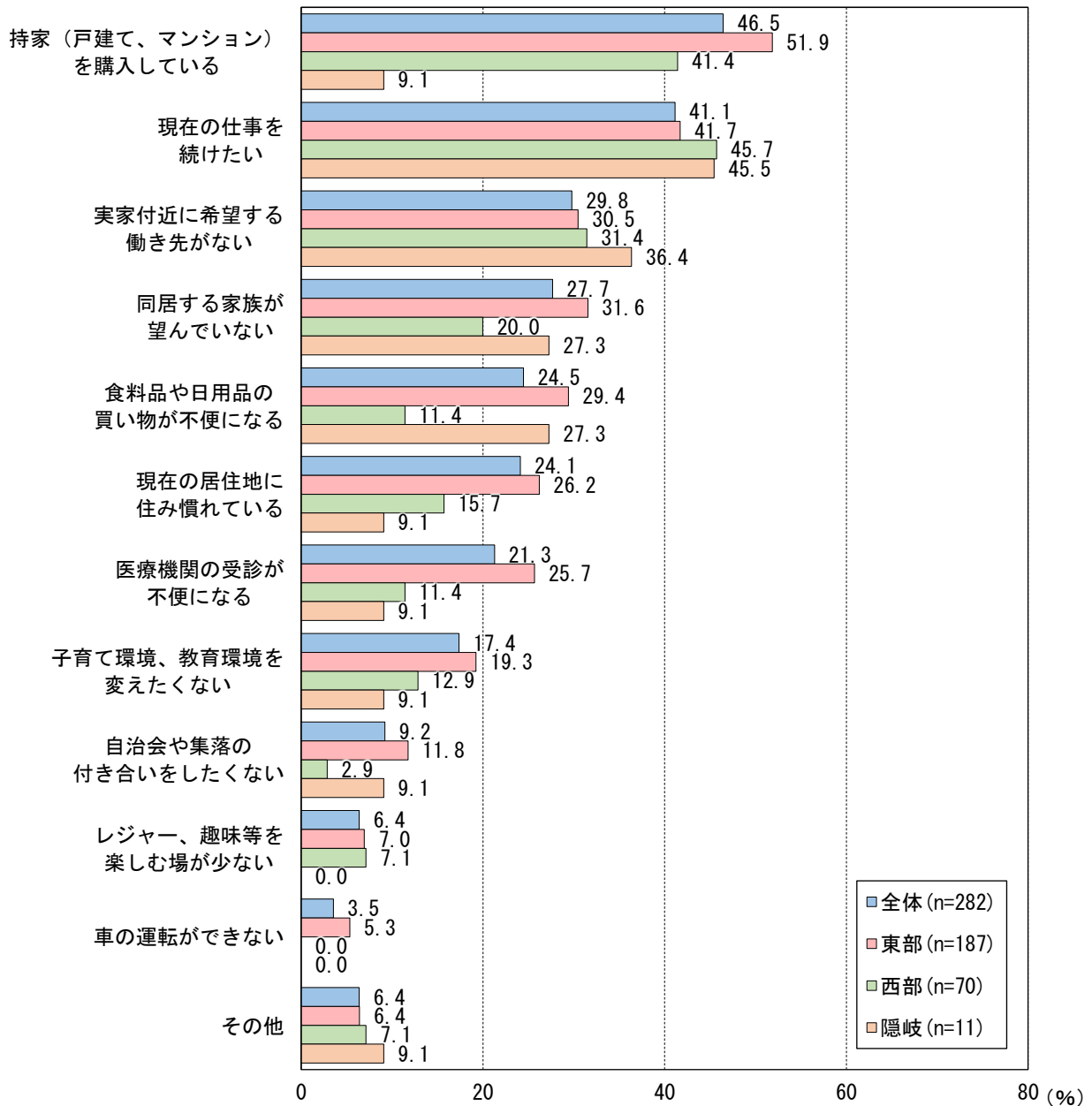


問 20①

問 18 で「実家や実家の近くに戻って暮らしたいが、戻れないと思う」「実家や実家の近くに戻りたくないと思う」と回答した方にお聞きします。あなたが、戻れない、または、戻りたくないと思う理由にはどのようなことがありますか。(複数回答)

○「実家や実家の近くに戻って暮らしたいが、戻れないと思う」と回答した人の理由としては、「持家を購入している」が最も高く 46.5%、次いで「現在の仕事を続けたい」が 41.1%、「実家付近に希望する働き先がない」が 29.8%となっている。

図 Uターンをしたい人の戻れない理由（全体・出身地域別）



【その他 (n=18) の回答のうち記載の多かったもの】

- 結婚して家を出ているから 7件
- きょうだいが後を継いでくれている 3件
- 公共交通が不便（運転ができない） 3件 など

図 ユターンをしたい人の戻れない理由（年齢別）

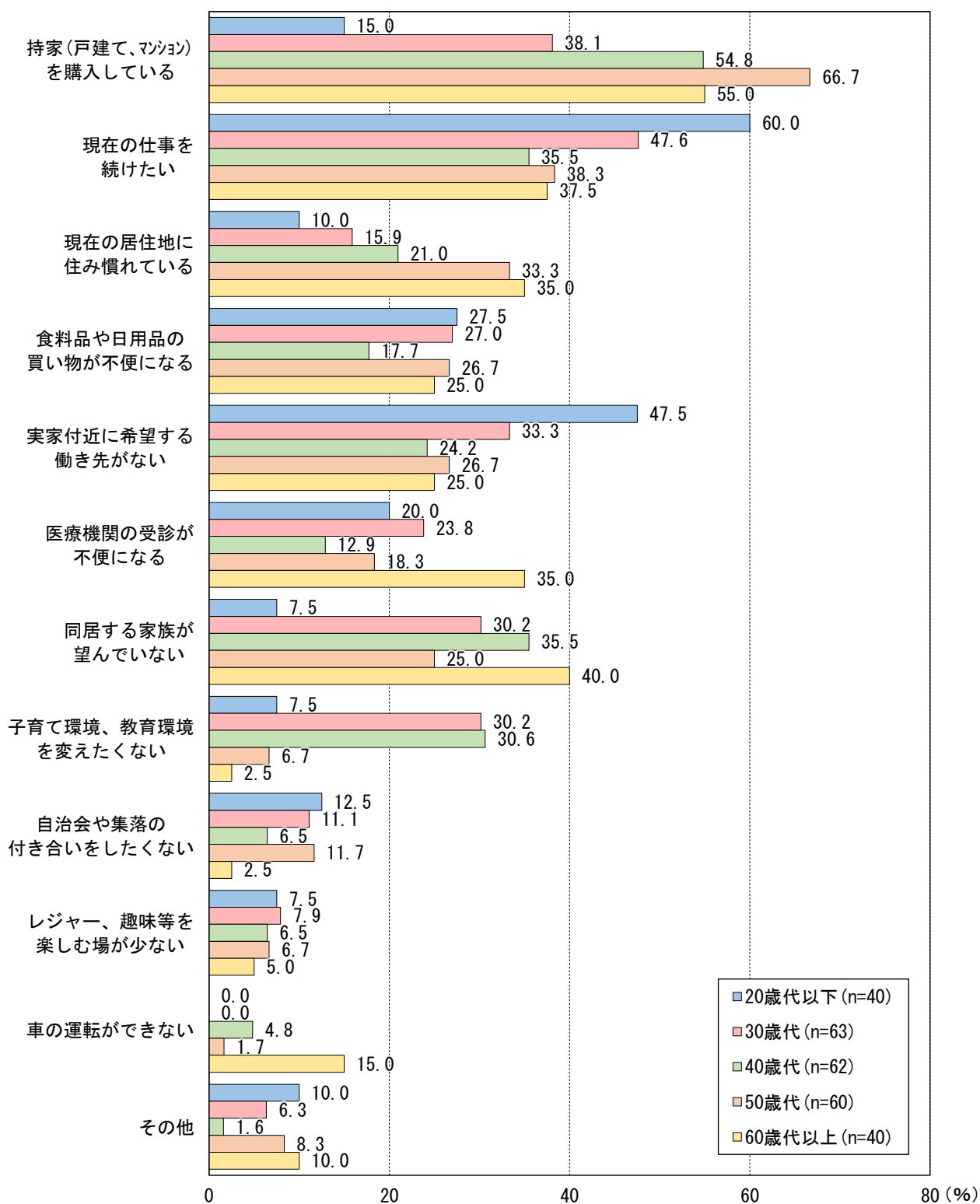
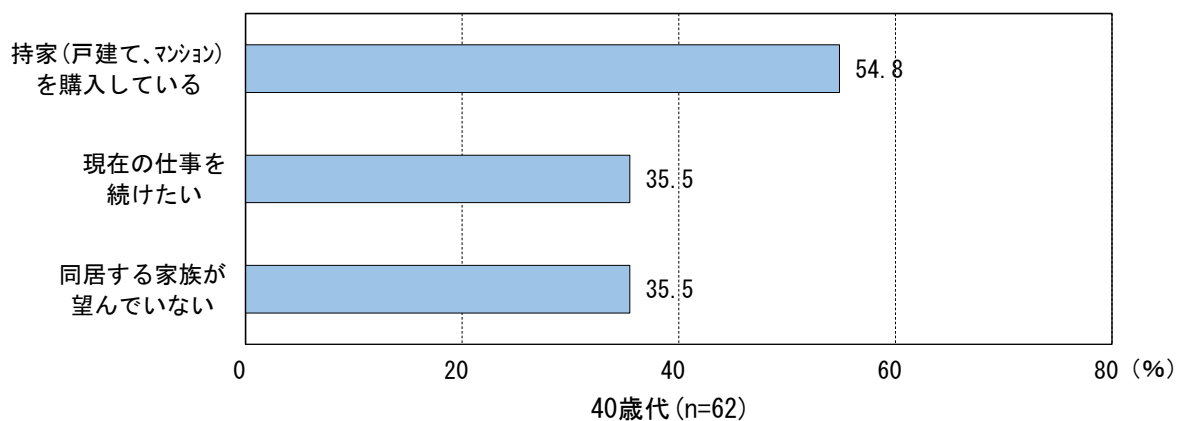
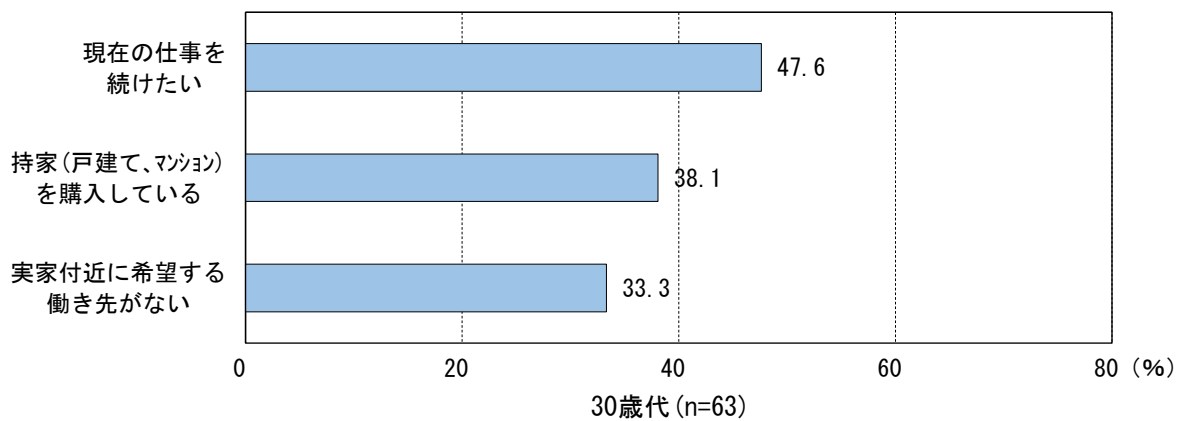
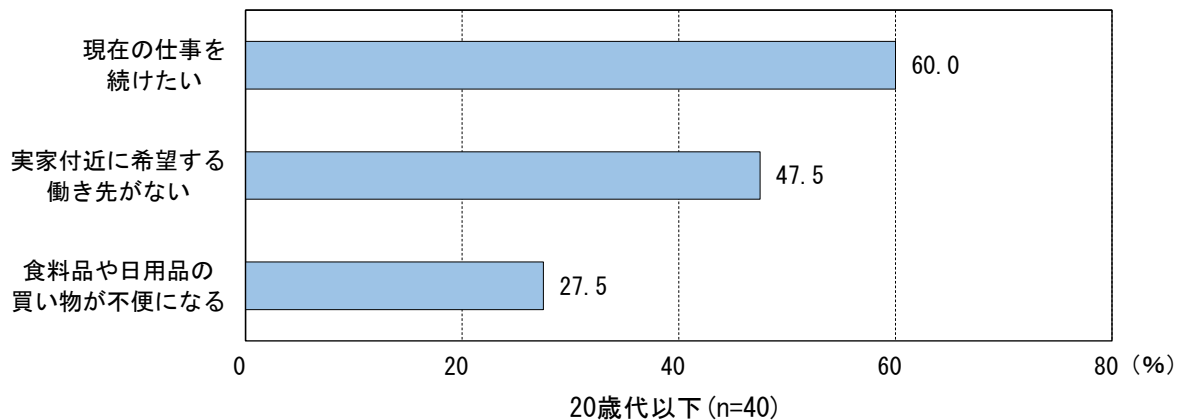
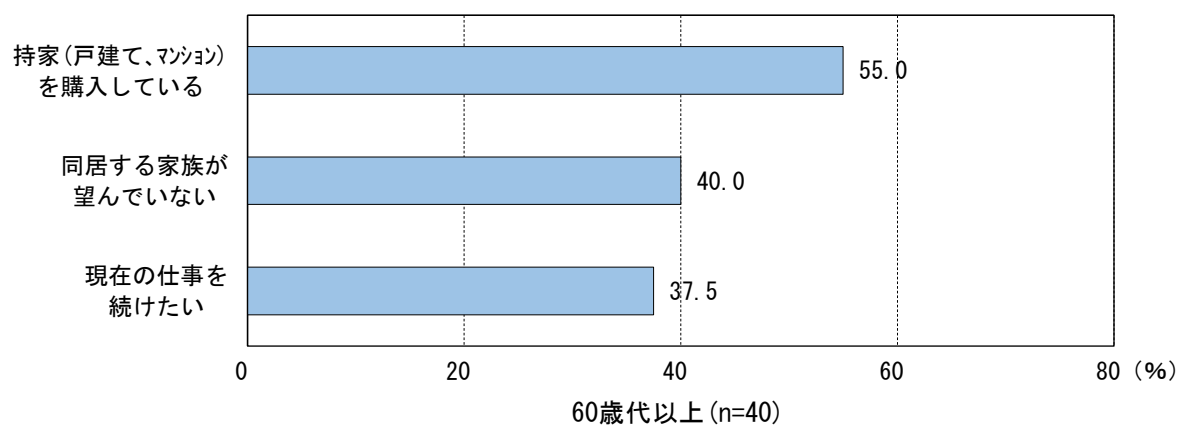
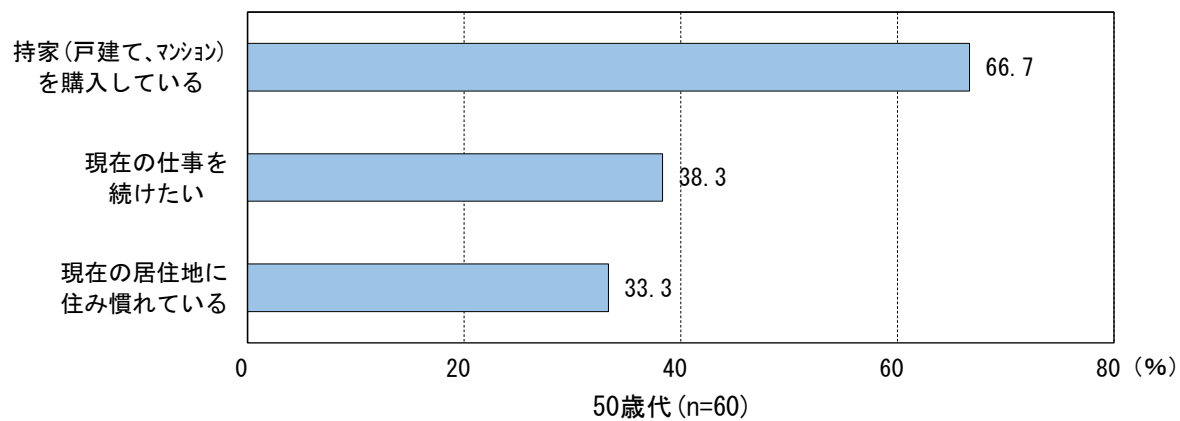


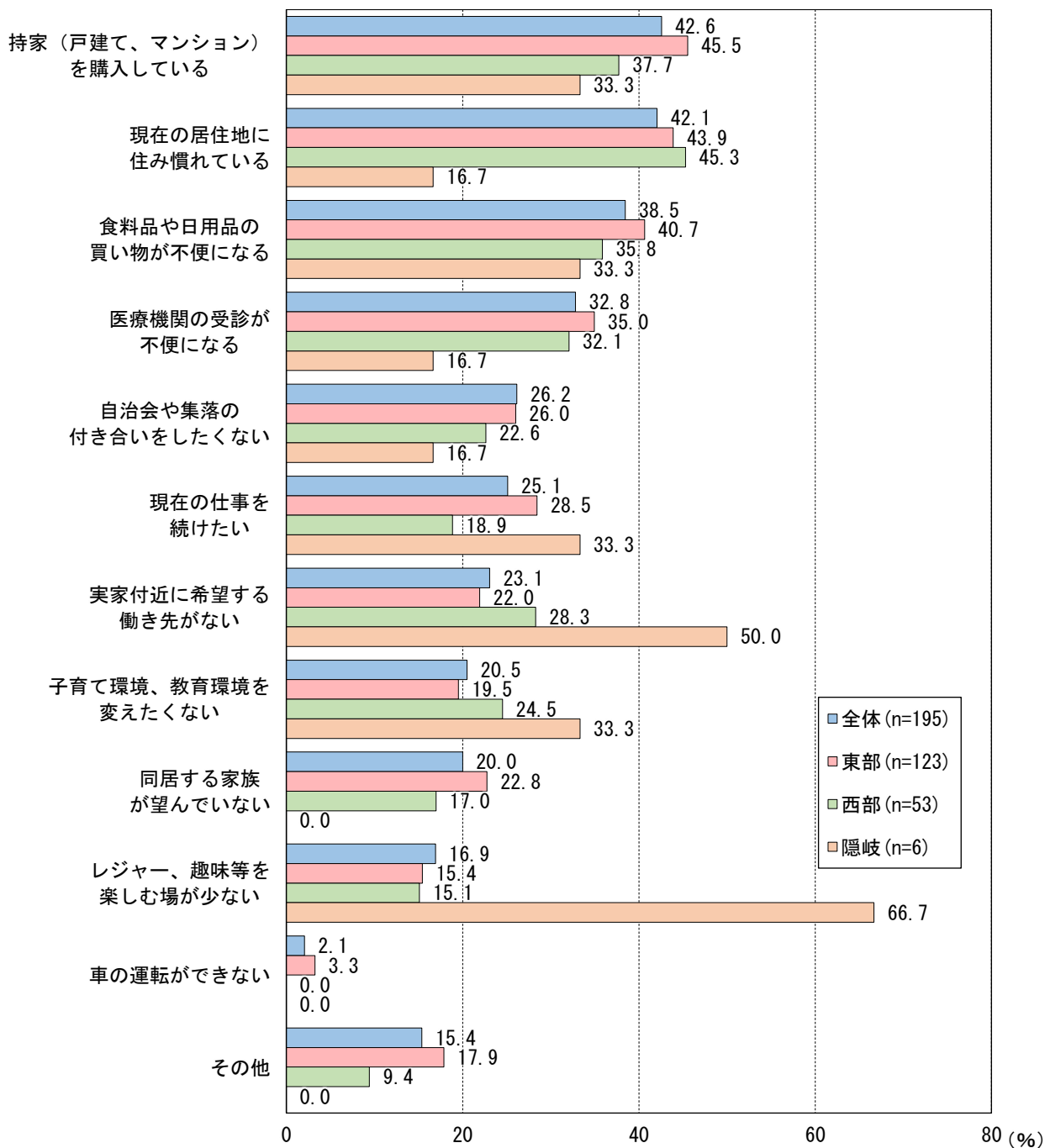
図 Uターンをしたい人の戻れない理由【再掲】（年齢別、上位3項目）





○「実家や実家近くに戻りたくないと思う」と回答した人の理由としては、「持家を購入している」が最も高く42.6%、次いで「現在の居住地に住み慣れている」が42.1%、「食料品や日用品の買い物が不便になる」が38.5%となっている。

図 ユターンをしたくない人の戻りたくない理由（全体・出身地域別）



【その他（n=30）の回答のうち記載の多かったもの】

- 地域が好きでない 8件
- 結婚して家を出ているから 5件
- 公共交通が不便（運転ができない） 5件 など

図 Uターンをしたくない人の戻りたくない理由（年齢別）

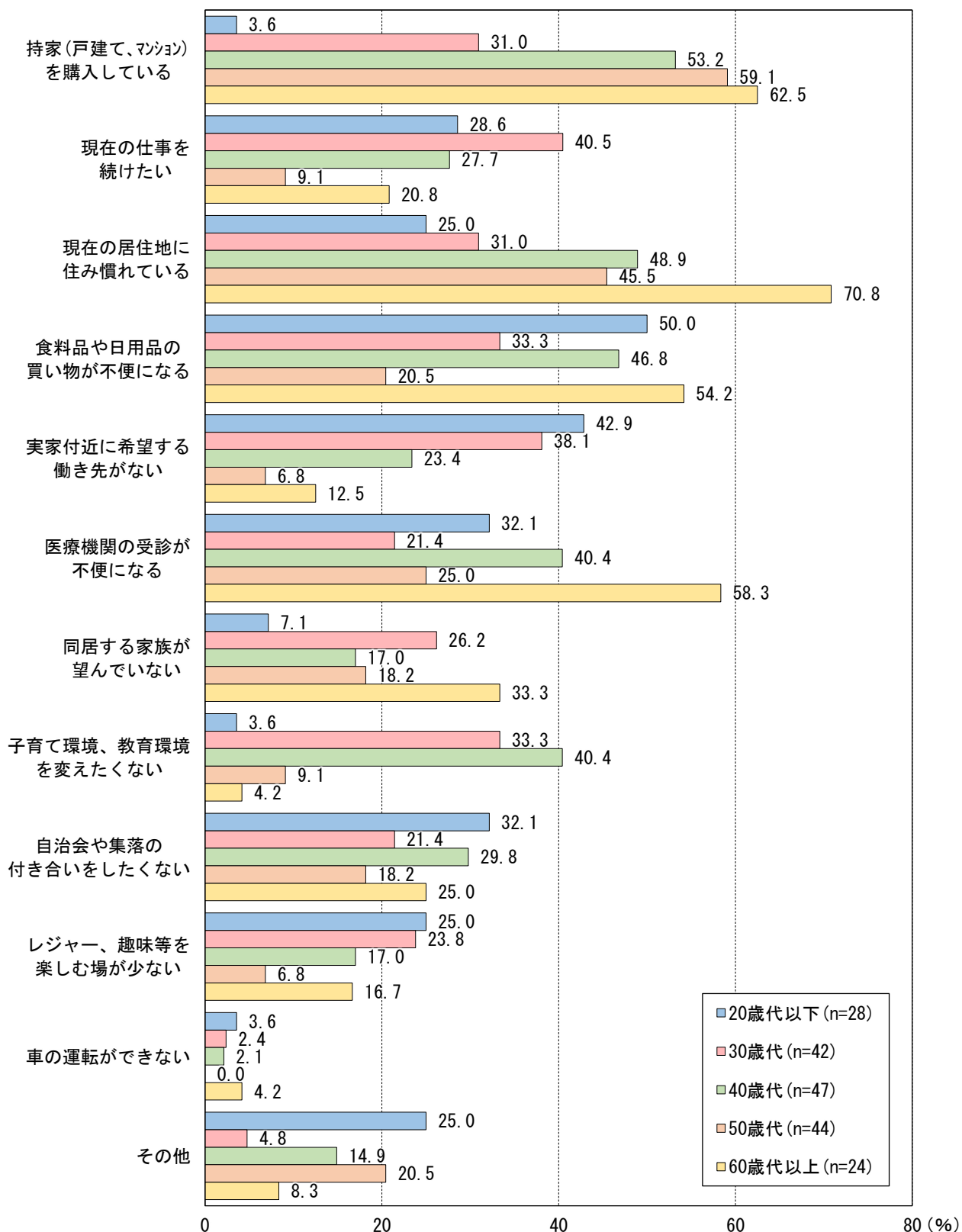
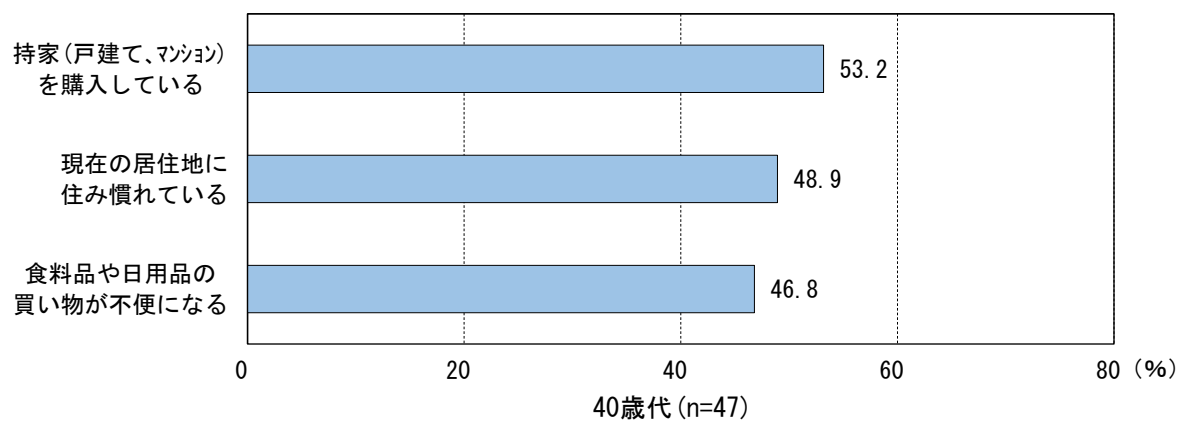
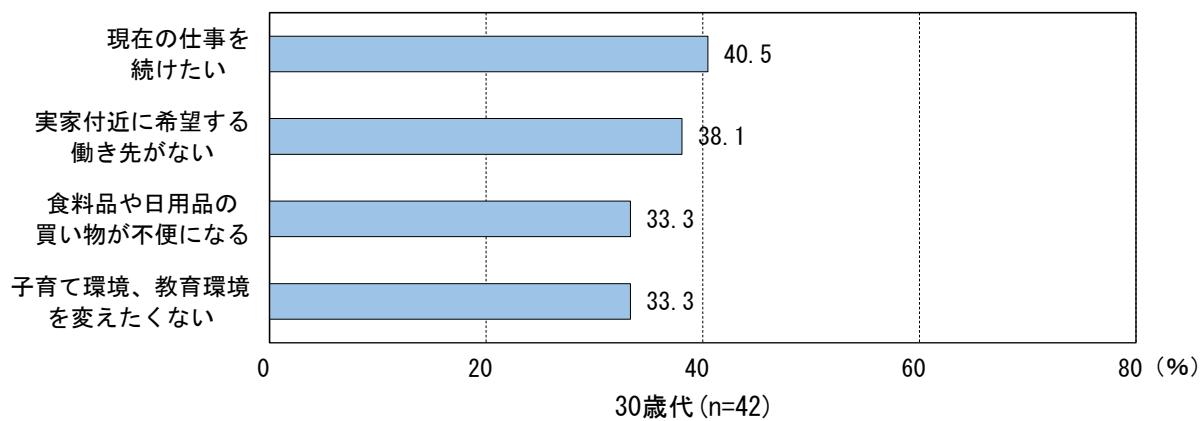
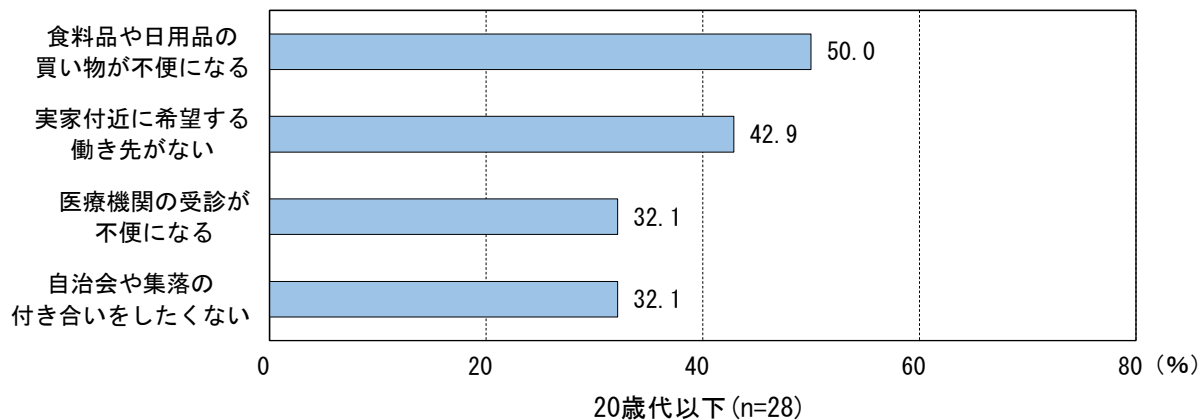
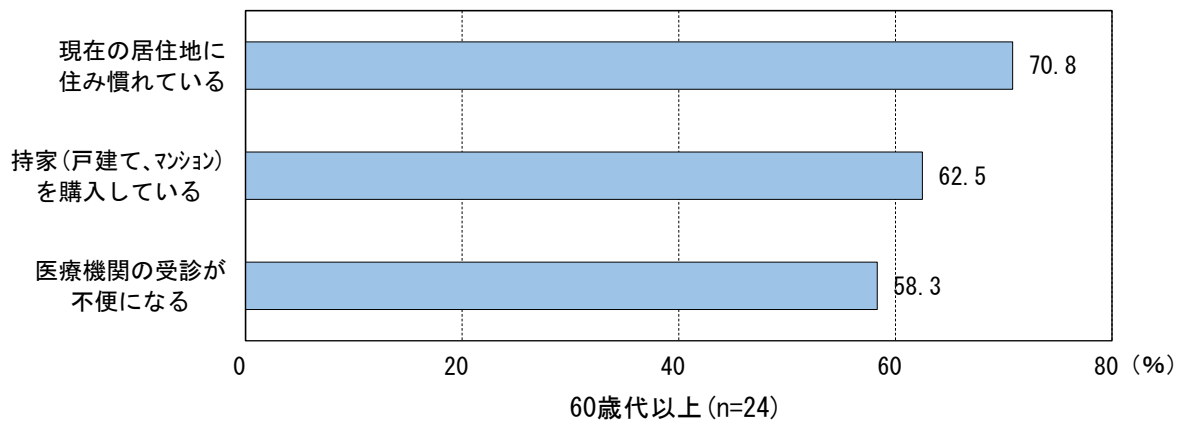
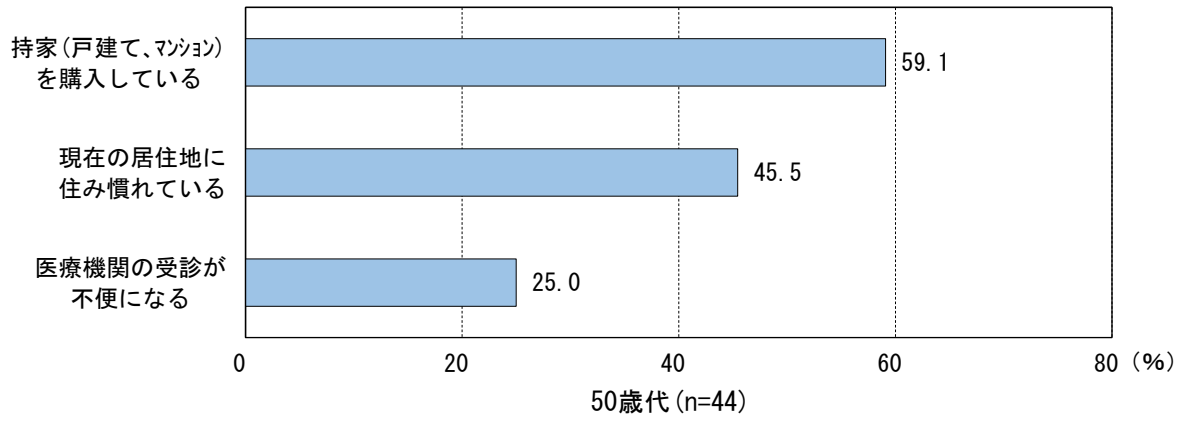


図 ユターンをしたくない人の戻りたくない理由【再掲】（年齢別、上位3項目）





問 20②

①で選んだもののうち、戻れない、または、戻りたくないと思う理由として、最もあてはまるものをお教えてください。

○「実家や実家の近くに戻って暮らしたいが、戻れないと思う」と回答した人の最もあてはまる理由としては、「持家を購入している」が最も高く 25.9%、次いで「現在の仕事を続けたい」が 19.1%、「同居する家族が望んでいない」が 16.7%となっている。

図 Uターンをしたい人の戻れない理由で最もあてはまるもの（全体・出身地域別）

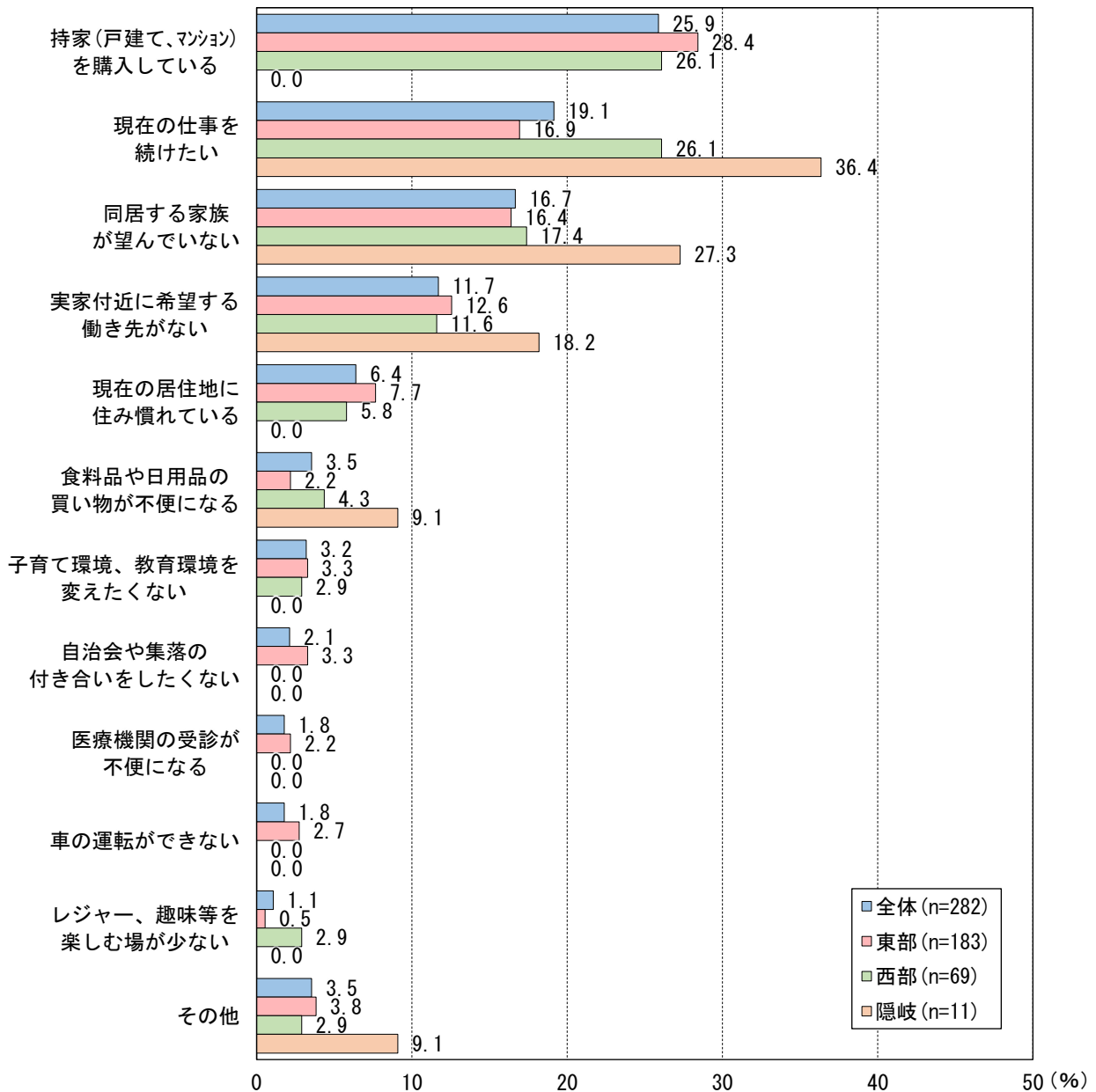


図 ユターンをしたい人の戻れない理由で最もあてはまるもの（年齢別）

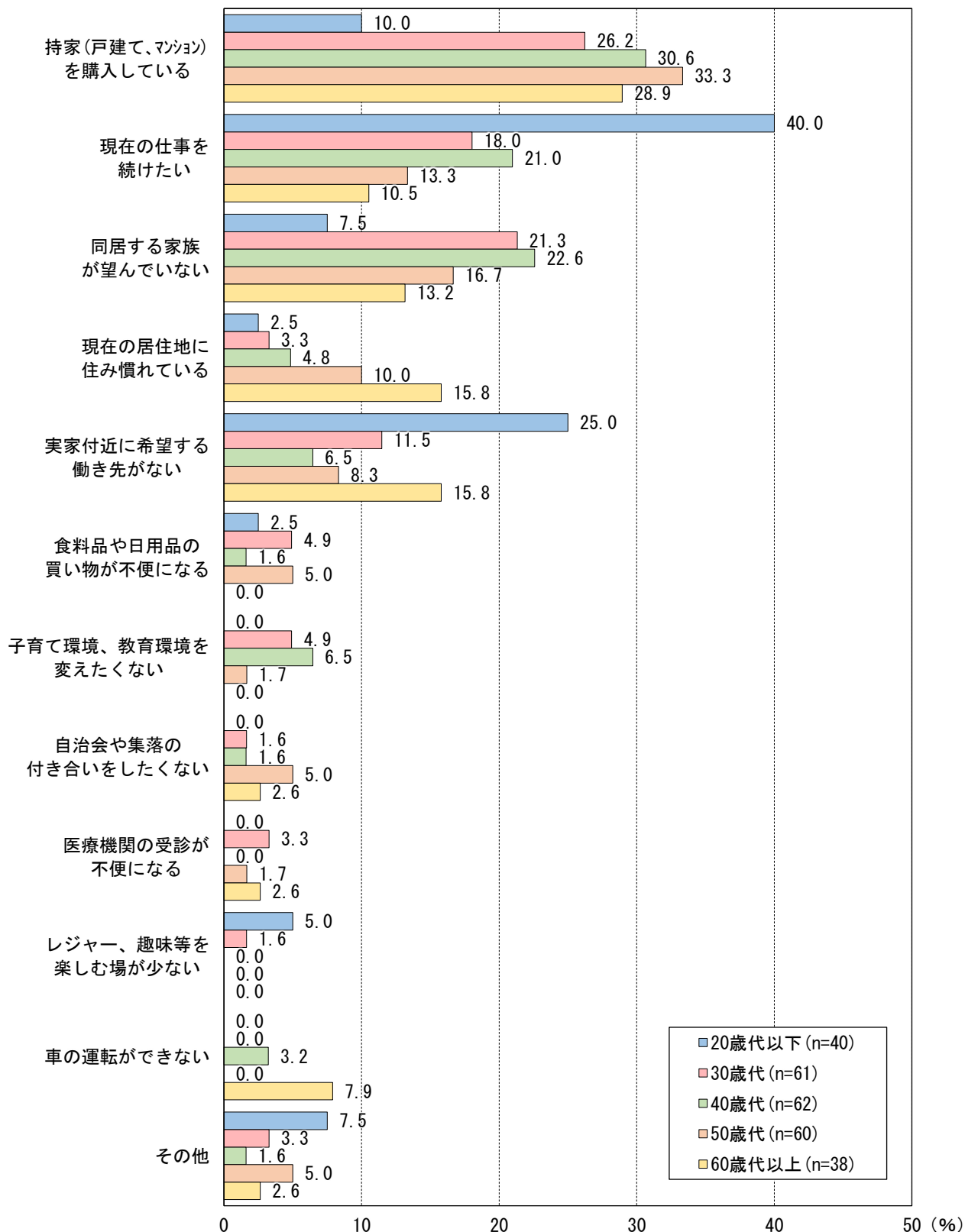
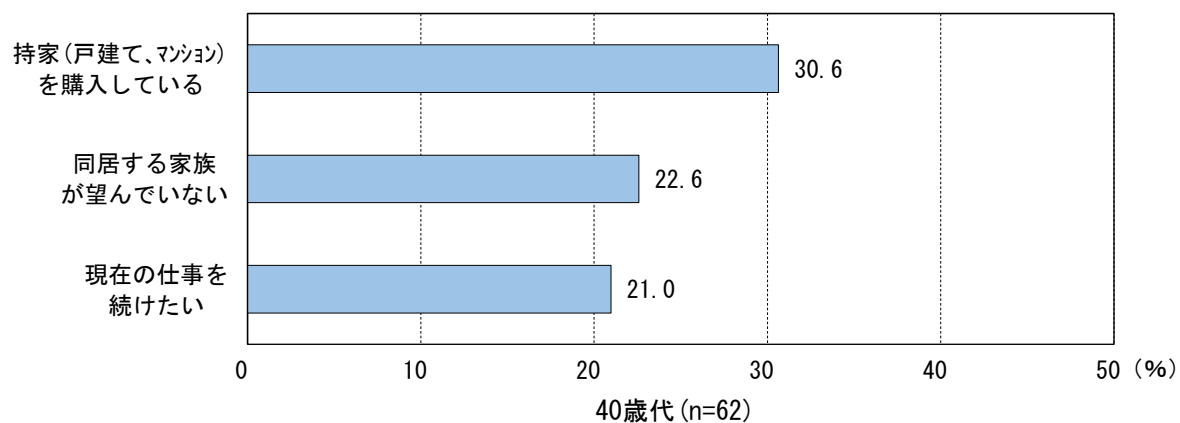
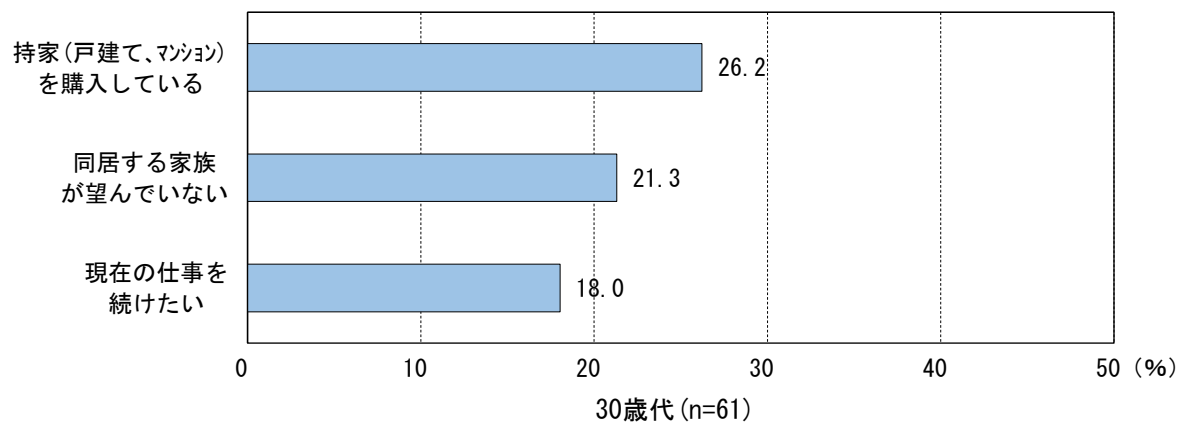
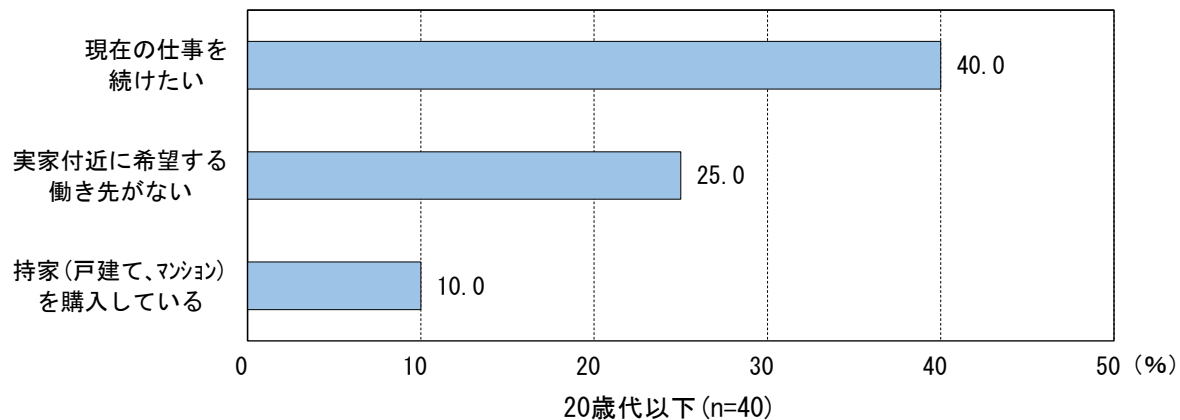
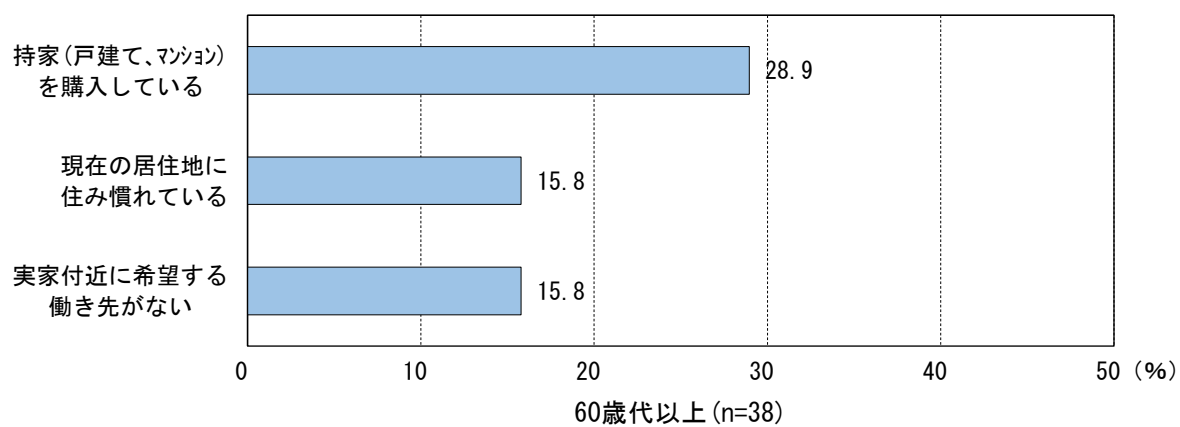
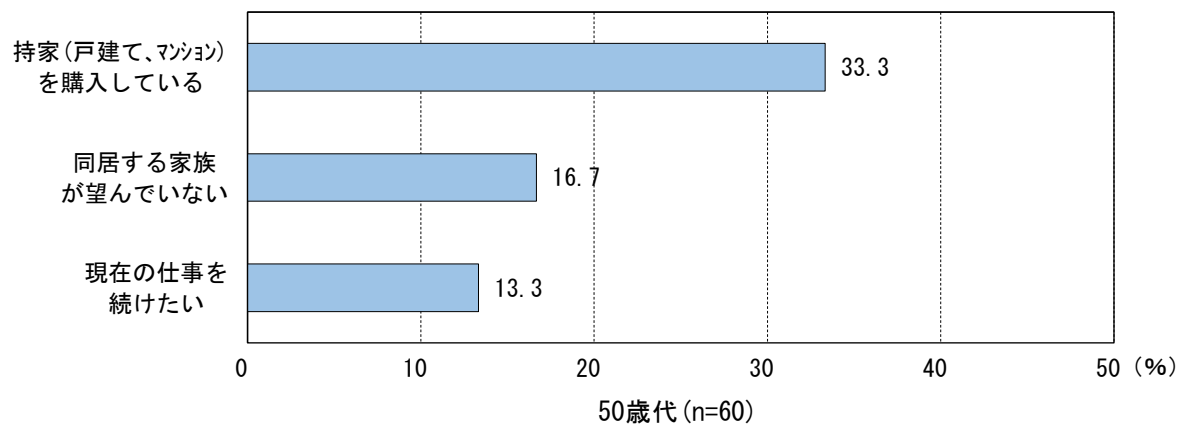


図 ユターンをしたい人の戻れない理由で最もあてはまるもの【再掲】(年齢別、上位3項目)





○「実家や実家近くに戻りたくないと思う」と回答した人の最もあてはまる理由としては、「持家を購入している」が最も高く22.1%、次いで「現在の居住地に住み慣れている」が15.4%、「現在の仕事を続けたい」が10.3%となっている。

図 Uターンをしたくない人の戻りたくない理由で最もあてはまるもの（全体・出身地域別）

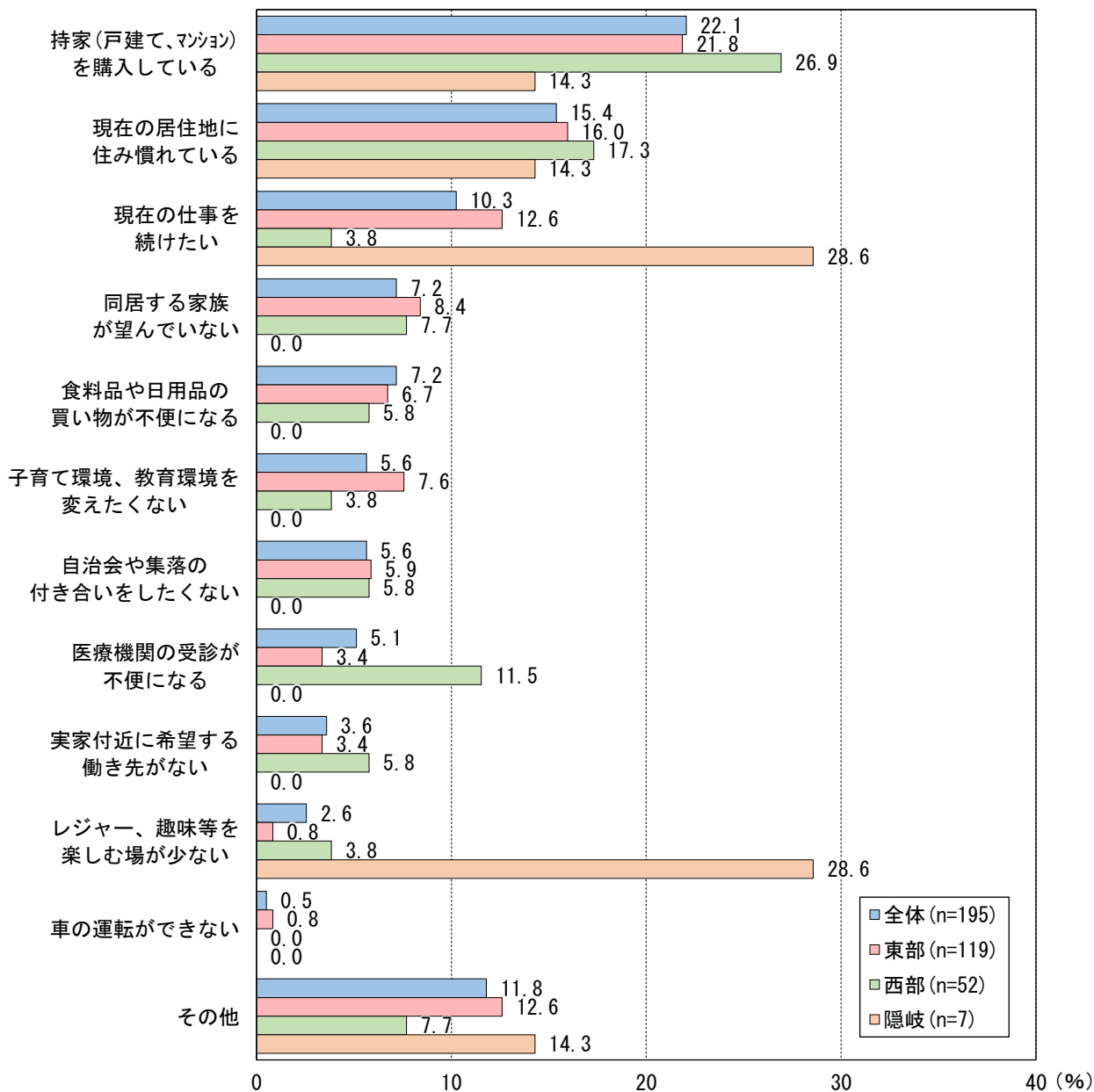


図 Uターンをしたくない人の戻りたくない理由で最もあてはまるもの（出身地域別）

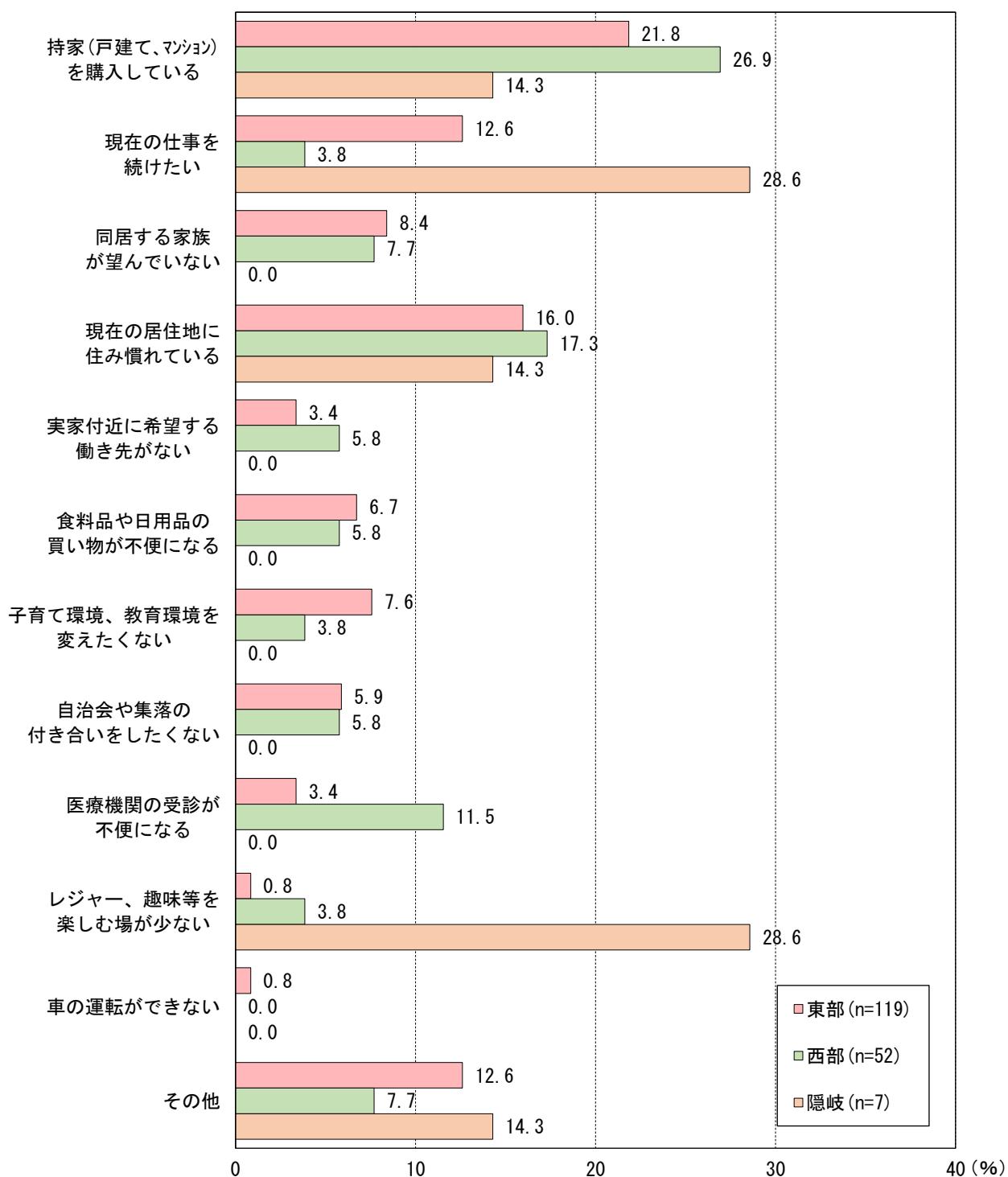


図 Uターンをしたくない人の戻りたくない理由で最もあてはまるもの（年齢別）

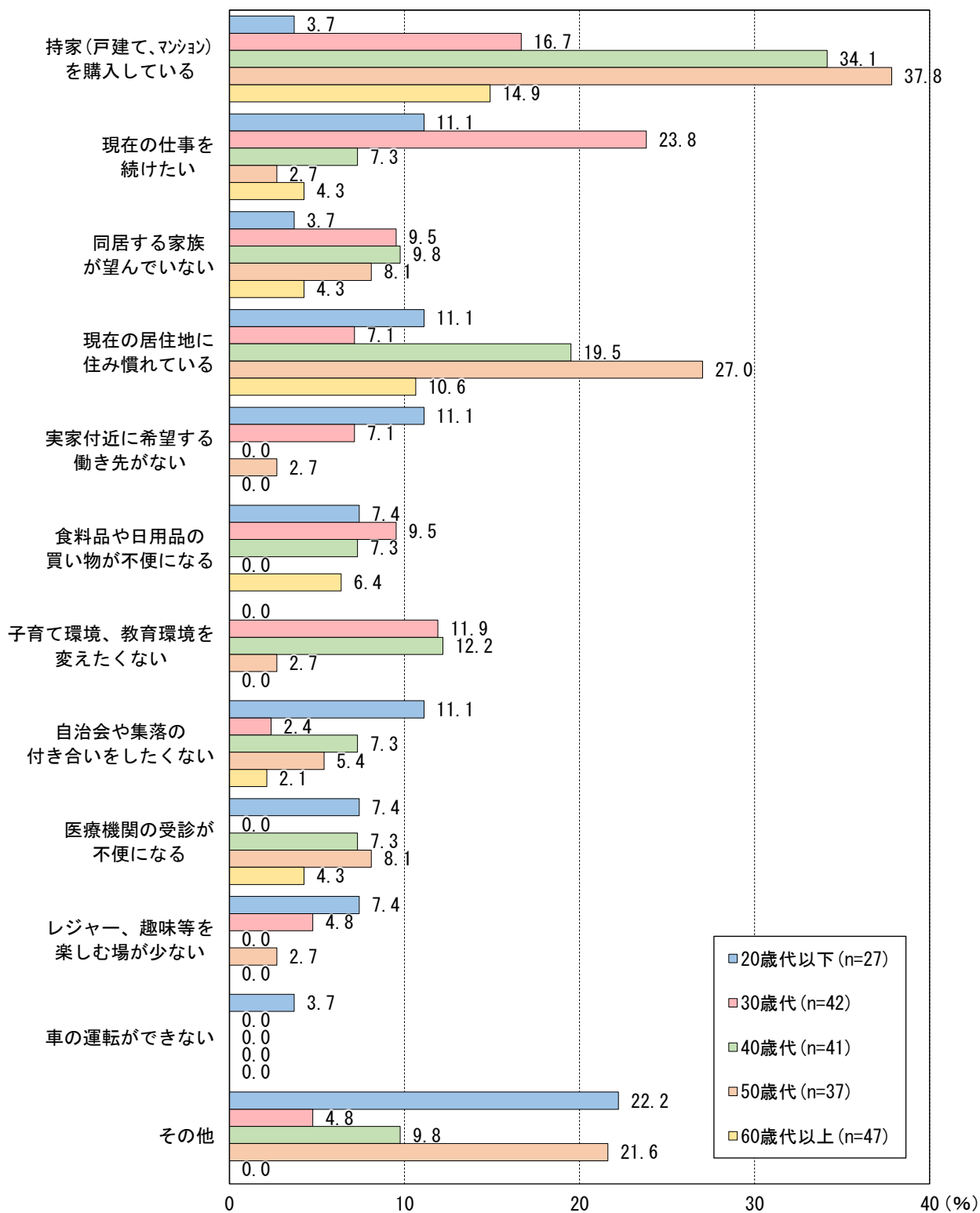
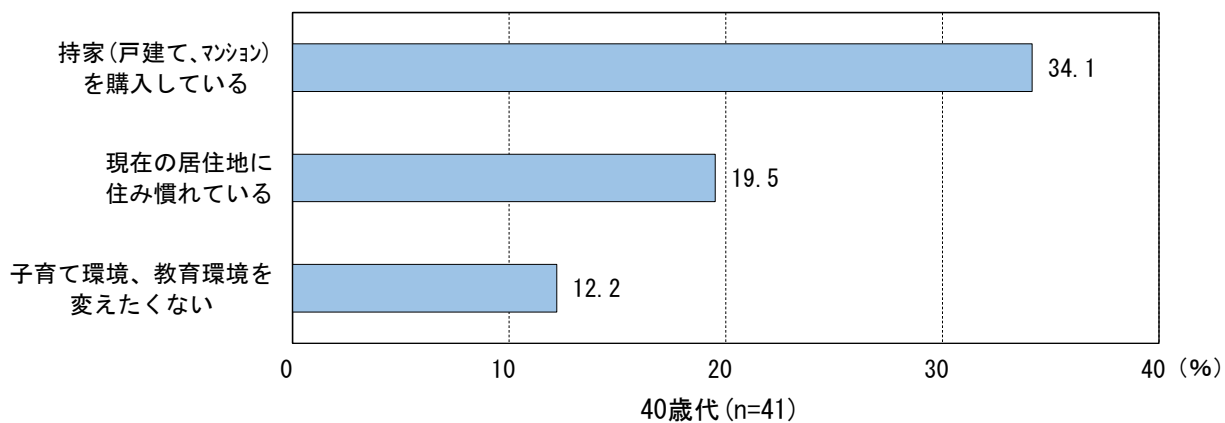
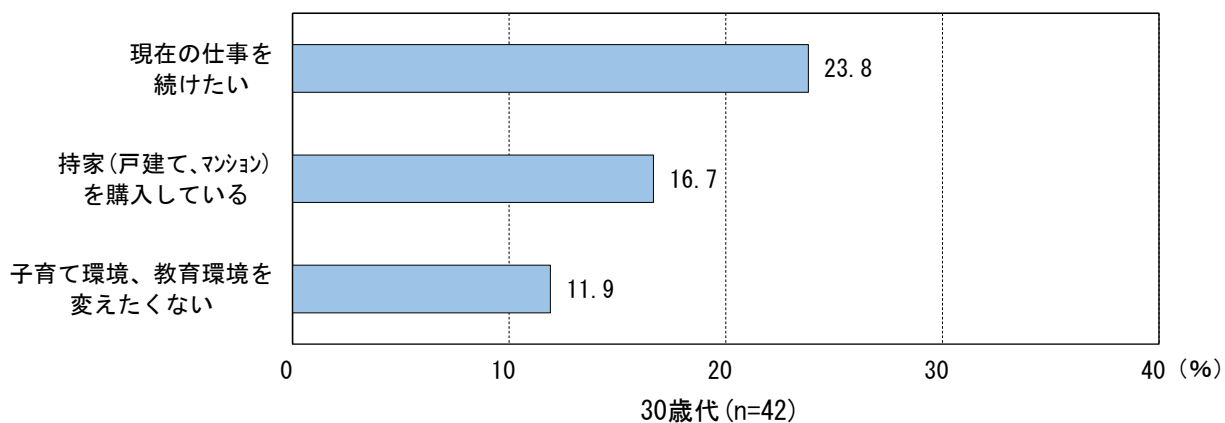
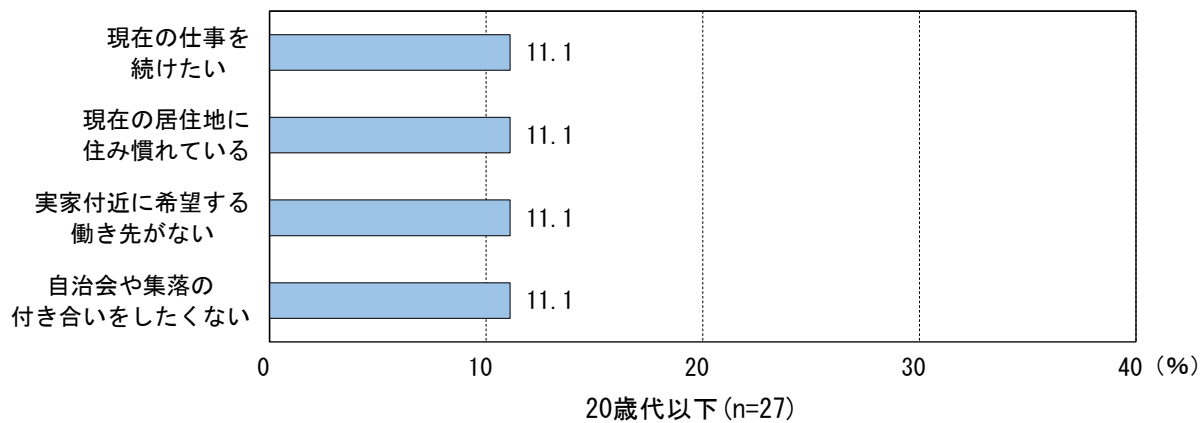
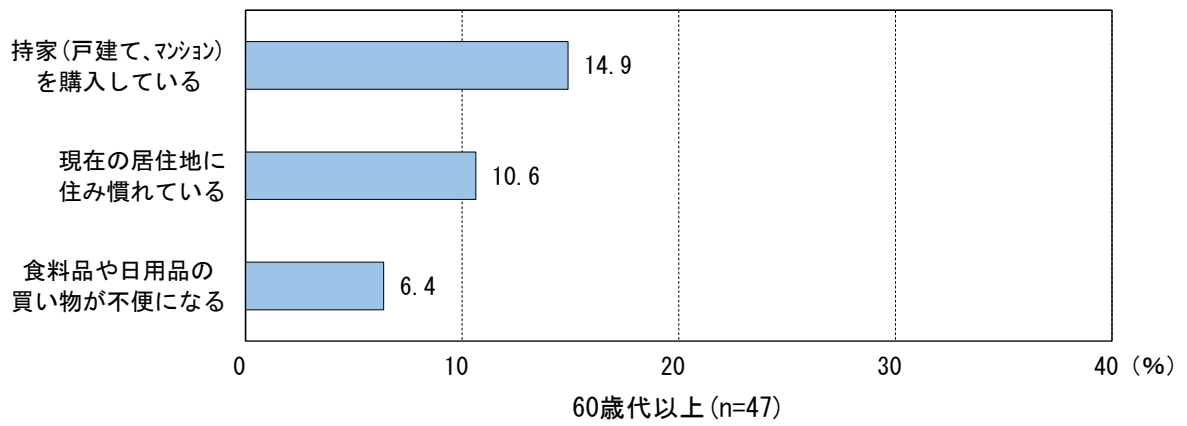
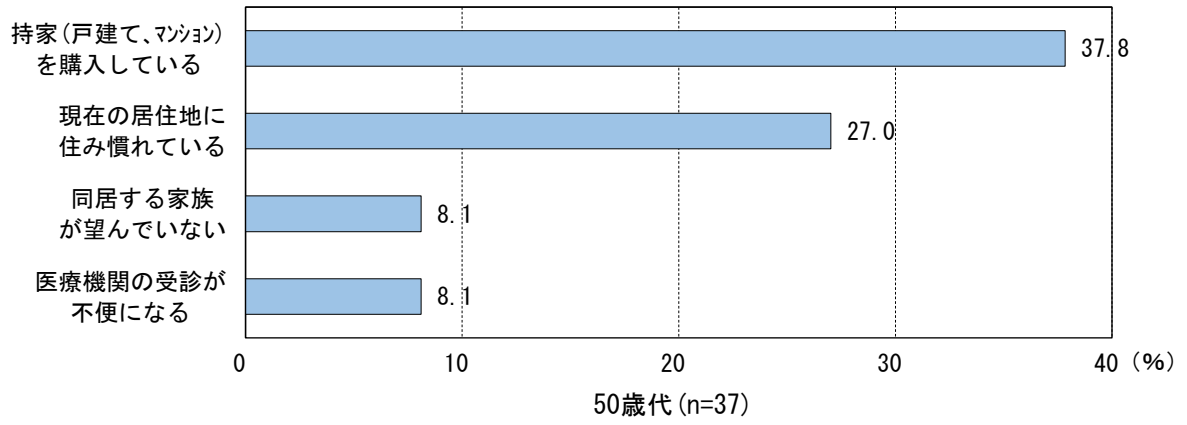


図 Uターンをしたくない人の戻りたくない理由で最もあてはまるもの【再掲】
(年齢別、上位3項目)





Ⅲ 資料

1. アンケート調査票

調査で使用したアンケート調査票は以下のとおりである。

島根県の中山間地域出身者へのアンケート調査

～ご協力をお願い～

島根県の中山間地域は、県人口の約 54%が暮らし、地域での助け合いや、人と人との絆の中で、県民の皆さまがいきいきと働き、暮らしていく場として、かけがえのない価値を持っています。

また、自然、歴史、伝統文化や地域資源をいかした観光・レジャーなどは、県外の皆さまにとっても、魅力あふれるものとして受け入れられています。

一方で、中山間地域では、若者を中心とした人口の流出、高齢化の進行により、担い手不足が深刻化し、買い物や病院への移動など日常生活に影響が出ている地域が増えつつあります。

そこで、今後も住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、対策の検討を進めるため、このたび、島根県の中山間地域出身の皆さまから、実家との交流状況やUターンの意向等をお聞きするアンケート調査を実施することとしました。

つきましては、ご多忙の折、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年9月

島根県地域振興部中山間地域・離島振興課

※調査票は無記名としており、どなたのものか分からないようになっています。お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはありません。

1. このたび、あなたのご家族様などにご協力をお願いして、アンケート調査票を送付させていただきました。
2. 本アンケート調査の所要時間は約 10 分です。
3. ご回答は、当てはまる番号を設問に記載する回答数だけ「○」で囲んでください。また、「その他」に当てはまる場合は、具体的な内容を（ ）内にご記入をお願いします。

なお、一部、年齢や市町村名、選択肢番号等の記載をお願いする設問がありますので、注意書きを参考にご記入をお願いします。

4. インターネットでの回答も可能です。お持ちのスマートフォン、タブレット、パソコンなどから、下記URLまたは二次元バーコードから回答用サイトに進んでいただき、ご回答をお願いします。

<回答用インターネットサイト>

URL <https://questant.jp/q/shimane-chusankan-7>

二次元バーコード



5. インターネットではなく、この「調査票」により回答される場合は、ご記入後、同封の返信用封筒に入れて、令和4年10月14日（金）までに郵便ポストにご投函ください。（切手は不要です。）

※本調査は、島根県が市町村の協力を得て、中国創研・山陰合銀共同事業体（代表機関 公益財団法人中国地域創造研究センター）に委託して実施しています。

<調査に関するお問い合わせ先>

島根県地域振興部中山間地域・離島振興課

電話：0852-22-5065

メール：chusankan-rito@pref.shimane.lg.jp

島根県の中山間地域出身者へのアンケート調査 調査票

1. 実家への行き来の状況等について

問1 あなたが実家へ行く時に、最も多く利用する移動手段は何ですか。(○は1つ)

1. 自家用車	2. 公共交通機関	3. その他 ()
---------	-----------	------------

問2 問1で選んだ手段で移動した場合、現在お住まいの地域から実家まではどのくらいの時間がかかりますか。(○は1つ)

1. 30分未満	2. 30分以上1時間未満	3. 1時間以上1時間30分未満
4. 1時間30分以上2時間未満	5. 2時間以上	

問3 あなたは、実家とどの程度行き来をしていますか。
「①コロナ前 (R2年4月以前)」と「②現在」の状況をそれぞれご回答ください。

①コロナ前 (R2年4月以前) の状況 (○は1つ)	②現在の状況 (○は1つ)
1. 週に2回以上	1. 週に2回以上
2. 週1回程度	2. 週1回程度
3. 月2～3回程度	3. 月2～3回程度
4. 月1回程度	4. 月1回程度
5. 数ヶ月に1回程度	5. 数ヶ月に1回程度
6. 半年に1回程度	6. 半年に1回程度
7. その他 ()	7. その他 ()

問4 あなたが実家へ一緒に行く方について教えてください。

① あなたが実家へ一緒に行くことのある方はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 自分一人	2. 配偶者・パートナー	3. 子
4. きょうだい	5. その他 ()	

② ①で選んだ方のうち、実家へ一緒に行くことが最も多い人の番号を回答欄にご記入ください。

回答欄	
-----	--

※自分一人で行くことが多い場合は、「1」を記入してください

問5 あなたが実家へ行く目的について教えてください。

① あなたが実家へ行く目的にはどのようなことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 家族の様子をみる、話しをする	6. 住宅、庭の管理
2. 家事の手助け	7. 墓地の管理
3. 外出（買い物・通院など）の送迎	8. 実家周辺の地域活動（自治会、清掃活動、お祭りなど）
4. 買い物の代行	9. 特に理由はない
5. 農作業の手助け	10. その他（ ）

② ①で選んだもののうち、実家へ行く目的として最も多いものの番号を回答欄にご記入ください。

回答欄	
-----	--

問6

実家の家族が高齢になると、通院時の送迎や買い物の代行など日常生活への手助けが必要になっていくことが懸念されます。今後、実家の家族への手助けが今以上に必要な状況になった場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 今まで以上に手助けをしたいと思う	4. 手助けすることは難しいと思う
2. 今と同程度に手助けをしたいと思う	5. その他 ()
3. 今よりも手助けを減らさざるをえなくなると思う	

問7

問6で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。減らさざるをえなくなる、または、難しいと思う理由はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

1. 自分の体力の低下、健康状態の悪化	5. 実家まで遠い（移動時間が長い）
2. 仕事が忙しくなる	6. 自分が自動車の運転ができなくなる
3. 子育てが忙しくなる	7. その他 ()
4. 他の家族の介護や看病等が必要になる	

2. 実家周辺の地域活動への参加について

問8

あなたは実家周辺の地域活動（自治会、清掃活動、お祭りなど）に参加することがありますか。（○は1つ）

1. 参加することがあり、 今後も引き続き参加したいと思う	4. 参加しておらず、 今後も参加しない（できない）と思う
2. 参加していないが、 今後、参加したいと思う	5. その他 ()
3. 参加することがあるが、 今後は参加が難しくなると思う	

問9

問8で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。
参加することがある、または、参加したいと思う地域活動にはどのようなものがありますか。（○はいくつでも）

1. 草刈りなどの清掃活動	4. 地域の伝統文化の継承 () ※具体的に ご記入ください
2. 地域のイベント（お祭り、運動会など） への参加	
3. 自治会等の会合への出席	5. その他 ()

問10

問8で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。
参加しない、または、参加が難しくなると思う理由はどのようなものですか。
（○はいくつでも）

1. 実家まで遠い（移動時間が長い）	6. 自動車の運転ができない
2. 自分の体力、健康に不安がある	7. 交通費の負担が大きい
3. 仕事が忙しくて時間がない	8. 地域活動の情報を知らない
4. 子育てなど家事が忙しくて時間がない	9. 地域活動に関心がない
5. 自分の住む地域での活動が忙しくて 時間がない	10. その他 ()

3. 実家からの初めての転居について

問 11 あなたが、実家から初めて転居したのは何歳の時ですか。

回答欄	_____ 歳 ※年齢をご記入ください
-----	---------------------

問 12 あなたが、実家から初めて転居した時のきっかけはどのようなことですか。
(○は1つ)

1. 自分の進学	4. 自分の結婚
2. 自分の就職・転職	5. 家族の進学、就職、転職、転勤
3. 自分の転勤	6. その他 ()

問 13 あなたが、実家から初めて転居した先はどこですか。(○は1つ)

1. 島根県外 () ※都道府県名をご記入ください	2. 島根県内 () ※市町村名をご記入ください
-------------------------------	------------------------------

問 14 あなたが、実家から初めて転居した先を選んだ理由はどのようなことですか。
(○はいくつでも)

1. 進学する学校があった	6. 都市部に住みたかった
2. 就職(転職)する企業等があった	7. 親の希望があった
3. 働いている企業等の転勤先があった	8. 先生や先輩の勧めがあった
4. 結婚相手の居住地であった	9. 子どもの教育環境を考えた
5. 一人暮らしがしたかった	10. その他 ()

4. ふるさとへの愛着について

問 15 あなたは、ふるさと(実家のある地域)に愛着を感じますか。(○は1つ)

1. とても感じる	4. どちらかといえば感じない
2. 感じる	5. 感じない
3. どちらかといえば感じる	6. まったく感じない

問 16

あなたが、ふるさと（実家のある地域）とのつながりを感じるのとはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1. 家族が暮らしている	5. 見慣れた風景・豊かな自然がある
2. 親しい友人が暮らしている	6. 守りたい地域の伝統・文化がある
3. 生まれ育った地域である	7. その他 ()
4. 先祖から受け継いだ家や田畑、山林がある	

問 17

あなたが、ふるさと（実家のある地域）との関わりを維持したり、深めたりするために、現在行っている、または、今後行いたいことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 地域活動（清掃活動、お祭り、運動会など）への参加	5. 出身者会への参加
2. ふるさとが発信する情報の収集	6. SNS等を活用したふるさとに関する情報の発信
3. ふるさとの産品購入	7. 行っている（行いたい）ことはない
4. ふるさと納税による寄付	8. その他（)

5. Uターン等の意向について

問 18

今後、あなたは実家または実家の近くに戻って暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

1. 実家に戻って暮らしたいと思う	4. 実家や実家の近くに戻りたくないと思う
2. 実家の近くに戻って暮らしたいと思う	5. その他 ()
3. 実家や実家の近くに戻って暮らしたいが、戻れないと思う	

問 19

問 18で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。何年後頃に暮らしたいと思いますか。

回答欄	_____ 年後頃 ※ご記入ください
-----	--------------------

問 20 問 18 で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。

① あなたが、戻れない、または、戻りたくないと思う理由にはどのようなことがありますか。
(〇はいくつでも)

1. 現在の仕事を続けたい	7. 自治会や集落の付き合いをしたくない
2. 実家付近に希望する働き先がない	8. 現在の居住地に住み慣れている
3. 食料品や日用品の買い物が不便になる	9. 持家(戸建て、マンション)を購入している
4. 医療機関の受診が不便になる	10. 車の運転ができない
5. 子育て環境、教育環境を変えたくない	11. 同居する家族が望んでいない
6. レジャー、趣味等を楽しむ場が少ない	12. その他 ()

② ①で選んだもののうち、戻れない、または、戻りたくないと思う理由として、最もあてはまるものの番号を回答欄にご記入ください。

回答欄	
-----	--

6. あなたについて

問 21 最後に、あなたのことについて、お聞きします。

①性別 (〇は1つ)	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
②年齢	____ 歳 ※ご記入ください		
③現在の居住地	____ 都・道・府・県 ____ 市・区・町・村 ※ご記入ください		
④お住まいの住宅等の形態 (〇は1つ)	1. 持家	2. 賃貸	3. その他 ()
⑤同居家族の人数	_____ 人 ※あなたを含めた人数をご記入ください		

問 22 最後に、島根県へのご意見・ご要望があればご記入ください。

ご回答ありがとうございました。

ご記入後は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和4年10月14日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。

中山間地域出身者へのアンケート調査報告書（令和5年3月）

発行者：島根県地域振興部中山間地域・離島振興課

TEL 0852-22-5065

調査・分析：中国創研・山陰合銀共同事業体